

尾道市立大学

尾道市立大学 Campus Map

工房・クラブ棟

金工・木工・塗装・彫刻・陶芸・写真・版画・CGなど、さまざまな専門の工房があります。また、体育館やグラウンド、クラブ棟などサークル活動で利用できる場所も豊富にあり、のびのびと活動ができます。

E棟・D棟・C棟

学生の学びの場。E棟は教室のほかに事務室や医務室、C棟はキャリアサポートセンターや情報処理研究センターがあり、学生生活をサポート！D棟では日々美術学科の制作が行われています。

陶芸実習室

学生会館

久山田郵便局

裏門

木工機械室

塗装実習室(2F)
木工実習室(1F)

翠明館

1F
事務室
医務室

E棟

D棟

C棟

正門

バス停

第一グラウンド

久山田水源地

オヤマノカフェ(学生会館内)

栄養バランスの整った定食から、おしゃれなカフェメニューまで！スイーツもあるので休憩にもぴったり。安くておいしい学生の味方です。

翠明館

尾大生憩いの場所。1階はコンビニや画材屋さん、ラウンジが入っています。シャワー室もあるので、サークルで運動した後も安心です。2階にはPCと印刷機完備の自習室があります。学生証があれば夜10時まで出入りできます。

ニューヤマザキデイリーストア

お昼ご飯やおやつ、文房具やギフトカードまで幅広く揃っています。

ウエダ画房

美術学科は必ずお世話になる画材屋さん。油絵・日本画・デザインの制作に必要な画材等が揃っています。

尾道市立大学の理念 「知と美」の探究と創造

尾道市は、古くから瀬戸内の要衝として経済的な発展を遂げるなかで、美しい風光を背にすぐれた芸術文化を生み出し継承してきました。このような尾道の地の特性を生かして設立された尾道市立大学は、経済情報学部と芸術文化学部の2学部をもち、芸術文化学部には日本文学科と美術学科の2学科をおく公立大学です。

尾道市立大学は、このような学部・学科構成の特徴を生かしつつ、人と情報が集まって「知と美」を探究する場、そのなかで新たな「知と美」を創造しその成果を社会に発信する場、そして学問と人間的触れ合いを通じて有為な人材を育成する場となることによって、学術・文化の向上と社会の発展に貢献します。



学長
藤沢 毅

尾道市立大学は「尾道」の「市立大学」です。尾道という街は、観光都市としての魅力があり、現在こそ新型コロナウィルス感染症の拡大のために行き来が制限されていますが、国内からだけでなく、海外からも観光客が訪れる街です。尾道ラーメンなどの名物もあり、また、新しい店も次々に生まれる、元気いっぱいの商店街。細い路地や、千光寺山などの坂にある住宅も尾道らしい姿を現しています。神社仏閣も多く、一年を通してお祭りも多く開かれます。また、サイクリストの多く訪れるしまなみ街道もあり、古さと新しさが共存する街です。この尾道市との関係が密接であるということが、本学の特徴の一つです。

本学は2学部3学科、すなわち、経済情報学部経済情報学科と、芸術文化学部日本文学科、同じく芸術文化学部美術学科です。一学年定員は300人ちょっとですので、けっして大きな規模の大学ではありません。しかし、だからこそ、落ち着いて、しっかりとした学修ができる環境であるとも言えましょう。キャンパスは、尾道駅からは少し離れた久山田という静かな町にあります。

小規模の大学ということもあって、教員と学生との関係も近く、双方向性の授業の展開を心掛けております。さらに、学生たちの自主的な学びに応じて、教員が授業とは別

に指導に当たることもあり、学びたいという学生の声に応える体制は整っております。

高校生の皆さんには、ぜひ、いろいろな大学を調べ、比べてみてください。そして、大学生活を楽しく充実したものにするために、自分の本当に学びたいことを定めて志望大学を決めてほしいと思います。あなたが選んでくれたのが本学であれば、大変嬉しく思います。

学長による大学紹介動画は[こちら](#)





副学長
塚本 真紀



副学長
荒井 貴史

「多様性を認める」「多様性を尊重する」というフレーズを耳にしたとき、どのような思いを抱くでしょうか？社会が様々に変化する中でこのフレーズを耳にすると、具体的にどうすればいいのかはわからないが何かに早急に取り組まなければいけない、と感じる人もいると思います。

自分と他者との考え方の違いを意識し、対話のために努力した経験がみなさんあるでしょう。他方で、対話が成立せずに疎外感を感じた経験もあると思います。違いを理解し協力しあうことは簡単なことではありません。しかし、これから大学で学ぼうとするみなさんは、違うものや異質なものをみつけたとき、すぐに退けたり判断を下したりするのではなく、「どうしてだろう」「何か理由があるはずだ」と考え、工夫して新たな関係性を築いていってほしいと思います。大学での学びを通して、論理的に説明する力や対話を持続する力、他者の考えを想像する力を修得し、同時に文化・価値観・歴史などの知識を身につけることで、多様な他者との違いを楽しみながら関係性を築くことが可能になります。

コンパクトにまとまったキャンパスで2学部3学科・3研究科の学生が同時に学ぶ本学では、考え方や表現方法が異なる他学科生の学びや活動の様子をキャンパス内で日常的に目にすることができます。本学で学ぶみなさんには、考え方の異なる様々な他者と学内外でつながりながら、多文化・多様性社会の中で自分自身はどのように生きていくのか、日々考え続ける大学生活を送ってほしいと思います。

日本の令和3年度の大学の進学率は54.9%です。18歳人口の内、5割以上が最高学府の大学に進学しています。ゆえに、2人に1人が大学で学んでいます。同年の大学院進学率は、10.9%です。同学年の10人に1人が、大学を卒業後、さらに大学院で学んでいます。このように高等教育を受ける人々が多い日本社会は、過去から現在に至るまでに人類が生み出してきた学問体系のもと「知」を効率的に吸収し、さらに拡大、普及していると言えるでしょう。大学教育は、各専門分野の学問的到達点をベースに、入門から基礎、専門、応用と極めて体系的に、かつ効率的に先端にたどり着けるようにシステム化されています。それゆえ、その地図と適切なガイドとなる教員がいれば、学問的などのような興味、関心に対しても、応えられるのが大学です。本学においても、さまざまな分野における学生たちの知的好奇心に十分に応えられるように教員一同、本学の理念のキーワードである「知と美」の探究・創造のもと不断の努力をしております。また、学修者本位の教育のために、各学科において学修成果の把握と可視化に取り組み、学生自身が自律的に学び、到達度などを把握できるような仕組みを用意しております。

＜教育：培う尾道市立大学＞

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間的触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

＜研究：拓く尾道市立大学＞

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不斷の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。

このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

＜社会貢献：活かす尾道市立大学＞

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。

このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

アドミッション・ポリシー

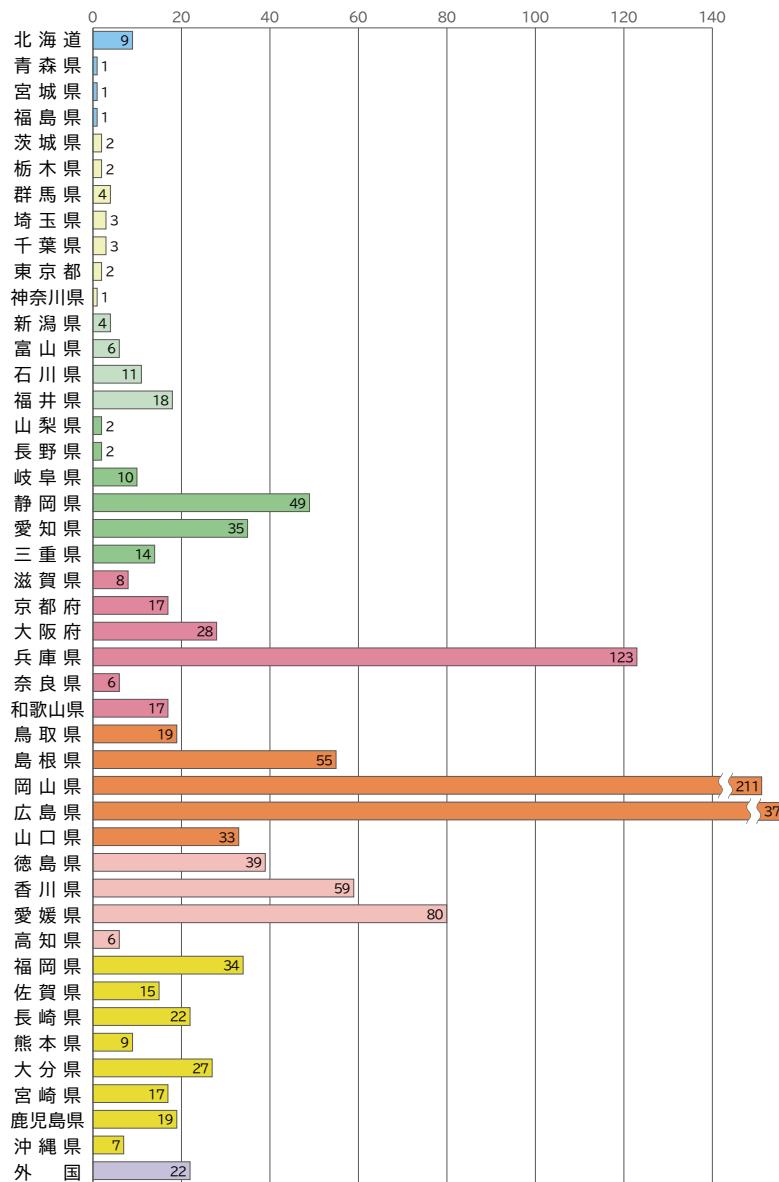
尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

この目的を達成するため、尾道市立大学は次のような人の入学を期待しています。

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人



出身地別在籍者数(学部生) 在籍者数 学部生 1,424人



2022年度尾道市立大学入学試験結果

学 部

●学校推薦型選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	70	122	122
	日本文学科	15	35	16
芸術文化学部	美術学科	12	49	13
	計	97	206	102

●一般選抜 前期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	100	247	218
	日本文学科	30	145	136
芸術文化学部	美術学科	23	67	63
	計	153	459	417

●一般選抜 後期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	273	76
	経済情報学科 Bコース	15	246	65
	合計	30	519	141
芸術文化学部	日本文学科	5	127	52
	美術学科	15	96	47
	計	50	742	240

●私費外国人留学生選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	9	6
	日本文学科	若干名	3	2
	芸術学科	若干名	0	0
計		12	8	2

●第3年次編入学試験

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	4	4
	美術学科	若干名	6	2

大 学 院

研究科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科	経済情報専攻	8	5	2
	日本文学研究科	6	2	0
	美術研究科	12	9	8

教養教育科目

教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。

地域・キャリア系科目

尾道学入門／地域の伝統文化（岡碁）／キャリア形成入門／キャリア形成演習／インターンシップ

人文科学科目

人生の哲学／生命倫理／論理学／東洋思想／心理学入門／日本の文学／文章表現法入門／美術表現入門／美術の歴史と鑑賞／演劇の歴史と鑑賞／文化財学／思考とデザイン／Topics in Language, Culture, and Society／日本文化史（経済情報）／瀬戸内文化論（経済情報）／民俗学I（美術）／民俗学II（美術）／メディアグラフィックス概論（日本文学）／編集とデザイン（日本文学）

社会科学科目

現代社会と人間行動／法学概論／日本国憲法／世界歴史の流れ／日本歴史の流れ／政治学入門／社会思想史／現代の経済学／社会保障入門／社会学入門／メディア論／文化社会学／民法入門／簿記入門（芸術文化）／ファイナンシャル・プランニング（芸術文化）

自然科学科目

教養数学／物理科学入門／地球と宇宙／物質の世界／生物科学入門／科学技術の進歩／情報科学入門／建築環境論／数学の基礎と歴史／情報と倫理（芸術文化）／統計学I（芸術文化）／人間工学概論（経済情報・日本文学）

健康スポーツ科目

健康スポーツ学／健康スポーツ実習I／健康スポーツ実習II／野外スポーツ実習

外国語科目

総合英語I／総合英語II／TOEIC I／TOEIC II／応用英語I／応用英語II／上級英語I／上級英語II／ドイツ語I／ドイツ語II／フランス語I／フランス語II／中国語I／中国語II／日本語I／日本語II／海外語学実践I／海外語学実践II

経済情報学部 <small>主要専門科目</small>	専門基礎科目
	共通専門科目
	演習
	経済系
	経営系
	情報系
日本文学科 <small>関連科目</small>	職業指導系
	学部共通科目
	日本文学系
	日本語学系
	中国欧米文学
	関連科目
芸術文化学部 <small>専門基礎科目</small>	演習・卒論
	学部共通科目
	専門基幹科目
	基礎造形科目
	日本画
	油画
美術学科 <small>専門基礎科目</small>	デザイン
	関連科目

経済学入門I(ミクロ)	経済学入門II(マクロ)	経営学入門	簿記入門	商業簿記	工業簿記	情報とコンピュータ		
情報活用基礎I	情報活用基礎II	ファイナンシャル・ブランディング	統計学I	統計学II	基礎数学I	基礎数学II		
財政学I	財政学II	金融論I	金融論II	経済政策I	経済政策II	経営学総論	経営情報論	情報と倫理
経済経営情報実習	多変量解析	民法	企業法	商法	行政法	外国書講読I	外国書講読II	ビジネス英語
基礎演習I	基礎演習II	専門演習Ia	専門演習Ib	専門演習II a (卒業研究)	専門演習II b (卒業研究)	特別演習I	特別演習II	特別演習III
特別演習V	特別演習VI							
ミクロ経済学I	ミクロ経済学II	マクロ経済学I	マクロ経済学II	環境経済学	計量経済学	経済学史	経済史	日本経済史
貨幣経済学	日本経済論	社会政策	社会保障	国際経済学	国際金融論	公共経済学	地方財政論	アジア経済事情
経営組織論	マーケティング論	経営戦略論	経営管理論	日本企業論	国際経営論	経営史	租税論	会計学概論
財務管理論	税務会計論	管理会計論	財務会計論	監査論	原価計算論	製品開発論	生産管理論	証券市場論
プログラミングI	プログラミングI実習	プログラミングII	プログラミングII実習	経営コミュニケーション	情報基礎理論	マルチメディア論	ネットワーク科学	情報ネットワーク
情報システム設計論	情報システム設計実習	データベース	ビッグデータ活用	CGと画像解析	ビジネスとデータサイエンス	システム工学	システム監査とITマネジメント	情報と職業
職業指導								

芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論					
日本文学概論	日本文学史I(上代)	日本文学史II(中古)	日本文学史III(中世)	日本文学史IV(近世)	日本文学史V(近代)	日本文学講読I(上代)	日本文学講読II(中古)	日本文学講読III(中世)
日本文学講読V(近現代)	日本文学講読VI(近現代)	日本文学講義I(上代~中世)	日本文学講義II(近世)	日本文学講義III(近現代)	日本文学講義IV(近現代)	日本文学特殊講義		日本文学講読IV(近世)
日本語学概論	日本語史	日本語表現法	日本語学講義I(古典語)	日本語学講義II(現代語)	日本語学講義III(古典語)	日本語学講義IV(現代語)		
中国文学概論	中国文学講読	中国文学講義	欧米文学概論	欧米文学講義	比較文学			
日本歴史概説I	日本歴史概説II	美学	日本美術史I	日本美術史II	東洋美術史I	東洋美術史II	西洋美術史I	西洋美術史II
書道II	民話研究	民俗学I	民俗学II	古文書学	文芸創作入門I	文芸創作入門II	情報処理演習	フィールドワーク
古典文学基礎演習	近現代文学基礎演習	日本語学基礎演習	中古文学専門演習a	中古文学専門演習b	中世文学専門演習a	中世文学専門演習b	近世文学専門演習a	近世文学専門演習b
近現代文学専門演習Ib	近現代文学専門演習IIa	近現代文学専門演習IIb	現代語学専門演習a	現代語学専門演習b	古典語学専門演習a	古典語学専門演習b	中国文学専門演習a	中国文学専門演習b
欧米文学専門演習b	文芸創作専門演習a	文芸創作専門演習b	国語教育学専門演習a	国語教育学専門演習b	伝承文学専門演習a	伝承文学専門演習b	卒業論文(構想・準備)	卒業論文(制作)
芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論					
美学	日本美術史I	日本美術史II	東洋美術史I	東洋美術史II	西洋美術史I	西洋美術史II	デザイン史	デザイン論
空間造形論	図法及び製図	金工演習	写真(映像)演習	木工演習	塗装法演習	壁画技法演習	テンペラ画技法演習	版画制作演習
デッサン基礎実習	構成実習	彫刻	総合基礎実習					
日本画実習I	日本画実習II	日本画実習III	古美術研究(演習)	卒業制作				
油画実習I	油画実習II	油画実習III	古美術研究(演習)	卒業制作				
デザイン実習I	デザイン実習II	デザイン実習III	古美術研究(演習)	卒業制作				
文化財保存学概論	人間工学概論	情報機能論	書道	古文書学	メディアグラフィックス概論	編集とデザイン	情報処理演習	



キャンパスライフ

有意義な学生生活のための
さまざまな支援制度を備えています。

奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内がありますので、随時お知らせしています。

●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子)
- ・第二種奨学金(有利子)

●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円(若干名)

●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学習意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。

チューター制度

指導教員(チューター)を中心に経済情報学科と美術学科では10人程度、日本文学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する 奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取得した学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れての新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事について、医務室職員やカウンセラーに相談できます。

また、公認心理師／臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。

(詳細は124-125ページ)

下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。

希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科3年

藤井 菜吏

広島県立福山明王台高等学校 出身

私は将来、金融機関に就職したいため、主に経済を学んでいます。金融機関に就職するためには、経済循環の仕組みや金融の知識が必要なので、金融論やミクロ経済学、マクロ経済学を受講しています。しかし、情報化が進む現代では、情報に強い人材の方が有益であると考え、経済に加えて、本学の特徴である経営、情報も一緒に学んでいます。具体的には例えば経営シミュレーションの授業では、株価の分析や在庫管理などの経営に必要なことを学びました。尾道市立大学は教員と学生の距離が近いため、講義で分からなかったことや発表についての相談などがしやすい環境にあります。

また、私は中学生の頃からバドミントンをしており、大学でもバドミントン部に所属しています。良い成績を残すために、部員たちと切磋琢磨しながら、日々練習に励んでいます。

尾道市立大学は将来への道が拓けることに加えて、素晴らしい経験をすることができる大学です！



一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	経営シミュレーション			尾道学入門	ミクロ経済学 I
2限	文章表現法入門	財務会計論	健康スポーツ実習 II	基礎数学 II	民法
3限			TOEIC I		金融論 I
4限		生産システム論			マクロ経済学 I
5限					

尾道では空き家再生プロジェクトを行っているため、この活動の目的や内容について学ぶことができます。また、その他にも尾道にまつわる歴史や偉人、環境についても学べるので、今まで知らなかつた尾道のことを多く知ることができます。

- 月・木・土の放課後は部活動に励んでいます。私が所属しているバドミントン部は部員の仲が良く、みんなで切磋琢磨しながら練習をしています。それ以外は週4日のベースでアルバイトをしています。

国債の利回りや地域をめぐる資金の流れ、また近年隆盛となっているインターネットバンキングなどを含めて、金融の仕組みについて幅広く学びました。

※2年次(2021年度)前期の時間割です。

日本文学科4年
柏原 早希

広島県立広島観音高等学校 出身

私は元々文芸の創作に興味があり、日本文学科を志望しました。頭の中にあるアイデアをどう文章にしていけばいいのか、という方法を一から教えていただき、コンクールに応募する作品を作るまでに至りました。

日本文学科では、私のような初心者でも本格的な文芸創作の仕方を学ぶことができます。文芸創作にかかる講義はもちろん、日本文学の歴史を学べる「日本文学史」や「日本語学」といった様々な講義があります。カリキュラムの組み方しだいで、好きなものにどっぷり浸かった日々を過ごすことが出来るのです。

もちろん大学生らしく、同士とめぐり合う機会もあります。サークルの仲間やゼミの先輩、他大学の学生など、「好き」を通じて垣根を越えた友情を築くことも可能です。

文芸作品が好きな方、日本語に興味がある方、頭の中で密かに作品を書いている方……もしかしたらここ、日本文学科で実を結ぶことができるかもしれません。私たちと一緒に「好き」を追求してみませんか？



一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1限	日本美術史 I		日本語学基礎演習		博物館学入門
2限	博物館資料論	ドイツ語 I		人生の哲学	健康スポーツ実習 I
3限	学芸員の資格を取得するために必要な科目です。他に「博物館実習」などがあります。	近現代文学基礎演習	総合英語 I		
4限		日本文学概論			
5限		日本語学概論	日本文学史 V		

● 休日は家で映画を見ることが多いです。それと、図書館の裏の神社で癒しをもらうこともあります。緑が多く、落ち着ける場所なので時々参拝しています。

※1年次(2019年度)前期の時間割です。

美術学科3年

田中 美帆

山口県立岩国高等学校 出身

私は将来、芸術に関わる職業に就きたいと思い尾道市立大学に入学しました。美術学科のデザインコースに在籍しています。約2年間過ごして感じたこの大学の1番の魅力は充実した作業環境です。

大学内にはポスターやチラシが印刷できる大型プリンタや立体作品が作れる3Dプリンタ、印刷物を冊子にできる製本機が整備されており、自分の作品に応じて使用することができます。また、木の温もりを感じられる居心地の良い資料室もあります。休憩時間や制作の資料探しによく利用しています。

制作とのメリハリをつけるために、勉強をする際は学内施設の「翠明館」を利用していました。気が散ることなく集中できる静かな自習室です。

キャンパスは豊かな自然に囲まれています。勉強や制作に息詰まってしまった時は外へ出て、景色を眺めるだけでも気分転換になります。天気の良い日には外のベンチに座ってゆっくり昼食をとるのもおすすめです。

大学生活は自由な時間が多いため、自分に合った計画を立てることができます。3、4年次からも学内の講義や課題、アルバイト等とバランスをとりながら自分のやりたい事に挑戦していきたいと思っています。

この度日本文学科と美術学科の共同制作による作品集、「尾道草紙」の第16号の表紙デザインを担当させていただきました。尾道市立大学の伝統ある取り組みに携わることができて大変嬉しく思っています。

- 大学では教員・学芸員の資格を取ることができます。私は学芸員資格取得のために「博物館教育論」や「生涯学習論」などの科目を選択し、学んでいます。

演習系の授業では作業環境が整った工房で作品を制作することができます。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限		木工演習		博物館教育論	生涯学習概論
2限	美術表現入門	木工演習	健康スポーツ実習Ⅱ	日本文化史	図法及び製図
3限	物質の世界				
4限	思考とデザイン				
5限	キャリア形成入門				

実習

美術系の専門授業では、外部講師を招いての講義も行われます。

美術系の授業ではゲスト講師として実際にデザイン等のお仕事をされている方のお話を聞くことができる機会もありました。

美術学科は火水木金の午後が実習の時間になっています。



- 毎週火曜日の放課後には陶芸部の活動に参加しています。土を購入した後は自分の好きなように作品を作ることができます。他学科の学生とも交流しながら楽しく時間を過ごしています。

- アルバイトは平日に余裕を持って学習・制作が行えるように土日休みに行っています。

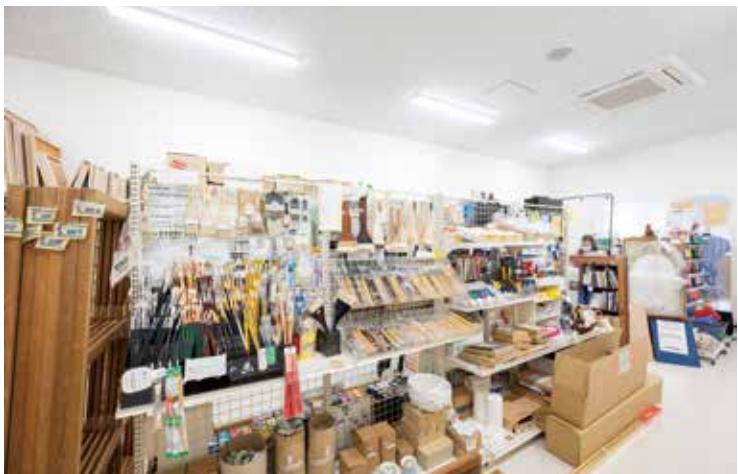
- 休日は友人と商店街や美術館へ出かけたり、読書をすることが多いです。尾道は季節を問わず歩きたくなる町だと思います。是非自分のお気に入りスポットを見つけてみてください。



オヤマノ定食 チキン南蛮定食
シーザーサラダ ロコモコ丼



ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

クラブ・サークル活動

尾道市立大学には50を超えるさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動

アウトドア部
硬式テニス部
硬式野球部
サイクリング部
サッカー部
柔道部

セパタクロ一部
ソフトテニス部
卓球部
ダンス部
軟式野球部

バスケットボール部（女子）
バスケットボール部（男子）
バレー・ポール部（女子）
バレー・ポール部（男子）
バドミントン部
ハンドボール部

男子フットサル部
女子フットサル部
陸上競技部

●文化系

執行委員会
翠郷祭実行委員会

アカペラ部
アンカ一部

裏千家茶道部
映画研究部

演劇部
軽音楽部



ゴミ部
写真部
吹奏楽部

●同好会

朝活同好会
English & Intercultural club
おの 100 同好会

推理小説研究部
煎茶部
陶芸部

考えるカラス団 333 同好会
シグマソサエティ 同好会
天体観測同好会

速水流茶道部
ひかりアート研究会
文芸部

ローン同好会
ねこ同好会
平成文藝談話会

ラテン部

漫画研究同好会

経済・経営・情報をマルチに学び、
自分の可能性を目覚めさせる。

経済情報学科



Economics, Management & Information Science





経済情報学部長
小川 長

経済情報学部には、経済コース、経営コース、情報コースの三つのコースがあります。それ故に、経済と経営と情報の三分野の内容を学べるというメリットがあり、それが本学部の大きな特長の一つとなっています。本学部に所属する教員は、基本的にこのいずれか三つの学問分野における専門領域の研究者ですので、それぞれ異なる分野の研究者から専門の分野の内容を学べるという点は、大きな魅力であることができます。しかし、その一方で、うっかりしていると、自分が何を専門に学んでいるのか分からなくなってしまうという落し穴があることに留意しておいてもらいたいと思います。つまり、受身の姿勢で学問に取り組んでいると、大学で何を学んだのかはっきりしないまま、大学時代を終えてしまうことになりかねない恐れがあるということです。

高校までの勉強と違い、大学で学ぶということは専門分野の学問を修めることだという点を、しっかりと自覚しておく必要があります。その上で、広く異なる分野を学ぶことの意義は、自らの専門分野の修学を深めることにあると心得、まず何を専門に学ぶかという自分の指針を、しっかりと持つておいてもらいたいと思います。そのためにも、ぜひ一度、経済(学)、経営(学)、情報(学)がどういう学問であるのかということを自分で調べてみてください。そうすれば、きっと自分に興味がある分野、自らが学びたい領域が見えてくるはずです。その上で、それを自らの指針に据えて、専門分野

の学びを深めるため、他の分野の知識も積極的に吸収していくというスタンスで勉学に取り組めば、より大きな収穫が得られるものと思います。

論語に、「学んで思わざれば則ち罔し。思て学ばざれば則ち殆うし」という教えがあります。これは、物事を学んでも、それについて自分の頭で考えなければ、本当に理解したことにはならない。それだからといって、自分勝手に物事を考えるだけで学ぼうとしなければ、独断に陥ってしまい危険であるという意味です。大学で学問を修めるということは、まさに、この「学び」かつ「思う」ということです。つまり、より深い知識を「学ぶ」とともに、それを「思う(=自分で考え、理解する)」ことが肝要だということなのです。三つの専門のコースを持つ本学部において、受身ではなく自分で考え理解するという主体的な姿勢で、学問の楽しさを味わっていただきたいと思います。



学科紹介動画はこちら

アドミッション・ポリシー

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特徴としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。そのために経済情報学科では、入学までに

「基礎学力である高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識」

を身につけていることが必要です。特に、

問題分析力につながる「基礎的な数学力」

情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」

を身につけていることを重視しています。

このような教育理念・目標に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- 1) 日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- 2) 経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- 3) 現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

経済情報学科の雰囲気を一部紹介します。

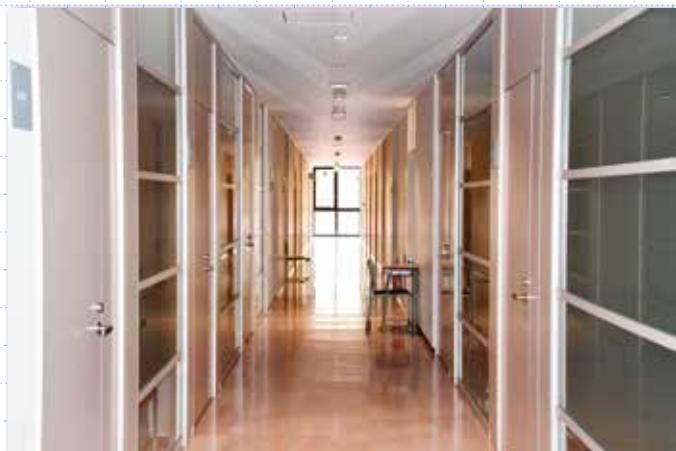
学生主体の学習環境。少人数を強みにしたユニークなゼミ。

勉学の成果を凝縮した研究発表。

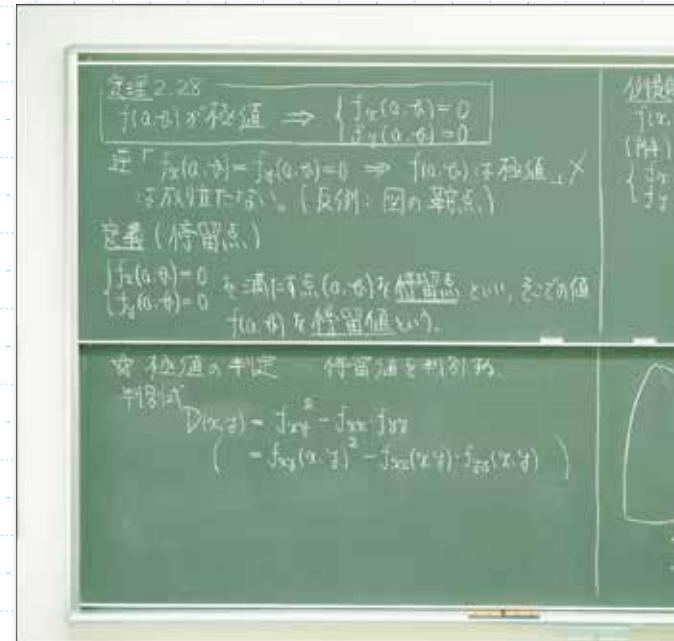
4年間を通してゆたかな時間が流れています。



大学は自然に囲まれています



様々な専門分野を持つ教員が
研究室で皆様をお待ちしています(22~39ページ)



1年次より経済・経営・情報の基礎を
しっかりと学んでいきます



各学生が自主的に勉強できる環境です



3年次以降のゼミでは、卒業論文の執筆に向けて、専門的な内容を学習したり、討論したり、あるいは現場見学に行ったりもします



4年間の大学生活を経て卒業へ



経済学では、財、サービス、労働、資本、貨幣などが市場を通じて社会の中を循環する様子（経済循環）を、理論とデータの両面から説明する技術を学びます。経済学には、家計や企業などの行動を分析するミクロ的視点と、経済全体での出来事を分析するマクロ的視点のふたつがあります。

このような視点を軸として金融論、財政学、国際経済学などを履修することによって、私たちの生活にかかわる諸問題を把握・分析するための問題発見能力と企画分析能力を磨くことが出来ます。これらは、ビジネスパーソン・公務員を含めたどのキャリアにおいても、重要性を近年特に増しています。

大学生も、数年後には自分たちが経済社会を運営する立場になります。そのために経済コースでは、規制緩和や年金といった制度・政策、日本と世界の経済史、国際貿易などの世界情勢、などについての理解を深めることを目指します。さらに、経済問題を客観的に検証するためには経済データを統計的に分析することが必要であるため、情報処理に関するトレーニングも行います。

経済の論理と技術のみならず、倫理を身に付け、世界や国といった全体を見渡すと同時に、経済主体として家計や会社を経営する能力を身に付けたグローカルな人材を育成します。

想定される進路

- 1.行政機関におけるICTを活用した企画、政策の立案、実行
- 2.企業、行政機関における情報活用システムの企画、事務、営業
- 3.金融機関における業務





マクロ経済学

経済コース長・教授

井本 伸

マクロ経済学とは、全体としての経済、すなわち日本全体の経済を分析対象とする研究分野です。経済学では、全体（マクロ）と個人（ミクロ）を分けて考えます。なぜなら、経済問題には、「個人としては良くても、経済全体としては良くない事」や、「個人ではどうしようもない問題」があるからです。個人がどのように行動すべきかだけを考えていては、経済全体の問題は解決できません。



公共経済学

経済コース・教授

荒井 貴史

政府による消費者や生産者に対する課税や補助金が、資源配分にどのような影響を与えるのか。価格や取引に対する規制が、社会厚生にどのような影響を与えるのか。政府の市場経済での役割はどのようなもので、その役割の理論的根拠は何か。公共財、外部性、不完全競争、情報の非対称性など、厚生経済学の第1基本定理（完全競争市場における均衡配分はパレート効率的である）の前提が損なわれている「市場の失敗」のケースを公共経済学は理論的に分析します。





金融マクロ理論

経済コース・教授
河野 洋

金融システムの在り方について理論的に研究しています。特に、金融仲介機関と市場のどちらが金融システムをより効率的かつ安定的に機能させるかに関心を持っています。又、情報、金融ネットワーク、政府規制等がマクロ経済に及ぼす影響についても興味を持っています。3・4年生のゼミでは、日本の金融制度や金融政策について基礎知識を確立し、日本の中長期的経済問題に対してどのような対策が必要であるかを議論しています。



環境経済学

経済コース・准教授
岡本 隼輔

岡本研究室では環境経済学を軸に研究に取り組んでいます。この分野では廃棄物問題や地球温暖化問題について、経済学の視点を交えて定量的に捉えています。例えば、製品を作る際に素材の採掘や加工、流通などあらゆる段階で環境負荷が発生しますが、それら全てを考慮して計測していくライフサイクルアセスメントの概念もその1つです。また、ワークショップや工場・現場見学なども実施することで、机上の学習と現実社会とを結びつけながら問題解決能力を養っています。





金融論

経済コース・准教授

神崎 稔章

金融の世界は、多くの進歩と制約を経て、現在に至っています。証券化やデリバティブ等の金融革新がもたらす資金の集中や規制のバランスは重要です。ゼミナールでは、自らが主体的に議論できるスタートにたてるにはどうすればよいのかを、経済学と関連付けて進めます。1冊のテキストのみを鵜呑みにせず、社会の在りように疑問を持った方が出てくることを期待します。従って、ディベート大会や学外での経験もゼミナールの特徴です。



社会保障、社会政策

経済コース・准教授

佐藤 沙織

人々の生活を支える手段は様々にありますが、戦後日本ではとりわけ医療がその中核を担ってきました。そこで「なぜ日本では医療に偏重して支える仕組みが発展したのか」という課題の究明から、医療だけに偏らないこれから社会の支え合いの仕組みを展望することを目指しています。

ゼミナールでは、毎年、医療や福祉の現場で調査合宿を実施しています。わからないことを良く知っている人に「聞く」ことで、社会を「知る」楽しさを実感できる機会を提供しています。



吉和地区的住民との交流



卒論報告会



社会思想史、経済学史

経済コース・准教授

林 直樹

経済学の歴史(誕生までの前史、初期の歴史、中期以降の歴史)を中心にして、その前提となる様々な思考のフレームワーク、いわゆる「思想」の歴史を研究しています。経済学が誕生したのは18世紀イギリスのこととされていますが、経済をめぐる思想自体は古代から存在しました。しかし、経済思想が政治思想や倫理思想と切り離されて、近現代の社会をリードする経済学として結実するまでには長い道のりがあり、それはいまでも完結しているとは言えません。この大きな問題を皆さんとじっくり考えてみたいです。



応用ミクロ計量経済学

経済コース・准教授

堀江 進也

被災者の生活再建、災害の復興資源の配分について研究しています。被災人口が莫大であったとき、被災地域が非常に広範囲にわたる場合、誰から・どこから優先的に支援すべき・復興すべきでしょうか。人の人生を左右する問題ですので、経済学の理解と応用には正確さを求められます。また、「現場」を知ることも重要です。このバランスを持つつ、自分が社会で重要なひとりであることを認識した人材を育成したいです。



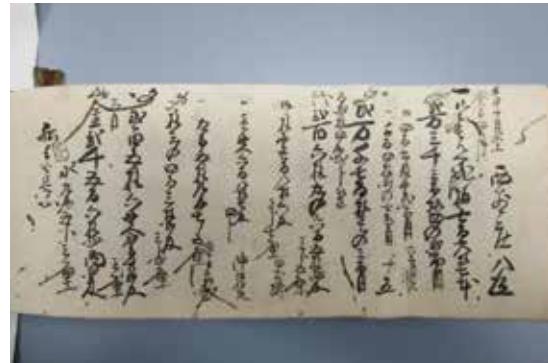


日本近世・近代の流通経済史

経済コース・准教授

森本 幾子

研究室では、地域経済の歴史について学ぶことを主軸に据えています。毎年、尾道・宮島・鞆浦など身近な瀬戸内の港へ実際に足を運び、フィールドワークを行うことによって、その歴史的経緯や特徴について理解を深めています。また、手習い本をはじめ当時の仕切状や帳簿などの古文書の解読を通して、日本近世・近代の商取引の特質を学び、現代と比較しながら考察しています。



「明治二年肥物仕切帳」(徳島大学附属図書館所蔵山西家文書)より



財政学

経済コース・講師

栗田 広暁

財政学とは、政府や公共部門の経済活動である財政を分析対象とする学問です。分析のツールとして経済学を用います。政府は、公共サービスの提供、補助金や課税などを通じて、民間(私たち)の経済活動に介入する存在です。しかし、そもそも、政府はいつ、どのように民間(私たち)の経済活動に介入すべきなのでしょうか。また、政府の介入は、経済にどのような影響を与えるのでしょうか。現実社会での政府の介入は、なぜ現状のようになっているのでしょうか。財政学はこういった問いに答えをもたらしてくれます。財政学を学びながら、一緒に考えていきましょう。



経営学は、人、もの、マネー、情報などの経営資源を活用し、市場ニーズに応じて良質な製品とサービスを消費者へ経済的に提供するための企業組織経営の学問領域です。この専門領域を内容とする当経営コースは、経営学の基本とする経営戦略、経営組織、マーケティングの理論と方法論及び経営分析、財務・税務管理、現場管理の実務、そして経営学の史的展開を体系的に学習し、将来には企業組織の事業あるいは行政組織のプロジェクトの推進を担うことができる人材育成を目指します。

上述の目標を達成するために、経営コース中心の専門分野教育を特化し、必修科目及び選択必修科目を再編成しています。このコース所属の学生は、マーケティング戦略と経営組織の理論を主とする諸経営科目を縦断的に、経済学や情報科学などの科目を横断的に学習することによって、経営の基本的な知識と技法を的確に理解できる能力を持ち、仕事を効率的に進めるための幅広い知識とスキルを身につけて、経営の視点からビジネス上の諸問題を整理・分析・解決できる人材となることが期待されています。

想定される進路

- 1.企業マネジメント全般への参画
- 2.企業における経営情報を活用した経営組織の在り方や
経営戦略の立案、実行
- 3.企業における経営情報システムの立案、実行



2021年度受託事業「しおまち商店街雨水マンホールデザイン制作業務」より
マンホールデザイン 美術学科4年 今津七海



租税法

経営コース長・教授

前田 謙二

税金は公共サービスを提供するためなどに必要であり、国会で決められた法律(税法)に基づいて納められます。人間は生きるために日々様々な取引を行っていますが、すべての取引が税法と関わっています。税法を知らないために損をすることもあります。では、税法にはどのようなルール(概念・条文・判例)があり、どのような問題があるのでしょうか? 租税法の研究とはそれらの問題解決や経済の変化に応じ税法はどのようにあるべきかを考えるものです。



マーケティング、経営戦略

経営コース・教授

小川 長

経営学は「良いことを上手に実現するための学問」であると定義できます。そうすると、経営を考えることは次の二つのことを考えることになります。一つは、大方の人が経営学だと思っている「上手に実現するための方法」ですが、もう一つ大事なことがあります。それは、「良いこととは何か」を考えることです。実現すべき良いことを考えず、方法ばかり考えるのは本末転倒です。本研究室は、このように経営を根本から考えていきます。





ドイツと日本の経営学説、 企業倫理の理論と実践ほか

経営コース・教授
西村 剛

ゼミのテーマは「ワーク・ライフ・バランス (Work Life Balance) の理論的・実践的研究」です。「仕事と生活の調和」について学んでいきます。現在「働き方改革」が注目されるなかで、日本の雇用慣行は徐々に変化しつつも依然として労働者に過酷な労働条件を突きつけています。例えば長時間労働、過労死・過労自殺、正規-非正規労働者の待遇格差など。こうした過酷な労働条件のもとで労働者はどのように企業と関わり、どう対応していくべきかを探っていきます。



健康・スポーツ

経営コース・教授
藤巣 秀樹

教養教育の健康スポーツ科目を担当しています。健康スポーツ科目は、「健康スポーツ学」(講義)、「健康スポーツ実習Ⅰ」、「健康スポーツ実習Ⅱ」、「野外スポーツ実習」からなっています。身体運動やスポーツを媒介に、生活の基本である健康・体力に関する正しい知識と、健康づくりの具体的方法に関する知識や実践能力の獲得をめざしています。





天文学、宇宙物理学

経営コース・准教授
川口 俊宏

ブラックホールが宇宙の歴史に果たした役割を研究しており、天文・宇宙・物理に関する授業などを担当しています。本校での唯一の自然科学分野の教員として、論理的思考力を鍛える教育を目指しています。天文・宇宙の授業を専門家が担当しているのは公立・私立大学の約1割です。天文部で活動していたり、宇宙に興味を持っている高校生が大学生になった時に、一緒に学んでいたら嬉しいです。



企業とNPOの協働、 ソーシャル・イノベーション

経営コース・准教授
後藤 祐一

環境問題や貧困問題など、様々な社会的課題の解決に向けて企業やNPOなどが様々な取り組みを行っています。このような社会的課題の解決に向けた企業やNPOの取り組み、あるいは企業とNPOによる協働が、「なぜ」行われるのか、「どのように」行われているのかを研究しています。





会計史

経営コース・准教授
津村 恵花

複式簿記は13～14世紀のイタリアで誕生し、世界各国に伝播しました。日本にも明治初期に「輸入」されます。なぜ複式簿記は各国に伝播し得たのでしょうか?このような疑問を探求することで、会計史は現在や未来の会計の問題等を考えるうえでの視点を提供するとともに、歴史を解き明かす、魅力ある研究分野です。

右の書籍・論文から、会計史の知識や会計史研究の魅力を知っていただけ
ると幸いです。



基本的人権、憲法

経営コース・准教授
溝淵 裕

教養教育科目の法学概論、日本国憲法を担当しています。日本国憲法99条は、天皇と公務員に憲法尊重擁護義務を課しています。平成天皇は、憲法の定める国事に関する行為のみを行う(4条1項)だけではなく、「国民統合の象徴」として、戦死者を慰霊し、被災者を慰問することが、憲法を尊重することになるとを考えました。同姓婚の届出を受けた戸籍係、訴訟を受けた裁判官も、婚姻を文字通り「両性の合意のみ」に基づく(憲法24条1項)として請求を退けることが憲法を尊重することになるのか、それとも家族の在り方の変化に対応することが憲法を尊重することになるのか真剣に考えることが求められていると思います。このような問題について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。





会社法（コーポレート・ガバナンスを中心として）、金融商品取引法、アメリカ法

経営コース・講師
王 佳子

企業の中で最も多いのが「会社」ですが、アメリカのシカゴ学派は、会社を、「契約の束」と定義しています。この考え方は、会社が無数の契約を通して、組織を形成し、さまざまな取引活動を展開しているという実態をよく捉えています。それでは、会社は、契約を結ぶことでどのような権利を有し義務を負うことになり、その権利を実現するためにはどのような手段を探ることができ、義務を履行しない際に誰がどのような責任を負うことになるのでしょうか。

本研究室は、具体的な事例をもとに、こういった問題について検討をしています。



国際経営

経営コース・講師
趙 怡純

企業の活動は国内にとどまらず海外にも展開しています。近年、海外市場での売上高が国内市場を上回るようになった企業も数多くあります。海外市場では文化・環境・制度など国内と状況が大きく異なるため、企業は予想もしなかった困難に直面することがあります。その反面、海外の顧客に好まれる商品やサービスを提供し、大きな成長をとげた例もあります。本研究室ではこのような国際経営特有の課題について研究しています。皆さんと一緒に広い視野をもって企業の抱える問題を考え、議論していきたいです。





管理会計

経営コース・講師

吉田 政之

管理会計は、財務会計と異なって企業内部のマネジャーや従業員に対して情報を見出し、経営上の意思決定に役立てられています。そのため、管理会計情報は特定の規則や原則に縛られることなく作成される点が特徴です。私はそのような管理会計情報と、投資者などの企業外部者への報告目的で作成される財務会計情報との関係性について研究しています。



現代社会の基盤となっている情報技術の基本原理を学び、経済社会における課題を解決する情報システムの設計から運用までを担当する能力を身につけることを目指します。情報産業をはじめとして、一般企業内でも、情報技術に裏付けされた、経済・経営・数理分析に強い人材を育成します。

日本の社会ではマーケット（経済）とビジネス（経営）が分かるIT技術者やコンサルタントが不足しています。例えば、ユーザ企業の置かれている市場や経営の特徴を分析し、ユーザ企業の弱みを補強し強みをさらに強化するITソリューションを提案したり、自社の経営戦略に基づいてIT戦略を立案し、それを実現する情報システムを設計するといった人材です。このようなことは工学系の情報学科を出たIT技術者には難しく、経済・経営も学ぶ本学科の情報コース卒業生が活躍できる場だと思います。

将来このような仕事に就く人材の育成を目指して情報コースのカリキュラムは設計されています。その情報関連科目は大きく3種類に分かれます。1つ目は計算機を用いて情報を適切に処理する能力を養う科目です。課題レポートや卒業研究など大学での学習・研究活動や、卒業後に社会における様々な活動において必要となる知識とスキルを習得する科目です。「情報活用基礎」、「情報科学入門」などの科目があります。2つ目は情報分野のより専門的な科目です。プログラミング言語によるソフトウェアの作成方法や、計算機ネットワークの仕組みや特徴、情報システムをいかに設計するかなど、情報科学の様々な分野を学習します。「プログラミング」、「ネットワーク科学」、「情報システム設計」などの科目があります。3つ目は経済経営分野と情報分野が重なる領域の科目です。異なる学問が合わさることで生まれた新しい学問を学びます。「経営シミュレーション」、「経営情報論」、「経済情報論」などの科目があります。

想定される進路

- 1.情報関連の企業・組織における次世代のシステム・サービス・技術の研究開発
- 2.企業・組織の経営戦略に基づいた、情報技術を駆使したIT戦略の提案・策定とその実現の推進
- 3.企業・組織におけるIT戦略実現のための最適な情報システムの設計とその構築の指揮



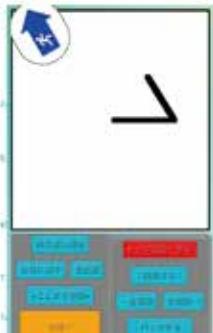


情報システム設計ほか

情報コース長・教授
有吉 勇介

情報システム設計とは、ユーザの「こんな情報システムが欲しい」という要望を分析整理して、仕様書と呼ばれるソフトウェアの設計図にまとめ上げるまでの一連の作業のことです。最近の日本では、仕様書は日本人が作り、プログラミングはインドやベトナムなどで行う国際分業が多くなってきています。その結果、日本のIT系企業ではプログラマよりも、仕様書づくりに関わる人が増えてきています。そのため情報系の大学ではプログラミングと同じぐらいに情報システム設計の勉強が重要になってきています。

```
var Nouveaux = null;
var estChercher = false;
case (0 <= compass && compass <= 45) {
    x = 1.25 * (compass + 9.00094745777778);
    y = 0.25 * (compass + 12.00094745777778);
}
break;
case (45 <= compass && compass <= 90) {
    x = 2.25 * (compass + 4.00 + (108*compass) + 9.0009474577778);
    y = 0.25 * (compass + 108*compass+108*compass);
}
break;
case (90 <= compass && compass <= 135) {
    x = 2.25 * (compass + 8.00 + (108*compass) + 9.0009474577778);
    y = 2.25 * (compass + 12.00 + 0.05 * (108*compass) + 9.0009474577778);
}
break;
case (135 <= compass && compass <= 180) {
    x = 2.25 * (108*compass+108*compass+108*compass+108*compass);
    y = 2.25 * (compass + 12.00 + 0.05 * (108*compass) + 9.0009474577778);
}
break;
case (180 <= compass && compass <= 225) {
    x = 2.25 * (compass+108*compass+108*compass+108*compass);
    y = (compass + 108*compass+108*compass+108*compass+108*compass+108*compass);
}
break;
case (225 <= compass && compass <= 270) {
    x = 1.25 * (compass + 7.00 + 0.05 * (108*compass) + 9.0009474577778);
    y = 0.25 * (compass+108*compass+108*compass+108*compass+108*compass);
}
break;
```





観光振興に役立つ データベース連携型 Webシステムの開発

情報コース・教授

高山 毅

2008年の観光庁設置、2020年の東京五輪等を契機とし、「観光立国ニッポン」を実現する様々な取り組みが進行しています。高山ゼミではこれまでに、たとえば以下のようなシステムを開発してきました。

「坂道のマイナス要素を緩和するシステム」「bingoゲームを用いた回遊・再訪促進システム」「観光資源の特性分類を利用した広域観光地選定支援」「観光のための情報推薦の高度化」…。

授業やゼミで力を貯め、社会で実際に役立つシステムを開発しましょう。



ビッグデータ、人工知能

情報コース・准教授

木村 文則

文章（テキスト）を中心とした「ビッグデータ」の分析が主な研究テーマです。最近注目されている「人工知能」にも取り組んでおり、テキストだけでなく画像も対象にしています。また、通常のゼミとは別に「人工知能勉強会」を開催し、関心のある学生がゼミの垣根を超えて集まり、協力しながら学んでいます。新しい技術についても積極的に学び、社会で活躍できる力を蓄えてもらいたいと思っています。





数学教育、情報教育

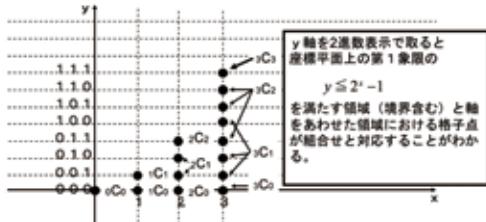
情報コース・准教授
南郷 賢

私の研究室では、学習指導要領や教育に関する社会的背景を理解した上で、教育に関する諸問題を様々な角度から検討します。例えば、「教科間の関連を図る指導が重要である」という命題に対して、「数学と情報の学習事項を関連させた教材」を開発したりします。図で示しているのは、情報で学ぶ「情報のデジタル表現」を活用し、数学で学ぶ「組合せ」を解釈した教材の一部です。2進数を活用し、組合せを座標平面上で表現しています。

最近は、IT企業でも教育関連の案件で教育への理解が求められるようす。教育のわかるIT技術者になってみませんか？

2進数表示を活用した組合せの解釈

■ 座標平面上に表現された組合せ



情報ネットワーク、 機械学習

情報コース・准教授
本田 治

ゼミでは情報ネットワークを主なテーマとしていますが、学生の研究テーマとしては加えて機械学習もテーマとしています。情報ネットワークの研究では、ネットワーク上で効率良く通信をしたい、通信の品質を制御したい、などの要求をどのようにすれば実現できるのかについて扱っています。機械学習の研究では、小説の様々な特徴をどのようにすれば自動的に抽出できるのかなどについて扱っています。





解析的整数論

情報コース・講師
宮川 貴史

解析的整数論という分野の多重ゼータ関数について研究しています。ゼータ関数とは、素数の背景にある関数で

$$\zeta(s) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^s} = 1 + \frac{1}{2^s} + \frac{1}{3^s} + \dots \quad (\operatorname{Re}(s) > 1)$$

という形をしています。1と自身でしか割り切れない自然数を素数と呼んでいますが、素数の列 $2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, \dots$ は未だ規則性が解明されず、関連としてリーマン予想という最大の未解決問題が残されています。

リーマン予想（懸賞金 100 万ドル）

$$\zeta(s) = 0 \quad (0 < \operatorname{Re}(s) < 1) \text{ ならば } \operatorname{Re}(s) = \frac{1}{2} \text{ である (?)}$$

この予想解決に向けた試みによりゼータ関数の理論は大きく発展し、そこで新たに生まれた多重ゼータ関数の理論が注目されています。



2021年度卒業論文（各ゼミナールの代表論文）

- テレワークによる労働生産性
- 小学校の教科横断授業で用いる
地上絵プログラミングツールの開発と授業提案
- ひきこもりを肯定する社会が引き起こす経済効果について
- SNS情報と意思決定についての考察
- 公開データから読み解くインディーゲーム産業の成長と
商品としての特性
- IT産業への転職とコロナ禍に関する考察
- シャドー・バンキング・システムに関する考察
- ペーパーレス化の進行と製紙業界
—大王製紙とユニ・チャームの比較分析より—
- 主体的な学びの実現に向けた商業科「課題研究」指導の構築
- 食品ロスと私たちの行動
- 消費税の仕入税額控除の問題点について
—医療機関の社会保険診療に着目して—
- 働き方改革導入の背景と課題
- 鳴門の「お御供（おごく）」の歴史と継承への課題
—フィールドワークから見えてきたこと—
- 健康経営の企業業績に対する効果

すべての卒業論文タイトルはこちら



経済コース卒論発表

「発達障害者の就労支援と障害者雇用の意義」

佐藤ゼミ 大堀 和音

私は、発達障害者の就労支援と発達障害者を雇用する意義について研究しました。

調査方法として、発達障害者の支援を行う支援機関と、発達障害者を雇用する企業へインタビュー調査を行いました。

その結果、発達障害者の就労支援には、支援機関の不足や障害特性への理解不足が課題としてあること、発達障害者を雇用する意義は、発達障害者の特性に配慮した雇用環境を企業が整備することで、どんな人にもわかりやすく働きやすい環境を整えるきっかけとなることが分かりました。

卒論発表会では、他の分野の先生から、研究中には気づけなかった視点から質問していただき、とても勉強になりました。

今後様々な場面で発達障害のある人と関わる時に、今回の研究で学んだことを生かしていきたいです。



5. 結論

・発達障害者と共に働く環境を整えるうえでどのような検討課題があるのか

- ①支援機関が量的に不足している
- ②発達障害への理解が支援側も企業側も不足している

でどのような意義があるのか

量や特性に配慮した雇用環境を
どんな人にもわかりやすく働きやすい
れるきっかけとなること



経営コース卒論発表

「アウティングの発生に係る安全配慮義務違反に関する一考察」

王ゼミ 平松 一翔

私は、ある法科大学院で起こったアウティングによる転落死事件の判例を検討しました。

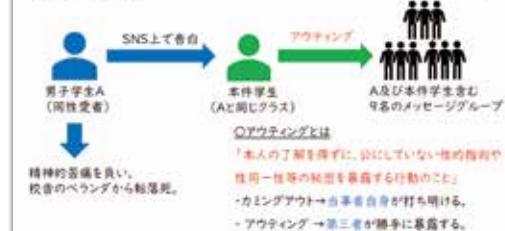
判決では、大学がハラスメント防止ガイドライン等の冊子を配布していたことや、アウティングをした学生が以前からセクハラに対する問題意識を持っていたとして、大学の安全配慮義務違反・教育環境配慮義務違反は認められませんでした。

しかし、ガイドラインにはアウティングに関する具体的な記述がなく、本件学生はSNSで他人の性的指向について発言することがアウティングに当たること等を理解していなかったと考えられ、大学は性的指向を打ち明けられた人へのフォローや、アウティングの定義及び内容を学生に周知する義務があったと考えるため、判決に反対であると結論付けました。

発表では、判例を読み慣れていない人に対して簡潔に説明することの難しさを痛感しましたが、大勢の方に発表を聞いていただき、自分自身でも検討不十分な点を見つけることができたため貴重な経験になりました。



事案の概要 一法科大学院で起こったアウティングによる転落死事件



情報コース卒論発表

「主体的な学びの実現に向けた商業科 「課題研究」指導の構築」

南郷ゼミ 首藤 聰太

私は広島県の商業高校を対象に、科目「課題研究」について研究しました。「課題研究」は探究学習を行い、社会の変化に対応する力を育成する柱的存続な科目です。しかし、教育現場では指導が難しく、多くの学校で躊躇っています。その原因として、商業科「課題研究」を対象とした研究が十分に行われていないことや、具体的な指導方法が構築されていないことがあります。その解決に向け、本研究では「主体的な学び」を促すことに重点を置き、各探究プロセス(①課題設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現)の指導を構築しました。

今後、私が教育現場で働いていく中で「課題研究」を担当させていただくことがあれば、勤務先の学校と相談しながら本研究で構築した指導を取り入れていきたいと思っています。そして、修正を繰り返し、社会の変化に対応する力の育成に努めています。



ビジネス情報分野で学ぶ分析手法等

分析手法等	学習する科目名
熱マップ	情報処理
社群分析	情報処理
社会グラフ	情報処理
TFIDF分析	情報処理
TFIDF計算	情報処理
回帰分析	アプロトウェア法則
統計的意味	アプロトウェア法則
データベースの構成	アプロトウェア法則
プロダクティング	アプロダクティング
ウェブページ作成	ネットワーク法則

他の分野での分析手法等

- ・マーケティングに関する理論
- ・マネジメントに関する理論
- ・財務諸表分析

【留意点】

新しい分析手法等を用いたいと生徒が思うこともある
→想定と準備

地域貢献



経済情報学科では、経済・経営・情報のそれぞれの分野で、地域に寄り添う教育研究活動に取り組んでいます。例年であれば商店街との連携企画や市民講座等、多彩な活動が見られますが、ここ最近は新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、思うに任せなかったものもあります。しかし何もせずただ手をこまねいていても仕方ありません。危機を賢明に恐れ、できることをする。人工知能分野における地元企業との产学共同研究は着実に進展していますし、データと想像力を駆使して街の振興を考えることもできます。危機の中で充電され、かつ、新たな方向性も与えられた学生たちのエネルギーが、今後、彼らの活躍の幅を自ら押し広げていくことでしょう。

←木村・本田研究室受託研究

「AIを用いた水産塩干物製造における異物選別」



↑森本研究室公開講座

「古文書講座—「女大学絵抄」を読む」



↑尾道市議会議員と経済情報学部生による談話会

「尾道市の抱える人口減少問題に解決に向けて」

少人数教育・ゼミ活動

尾道市立大学の特色として「少人数教育」を挙げることができます。経済情報学科は他の2学科に比べて多人数ですが、教育の場を複数かつ多層に分けて提供することで、多様なニーズに応えつつ、きめ細やかな指導ができるよう工夫しています。1年次の基礎演習は全員が履修する必修科目で、大学での学びのイントロとなります。3年次から4年次にかけて履修する専門演習（ゼミ）も必修科目です。指導教員のもと、全員が卒業研究を仕上げなければなりません。厳しいようですが、教員が一人ひとりの学生とそれだけ真剣に向き合うということです。他に特別演習も用意しています。教わるだけでなく教員と共に研究に悩み、かつ研究を楽しむ場として、この演習を活用できます。新型コロナウィルス感染症等の予期せぬ事態がもたらす影響に細心の注意を払いながら、学生の「やる気」という最大のニーズに応えて、経済情報学科は学びの場を惜しみなく創出していきます。

↓専門演習Iのフィールドワーク（森本ゼミ）



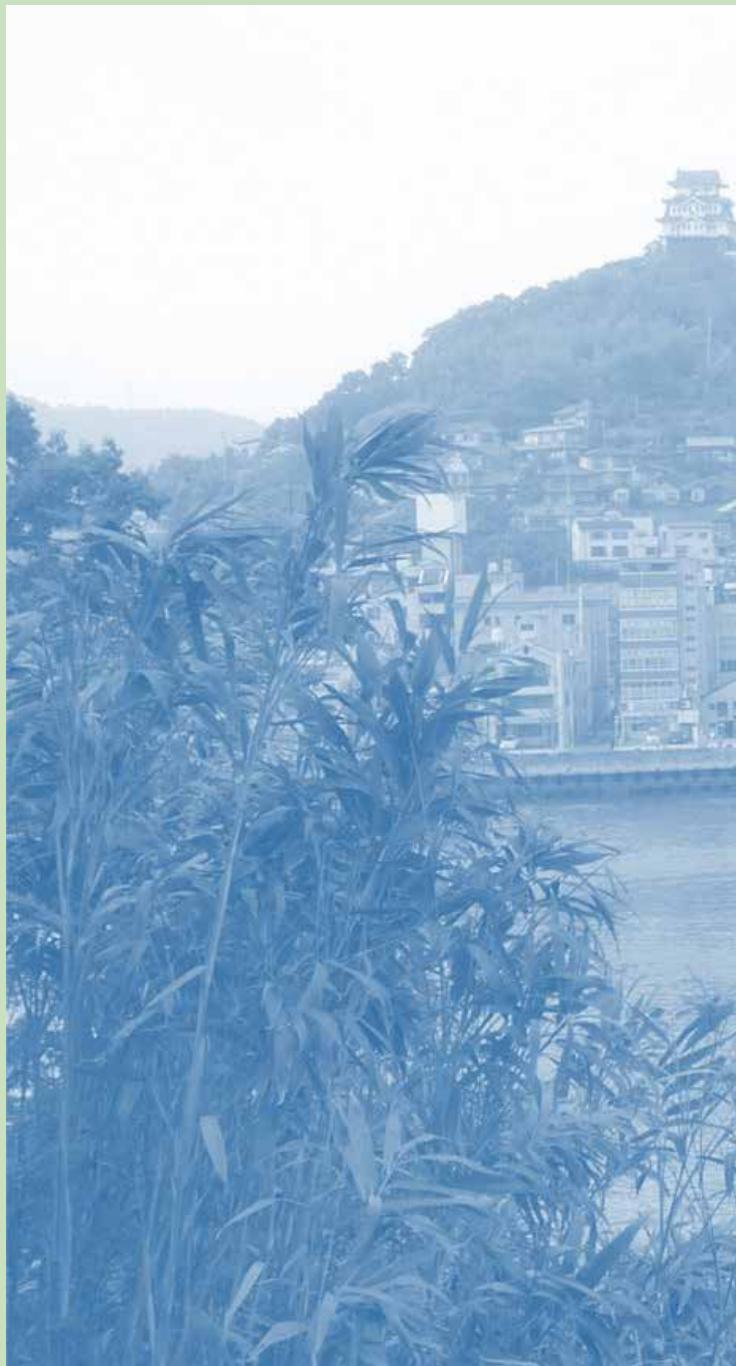
↓特別演習I（AIで文字認識する演習の風景）



足引きの山分け下りて、

尾道の浦に到り着きぬ

（今川了俊『道行きぶり』）







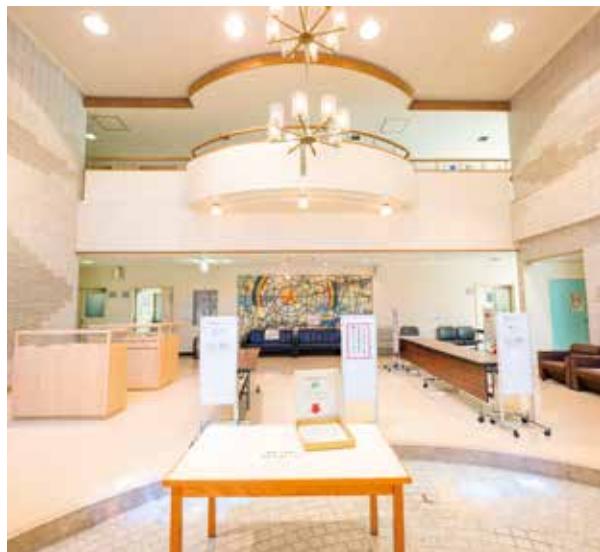
日本文学科長
灰谷 謙二

コロナ禍は、社会とはなにか、人のつながりとなはにかを私たちに問い直させ、当たり前だと思っていた日常の価値をゆさぶることになりました。

大学の学びの姿もオンラインと対面という二つの極のあいだで様々な姿をとり、ゆれうございます。人が集まってともに学ぶこと、協働することの意味はどこにあるのか、顔を合わせたコミュニケーションでしか得られないものとは何なのか、人と人とがつながることの本質はどこにあるのか。その意味を根本から問い合わせることを求めてきたとも言えます。

自分とは違うなにか、それが目の前にいる人であれ、スマホやモニター越しの人であれ、文献をとおして向き合う1000年前の作者であれ、そこには場がうまれ、その相手とのかかわりとつながりを希求する。不完全で不如意なことばに苦しみながら相手を理解しようとし、結果的に自分とはなにか人とは何かという問いに帰っていく。その営みは、時代や状況、コミュニケーション技術やメディアの変化に応じて変質しながらも、続いている。

日本文学科が求められているのは、人々がこうして生きていくその道筋を、精神活動・社会活動の具体としての言語文化に関する省察を通して、一人一人の小さな灯を集め大きな明かりにしながら探っていくことにあるのでしょうか。たくましくつながる力を身に着けながら、ともに学んでいきましょう。



学科紹介動画はこちら

アドミッション・ポリシー

日本文学科の教育理念は、日本の文学や言語についての専門的知識や芸術文化への理解など、幅広い視野と深い教養、また高い言語能力を身につけた人材を育成し、人々の精神生活を豊かにし、社会の発展に寄与することにあります。

また、本学科の教育目標は、しっかりと基礎学力の上に、広く芸術や文化を学びながら日本文学と日本語学の専門分野での研究を深めることで、優れた言語運用能力・論理的思考力・分析力を身につけた、諸共同体のリーダー、教育者、研究者等これからからの社会の形成を担う人を育成することです。

このような教育理念・目標に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・従前の教育課程等において確かな国語の力を身につけた人
- ・問い合わせをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・高度な読解力・表現力・対話力を身につけ、その力を活かして協働的に社会に参画する意欲がある人

日本文学科の授業

日本文学科は日本文学系・日本語学系・中国欧米文学系の3つの領域からなり、広い分野にわたって、専門性豊かな教員が、学生の学習意欲に応え、懇切に指導します。

1年生で基礎演習、2・3年生で専門演習を履修し、卒業論文の研究に結びついていくように科目を配置しています。卒業論文は、研究論文だけでなく、創作作品での提出も認めています。

日本文学科では、少人数による徹底した双方向教育によって、教員・学生相互の人間的な触れ合いが密になり、充実した学生生活を送ることができます。

卒業後の進路

卒業生の進路は次のようになっています。

- 進学(大学院・大学・各種学校など)、教育関係(学校教員・塾・教育支援など)、
- メディア関係(出版編集者・有線テレビジョン放送など)、情報通信業、
- サービス業(金融・通信・アミューズメント産業・環境管理など)、公務員。

卒業生は、在学中に学んだことを充分に活かせる職場でそれぞれ活躍しています。また本学には大学院(修士課程)も設置していますので、さらに研究を深めたい学生の進路の一つとなっています。

留学生

日本文学科には留学生も在学しています。国際化が進む今、異なる文化圏の出身者と交流することは自分ないし自分が所属する文化圏を見直すことにもなります。留学生たちと共に日本の文化をより深く学び、幅広く豊かな人間関係を築いてほしい、と願っています。

学科行事・学会行事

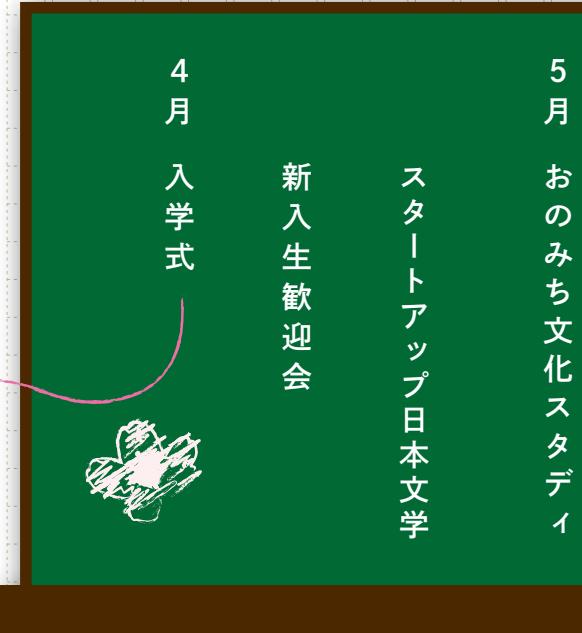
日本文学科では教員と学生の親睦、同じ学年や学年を超えた学生間の親睦、あるいは自分の研究や学識を広げ深めるために、次のような学科や学会主催の行事を行います。



これから4年間をともにする教員や学友と対面です。



新入生は5人程度のグループに分かれ、
それぞれのチューター教員から
学生生活について説明を受けます。



オープンキャンパスでは、在学生が大学生活で得たものを惜しみなく伝えています。

7月 キャンパスツアーリ

8月 オープンキャンパス

9月 フィールドワーク

10月 卒業論文の中間発表

12月 おのみち文学三昧

1月 卒業論文提出

2月 卒業論文口頭試問

3月 学位記授与式



2021年度は万全の感染症対策をもとに2年ぶりにフィールドワークを実施し、成果報告集を行いました。



4年間の集大成、「卒業論文」を提出する
決定的瞬間！



晴れて卒業の日を迎え、新たな一步を踏み出します。



日本語学（古典語）

日本文学科・准教授

藤本 真理子

日本語の歴史的变化を中心に研究しています。

今、私たちが話したり書いたりしていることばと、昔のことばとは、どこかでつながっているはずなのに、どんなふうに変わってきたのか、まだまだ分からぬことがたくさんあります。

古い資料の全てが残っているわけではありません。そのため、これらの資料の点と点とをどのようにつないで、歴史や变化の線を描いていくのかは私たちに任されています。

そのときヒントになるのは、他の国のことばや、日本の中の方言など、さまざまなことばの変化です。そうして描き出したストーリーはまた、ことばの世界を広げていくものになるのでしょうか。

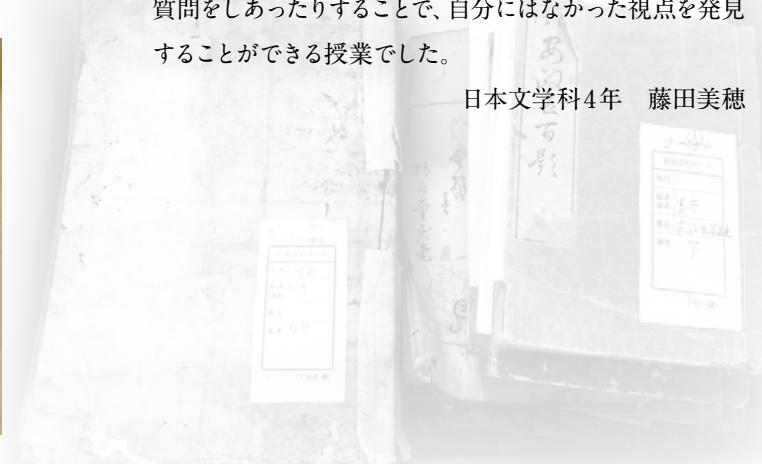


授業風景 古典語学専門演習(SP 盤レコード)

2021年度の古典語学専門演習では『大正期SP盤レコード芸能・歌詞・ことば全記録』という資料を使って学習しました。この資料は大正期の歌劇・落語・演説などを記録したもので、近代日本のことばの使われ方を知ることができます。

講義では、資料の中から自分が興味のある題材を選び発表をしました。「資料に出てきた『心を得(う)』と『心得(え)る』の違いはなんだろう」「文末詞『ぜ』の役割ってなんだろう」「外国の地名表記に現代とは違うものや一つの国名に複数の表記があるがこれはなんだろう」など、何を考察するのかも自由なので自分の興味・関心に沿った学習をすることができます。また他の受講者の発表を聞いたり質問をしあったりすることで、自分にはなかった視点を発見することができる授業でした。

日本文学科4年 藤田美穂





日本語学（現代語）

日本文学科・教授

灰谷 謙二

コミュニケーションツールとして自分の伝えたいことを伝え、相手を理解する言語について、わたしたちはいろんな形で違和感やずれを感じます。当たり前のように使っていたものに、ふとした瞬間にひっかかりを感じる。おもしろいと思ったり、嫌な気持ちになったりする。ことばを使うだけではなく、何だろう、なぜだろうという問が生まれる。使っている言葉を俯瞰的にみつめ、近寄り観察しようとする視点が言語研究をスタートさせます。日本語学（現代語）分野では、基本的で、一般的・普遍的な原理原則を導き出そうとする理論的研究と、時間や空間の広がり、つまり歴史的変化と方言にみられる多様性や連続性を明らかにしようとするデータ型の実証研究の大きく二つがあります。研究の発展深化にともなって、それぞれの対象への迫り方も厳密詳細になっていきます。専門性が際立つると、場合によっては視野が狭くなることもあります。それを自覚すると、分析分解でミニマムな世界に入っていく方向に対して全体を総合的にとらえる方向や、多角的に問題に切り込むことの有効性が感じられるようになります。

現代語ゼミでは、扱う問題は身近なものからスタートします。方法は万事徹底用例を重ねて、具体的な事例のなかから、より大きな問題が立ち上がり、いろいろな問と問がつながり、関係がみえてくる瞬間を大事にしています。こんなことが研究になるんだろうかと不安な顔で研究をスタートしていった人が、自分のやろうとしていたことの意味をつかみ、そこから広がる世界に勇気をもって進んでいくような場でありたいと思っています。

授業風景 現代語学専門演習a・b

2・3年生が履修する現代語学専門演習では、まだデータとして本や文字のかたちになっていないものを自分の視点でかたちにし集め、人と共有できる姿にし分析をはじめ フィールドワークの手法を理解し体験します。文末の観察をきっかけにして、文全体、文表現全体をまるごとで考えていくトレーニングをしています。

3年から分れるゼミでは、3年生研究発表会をひとつの目標にします。それぞれの卒業論文のテーマを見据えて、自分のテーマをさがし、研究として成立するものに育てていくプロセスを経験しながら、方法や論を精緻なものに磨いていきます。





日本中古文学

日本文学科・教授

宮谷 聰美

私がおもに研究対象としてきたのは『伊勢物語』などの歌物語です。歌物語というかたちが生み出されたのは平安前期のごく一時期のことですが、その後も歌は物語の中に存在し続けます。和歌が散文とどうかかわっているのか、平安時代の仮名物語がどのようにして誕生し、後の文学、文化にどのような影響を与えてきたのかということに 관심があります。どんな作品もある日突然発生するのではなく、互いの関連の中で生まれ、新しい文化を生み出す土壌となっていきます。『伊勢物語』は小さな物

語集ですが、その影響力は大きく確かでした。

文学への関心は「自分」への関心でもあります。すでに表現されたものの中に共感できる価値観を発見することには、自分の価値観に保証が与えられる安心感があり、それがいつかどこかで「自分」を支えてくれることになるでしょう。

演習では『古今和歌集』や『枕草子』などを取り上げ、古典文学研究の苦労と楽しさを味わっています。



近著『歌物語史から見た伊勢物語』
(令和四年 新典社)





日本中世文学

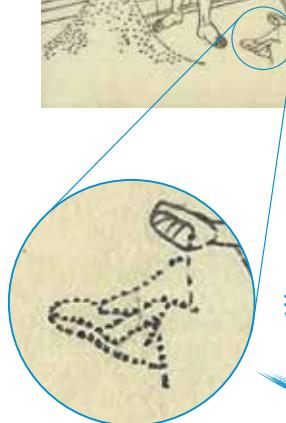
日本文学科・教授
藤川 功和

今や小説や漫画、アニメ等にも活躍の場を広げている『百人一首』ですが、既に江戸時代には色々な楽しまれ方をしていたらしいです。

その一つに和歌の内容を踏まえた絵(歌意絵)を添えた「絵入り本百人一首」があります。読み解きには少々工夫が必要で、ほんの少しうカタを変えると見えてくるものがあります。

一例として、「今はただ思ひ絶えなむとばかりを人づてならで言ふよしもがな」(藤原道雅)の歌意絵を掲載しました。

さて○枠の絵の意味するものはなんでしょうか…?



拡大図



正解はこちら!!



日本近世文学

日本文学科・講師

吉田 宰

日本近世文学とは江戸時代の文学のことです。私は近世中期（1700年代頃）の文学を中心に研究しています。とくに当時の文学が同時代の思想や自然科学と、どのように関わり合っているのかという点に興味があります。そのため、いわゆる「文系」「理系」といった今日的な枠組みにはとらわれず、分野横断的視点から考察を深めていくところに私の研究の特色があります。また、近世中期における本屋の出版活動についても調査を行っています。

近世文学の研究では、浮世草子や読本といった近世小説だけでなく、妖怪や遊女、さらには本草・博物学といった一見すると文学とは無関係に思われるものまで、あらゆることが考察対象となります（かくいう私も、近世中期のある文学作品に描かれたカッパの挿絵と当時の博物図譜との関係を調べたことがあります）。

近世文学を通して様々な物事を多角的に捉えることは、現代において「当たり前」と認識している枠組みを相対化し、改めて考え方を直すよい機会となります。またそれ以上に、自分の興味にしたがって、その知的好奇心を満たせるという点は、実に幸せなことです。

既存の枠組みに縛られず、自らの関心がおもむくまま、ぜひ一緒に学びを深めてみませんか。

授業風景　日本文学講読Ⅳ（近世）、
近世文学専門演習 a・b

「日本文学講読Ⅳ（近世）」の授業では、江戸時代中期に刊行された『雨月物語』という作品の講読を通して、受講生それぞれが興味をもったテーマに関する口頭発表を行いました。私は作中における「あやし」という表現に注目し、ひらがなと漢字との表記の使い分けから生じる意味の違いについて分析しましたが、文学の授業なのになぜ言葉を？と疑問に感じる方もいらっしゃるかもしれません。書籍等に掲載されている近世文学の多くは、今の私たちが読みやすいように古典本文から変更や修正が加えられていることがあります。そのため、作品のもつ問題や奥深さを追求するためには、底本をもとにした本来の表現に立ち返る必要があるのです。また、より専門的な知識を身に付ける演習の場では、自分たちで一から原文（くずし字）の読解にも挑戦しました。最初はなかなか前に進めず頭を抱えていましたが、慣れるところとちょっとした謎解きの気分を味わうことができて面白かったです。

3年　野寺 菜月

日本近現代文学



日本文学科・教授

柴 市郎

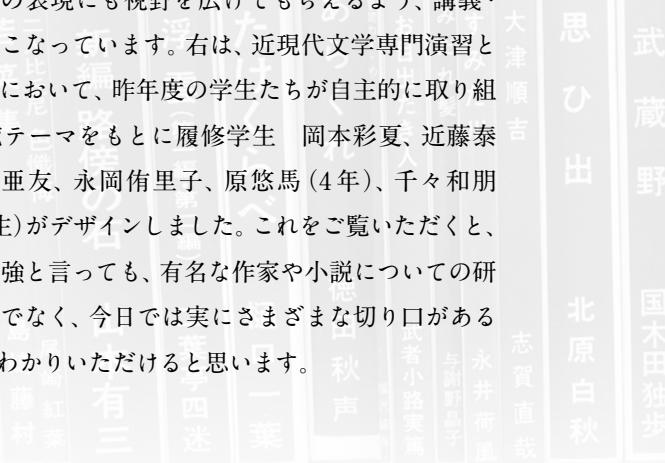
私の専門領域は日本近代文学です。明治時代から昭和期までの文学を主要な研究対象としています。作家で言えば、夏目漱石や小林秀雄といった文学者たちが対象です。さらに現在は、自分の研究領域を小説や評論といったジャンルに限定せず、映画など活字メディア以外の分野についても考察しています。

近年、文学研究の世界は多様化し、一昔前では文学研究の領域とは見なされていなかったジャンルに関する研究もなされるようになってきました。学会の研究誌にも、アニメーションなどのサブ・カルチャーや映画に関する研究論文が掲載される時代になりました。

こうした新たな文学研究の動向にも配慮し、多様なジャンルの表現にも視野を広げてもらえるよう、講義・演習をおこなっています。右は、近現代文学専門演習という授業において、昨年度の学生たちが自主的に取り組んだ研究テーマをもとに履修学生 岡本彩夏、近藤泰成、篠原亜友、永岡侑里子、原悠馬(4年)、千々和朋憲(卒業生)がデザインしました。これをご覧いただくと、文学の勉強と言っても、有名な作家や小説についての研究ばかりでなく、今日では実にさまざまな切り口があることをおわかりいただけると思います。



吾輩ハ猫テアル
(上編・中編・下編)
夏目漱石





日本近現代文学

日本文学科・准教授
原 卓史

研究対象

坂口安吾・太宰治などの〈無頼派〉〈新戯作派〉や、歴史小説・時代小説を中心に研究活動を行っています。作者の意図を考えることだけが文学研究ではありません。時代背景の考察、歴史的な文脈の中での作品の位置づけ、文学理論の援用など、ありとあらゆる可能性を考え小説を読み解いていきます。また、歴史小説・時代小説を中心とした大衆文学についても興味を持っており、ライトノベル、マンガ、アニメ、映画、ドラマなど、領域横断的な研究も行っています。



ゼミ風景

2022年度は、4年生8名、3年生10名でゼミを行います。学生は修士論文、卒業論文(論文テーマ: 芥川龍之介、泉鏡花、江戸川乱歩、梶井基次郎、司馬遼太郎、太宰治、谷崎潤一郎、村上春樹、夢野久作など)をします。また、文芸創作を卒業制作にする学生も3名います。いい卒業論文を書くためにはいい論文をたくさん読まなければなりません。また、いい小説を書くためには、いい小説をたくさん読まなければなりません。

授業風景

前期: パソコンを用いて日本文学の研究の仕方を学ぶ「日本語表現法」、代表的な日本近代文学の作品を読む「日本文学史」、昭和期の小説について学生が発表を行う「近現代文学専門演習」などを担当。

後期: 赤神諒『空貝一村上水軍の神姫』の精読を行う「日本文学講読」、坂口安吾について考察する「日本文学講義」、日本近現代文学の短篇小説について学生が発表する「近現代文学専門演習」などを担当。

著書&編集協力

2013年に刊行した『坂口安吾 歴史を探偵すること』と、編集協力者として2014年に出版した『田中英光事典』(太宰治の弟子)です。





国語教育学

日本文学科・教授
信木 伸一

「国語教育学」は、一言で言えば、ことばの力の教育を研究する学問です。"ことばの力"は、ことばによって自分と〈世界〉や〈他者〉との関係を新たに創り出したり別様に組み替えたりする力です。これは、よりよく生きることに大きく関わる学力だと言えるでしょう。

読む力を例に考えてみましょう。読むということは、新しい自分を作っていくことに関わっています。小説にせよ評論にせよ、それを書いた人がたとえ意識せずとも、自分の生きる社会や文化の中での何かを問題にとりあげて、自分にとっての現実の意味を付け加えて創り出したものです。その問いかけと現実の意味づけをめぐって、私たち自身のことばを紡いでいくなら、それは新しい見方や考え方を創造する対話的な読みの行為だと言えるでしょう。このような読みの学力を獲得する学習の理論と方法を探求するのも国語教育学の研究テーマの一つです。

国語教育学は、これから言語文化の創造していく担い手を育てるにめざしています。文学の近接領域にあって、常に実践と結びつくことが想定された学問であり、本学で文学やことばについて深く学んだことを社会で活かす一つの道だと言えます。

ゼミ風景

ゼミでは、国語教育に興味のある生徒が集い研究を進めています。研究内容は様々で、私は、夏目漱石「こころ」について、国語教材としての扱われ方を歴史的に研究しています。先生や仲間に頂く指摘は自分の研究を進める上で欠かせないものです。国語教育に興味のある方はぜひ研究室を訪れてみてください。

日本文学科4年 濑良寧々

ゼミでは主に国語教育について研究をしています。私は、古文教育の変遷や学習活動の変化について研究しています。信木先生の的確なご指導や他のゼミ生からの温かいアドバイスをもらいながら、とても良い環境で自分の研究を進めることができます。国語教育に興味のある方はぜひ検討ください。

日本文学科4年 横原帝人





中国文学

日本文学科・教授
鷹橋 明久

現代の日本は、欧米文化の影響下にありますが、明治以前にあっては、千数百年にわたって、中国文化の影響を受けてきました。したがって、中国の伝統文化は日本文化の基層に濃密に埋もれ、現代を生きる日本人にも無意識のうちに作用しているといえます。中国の古典文学に触ることにより、われわれ日本人の体質の底辺に潜み、もはや皮膚感覚にすらなっているものを呼び覚まし、発掘していきたいと思います。そして、現代を生きる我々が見失ってしまった生き方や考え方の素晴らしさを、皆さんと一緒に享受していきたいと考えています。(ゼミでは主として中国六朝～唐代の詩や小説を取り上げることが多いですが、頬山陽、菅茶山、橋本竹下等の日本漢文についても取り扱っています)



頤廷年沈約傳注

君中不能寐起坐彈鳴琴明月松林中憂也彈琴故以

六朝～唐代
山陽、菅茶
ています)
意略其幽古也
鳴北林。向曰孤鳴喻賢臣孤憤。王外號痛聲也。相
以比權臣在近則謂晉文王也。善曰廣
憂思獨傷心。荀曰由此而憂思。善曰嗣
之子難以情測故。獨因茲發詠故每有憂生之

國六
頤口
卷二

江濱逍遙順風昇文甫懷環
情歡愛千載不相忘。濟曰江妃二女游
也文甫則未如此。籍飾成此文
懷毛萇詩傳曰婉孌少好貞子虛賦曰扶
結中腸。銑曰言美兒傾人之城迷惑下女
陽皆謂晉文王初有輔政之心為之
生歌曰一頃頃成聳聳子好色賦
家之子嫣然一笑取陽城是丁寧
感歎之



歐米文学

日本文学科・准教授
小畠 拓也

専門分野

20世紀中頃以降のアメリカのSF (science fiction/speculative fiction) を研究対象にしています。20世紀中頃以降の人文・社会・自然科学の成果により世界を捉える解像度が高まったおかげで、現在では、もともと多様であった人の生／性のあり方、世界の複雑さへの認識が広まっています。しかし残念ながら、「少数派」を抑圧して優位に立ち続けたい「多数派」の拠り所として、前時代的な「常識／自然」などの、世界を単純な構図に落とし込むための「毒になる物語」もいまだに力を持ち続けています。文化研究 (cultural studies) の立場から、娯楽として消費されるステレオタイプ化したイメージ (ロボット、異星人、モンスターなど) の分析・再解釈を通じて、「毒になる物語」への解毒剤を提供することを目指して、試行錯誤を続けています。

授業風景

【授業・演習】

「歐米文学概論」・「歐米文学講義」・「比較文学」の講義科目では、「文学」との関わり方を「趣味・消費」から「研究・再生産」へと切り替えてゆく上で必要となる、術語の提示・解説に注力しています。演習科目の「歐米文学専門演習」では、受講者が自身の興味関心のあり方に応じて主体的に文学研究に取り組んでゆくための、情報収集と分析の訓練を積んでもらうこととしています。

【ゼミ】

英米文学の研究者である私が日本文学科で受け持つ特殊なゼミであるため、外国語の資料を通じて積極的に情報収集を進める意欲を持つ人の参加を求めています。



文芸創作



日本文学科・教授
光原 百合

作家の端くれである光原百合と申します。あまりにも書くのが遅いので、「光原百合が作家でい続けているのは奇跡」などとネットに書かれたことがあります。本当のことなので気にしていませんが。なんであれ、奇跡であるというのは素晴らしいことです。そんなわけで本学では、主に文芸創作を指導しています。

今回は、その奇跡の一端をお目にかけます。近著の書影と、どういういきさつの本であるかのご説明を書いておきます。

仲のいい作家仲間で「アミの会」という会を作っています。話し合ってテーマを決め、各自がそのテーマに沿った短編を書き、それをまとめて新作の書き下ろしアンソロジーを作るという会です。これまでも「捨てる」「隠す」「毒殺」「初恋」などといったテーマでアンソロジーを出しています。この中の「捨てる」のために書いた「ツバメたち」という作品を、共通テストが始まる前の年の試行調査の国語の問題に採用していただいたため、たくさん的人に読んでいただけた機会を得て、大変ありがたいことでした。

この会で次の本のテーマを決めるとき、だれかがふと、2冊組で意味が分かるテーマもいいよね、と言い出し、「迷」「惑」という、意味の似た漢字が、並ぶと「迷惑」になるというところが面白いので、次回は「迷」「惑」で行こうということになり、めでたく「迷惑」という2冊組のアンソロジーができた(実業之日本社)。それが文庫化されたのが、今回の書影です。私の作品は「惑」のほうに掲載してもらっています。

そんなアミの会の最新アンソロジーが、「11の秘密 ラスト・メッセージ」です。

書影を掲載したうちのあと一冊、「涙と笑いのミステリー」は(汐文社)から刊行された、「十代のためのベスト・ショート・ミステリー」という四冊のシリーズのうちの一冊です。

若い読者にミステリーの面白さを知ってもらいたい、というシリーズなので、新作の書き下ろしではなく、これまでに書かれた膨大なミステリー作品から、若い読者にミステリーの面白さを知ってもらうにふさわしい短編を選んだということです。この中に拙作を選んでいただいたのは、大変に光栄なことでした。

演習紹介 日本文学科3年 久保紫野

文芸創作の授業は、個人作業でありながら共同作業であると言えます。授業で紹介された物語の展開方法から作品を書き、先生のコメントと共に他の受講生の作品を読んでいきます。同じ課題に対しても人によって表現や物語の広がり方はさまざまです。有名な文学作品を読むのとはまた違った感覚で、面白い作品をたくさん読むことができます。つまり、身近な友人や受講生の描写表現を実例に、どう書けばより良い作品が生み出せるかを学ぶことができるのです。

文章を書くこと自体は、至難の技というわけではありません。ただそれを一人で書いて一人で読んで、一人で満足していたら、作者の力も作品の魅力も留まつたままでしょう。自分では気づかなかった良い点も悪い点も、他者が読むことで浮き彫りになることがあります。それをうまく吸収していくことで、傑作が生まれるかもしれません。苦労もたくさん味わうことになるかもしれません、同じ創作に励む者たちと一緒に自身の感性を磨くことができます。





民俗学・伝承文学

日本文学科・教授

藤井 佐美

文学と民俗学の交わりから日本の伝承文化を研究しています。個人的には昔のお坊さんがお説教に取り入れた昔話や伝説、口伝の世界を研究していますが、一方で様々な地域の民俗調査も進めています。まったく別世界に思われる分野が自然に結びついた時、日本文化の奥深さを実感すると同時に、身近な伝承が少しづつ身近になります。ゼミには好奇心旺盛な学生達が集まり、重層的な研究方法から自分達の意外な面を発見しているようです。



ゼミ学生の研究テーマより

- 福山市神辺町御領の鬼伝説
- 東広島市の菖蒲前伝説
- 岡山県のさんぶ太郎伝説
- 尾道の浦島太郎と竜宮伝説
- 岡山県の温羅伝説
- 流し雛
- 四国の狸伝説
- 鬼が神になる祭
- 大分県姫島の神話と伝説
- 絵巻の動物
- 神楽研究
- 全国の山姥伝説
- 月見と禁忌
- 御伽草子と昔話
- 広島県竹原市の塩田文化
- 雨に関する古代表現
- 災害を伝える民話
- 日本の地蔵信仰
- 愛媛県中島のおみどり神事
- 姑獲鳥の歴史
- 羽衣と天人女房
- 島根県の丹塗箭伝説
- 瀬戸内海のカラスの神事
- 三途川の奪衣婆伝承
- 浄土僧袋中の夢記『寤寐集』研究
- 長崎県壱岐島の昔話報告書研究
- 岡山県の昔話報告書研究
- 『今昔物語集』の葺説話
- 蛸の昔話（創作）
- 絵巻物の百鬼夜行
- 福井県小浜市の八百比丘尼伝説
- 長崎県長崎市の汚池姫伝説
- 呉市の音戸の舟唄
- 山椒魚の伝承研究
- 鳥取県の赤松池伝説
- 三重県の祭祀とダンダラボッチ
- 大分県の真名長者伝説
- 島根県雲南市の神楽
- 山口県湯田温泉の開湯伝説
- 徳島県の首切れ馬伝承
- 兵庫県佐用町の晴明塚・道満塚
- 尾道市御調町の昔話・伝説
- 広島県安芸太田町の伝説
- 高知県の妖怪シバテン
- 広島県府中市の七ッ池伝説
- 和氣姫伝説と瀬戸内の祭祀



英語

日本文学科・教授

高垣 俊之

私は複数言語の習得・使用に関する諸問題を、個人、教育、社会の各面から主に英語に着目して研究をしています。個人面の研究では英語と日本語のリテラシーを分析し、教育面の研究では国際語としての英語という視点から調査をし、社会面の研究ではカナダやニュージーランドの言語事情を通して検討してきました。Multilingualism/Translingualismの世界を広く深く探求していきたいと願っています。



英語

日本文学科・教授

平山 直樹

私の専門分野は英語学で、15世紀イギリスの名家であるパストン家の人々が書いた日常の手紙や法的文書などの英語を研究しています。特に、手紙で良く使われる表現で、相手にお願いする際の“*I pray you (that) ~*”や、自分の考えを述べる際の“*I think (that) ~*”に興味があります。それらがどのように使われているかを、送り手の手紙の内容とのかかわりの度合いや、受け手との関係に着目して調べています。また、2019年度には半年間英国に滞在し、オックスフォード大学の図書館で15世紀の手書き文書を観察しました。その経験を、今後の研究に役立てたいと思います。

授業は教養科目の英語を担当しています。TOEIC対策の授業では、テストへの対応力だけでなく、会社、旅行、広告、ショッピングなど、ビジネスや日常の場面で使う英語の基礎力を身につけることを目指します。また、読解演習を中心とした授業では、文構造および談話構造、更には異文化コミュニケーションであることも踏まえ、文脈に合った解釈をする練習を繰り返します。これにより、辞書と読解方略を組み合わせれば正しく英語が読めて、授業後も自己学習が進められる力を身につけることを目指します。





心理学

日本文学科・教授
塚本 真紀

自分勝手な解釈や決めつけは私たち人間の得意技ですが、得意すぎて自覚がないこともしばしばです。心理学では、人間の解釈や認識をとらえるために、ふだんあまり明確には意識していないような人間の反応を、あえてさまざまな手法でとらえていきます。日常生活で人間の反応をとらえるときも、教育活動における教員と生徒とのかかわりを考えるときも、研究の中心になるのは丁寧な「観察」です。「観察」というとただひたすらじっと観つづける、という受け身の行為のように思われがちですが、実際にはかなり能動的な行為です。具体的にどのように観察すると人間を理解(ある程度ですが….)することができるのか、心理学の講義を通して学んでいただきたいと考えています。

私自身は多義的な言語表現のとらえ方の個人差に興味を持って研究を進めています。心理学系の講義を受講した学生さんには、時々、実験課題や調査への参加を呼びかけることがあります。少し緊張してしまうかもしれませんのが、気楽な気持ちでいつもの自分を出してもらえるとうれしいです。

そのほかに、教職課程の担当として、地域のボランティアや学内のピア・サポート活動を推進する活動に取り組んだり、教員採用試験の学習会を開催したりしています。学部・学科・学年を超えて、教職を志すみなさんが学び会う場を提供していきたいと考えています。



信玄 VS 謙信

これも『百人一首』



ワンミニッツPR動画はこちら

尾道市立大学中世文藝研究会

伝承文化研究会

虚構研究会



虚構研究会は人文学・芸術分野の様々な事象について情報共有・意見交換を行う自主ゼミです。文字を媒体とした文学ジャンルはもちろん、視覚映像・音声・空間、さらにはそれらが複合するものも含めたあらゆるメディア上の虚構・物語・表現を研究・考察の対象にしています。

日本の様々な伝承世界を資料調査やフィールドワークから研究しています。身近な地域の民話研究、古文書の活字化やデータベース化なども進め、2021年度は瀬戸内海の歴史を伝える村上海賊ミュージアム所蔵の『ばけ物三十六歌仙』を読み解きました。研究成果は『尾道文学談話会会報』第12号に掲載し、インターネット上(HARP広島県大学共同リポジトリ)でも公開しているのでぜひご覧下さい。これからも日本の伝承文化を楽しく研究し発信していきます。(藤井 佐美研究室)



論文の詳細はこちら

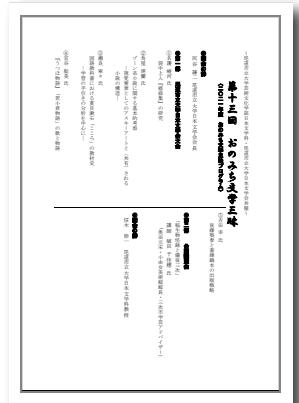
尾道市立大学日本文学会は、日本文学科所属の教員と学生及び学会の趣旨に賛同する方を会員として、学会大会(研究発表会)・講演会・学会誌発行などの活動を行っています。

学会誌には学生も研究論文や創作作品を投稿しており、日本文学科の活動成果の重要な発表の場となっています。

尾道市立大学日本文学会



学会誌『尾道市立大学日本文学論叢』
最新号



第13回おのみち文学三昧プログラム



ねこねこ尾大探検 『翠幻地』第56号より

翠幻地



『翠幻地』第56号 表紙デザイン
美術学科3年 田中 美帆

『翠幻地』は各学年の編集委員と協力スタッフによって発行される日本文学科の広報誌です。その内容は、学生や教員のインタビュー、研究会紹介など多岐に渡ります。取材、執筆、貞レイアウト、デザインなど、ほぼ学生の手で作られています。近年は、編集にDTPソフトを導入するなど、編集作業がより深化しています。編集委員が一丸となって、ますます『翠幻地』の魅力を高めてゆきます。

おのみち文学三昧は、尾道市立大学日本文学会と日本文学科共催の文学イベントで、学生・教員の研究発表と、外部講師を招いた公開講演会の二部構成です。

昨年度は2020年に続いての遠隔開催となりました。全国各地の参加者が距離を越えて、〈ことば〉を頼りに一つに繋がるという、文学の本来的な在り方を体感する貴重な時間となりました。



▲告知ポスター デザイン
美術学科3年 田中 美帆

おのみち文学三昧

私は先日の文学三昧で「ブーン系小説」というウェブ小説の一ジャンルに関する研究発表を行いました。既存の形態に縛られない先進的なインターネット文学の研究を通して、現代文学の「懐の深さ」に迫っていきたいと考えております。

日本文学科4年 角屋 瑛蘭



文学三昧では、夏目漱石「こころ」の高等学校国語教科書における教材史について発表しました。自分の研究分野とは異なる方からの意見や質問を頂き、新たな視点の発見に繋がりました。また、自分の研究を客観的に見直す良い機会になりました。

日本文学科4年 澄良 寧々



僧の袋中が書いた『寤寐集』に関する発表を行いました。オンラインとはいって、多くの方を前に発表するのは、かなり緊張しました。マイナーな研究対象でしたが、大勢の方に自分の研究している内容を知って貰えたよい機会を頂いたと思っています。

日本文学科4年 名護 嶺河





尾道草紙16 表紙デザイン
美術学科3年 田中 美帆



尾道草紙16より もくじ

尾道市立大学芸術文化学部には日本文学科と美術学科が併設されており、全国的に見てもユニークな構成となっています。その特色を生かした文章と絵のコラボレーション企画をご紹介します。

〈尾道の魅力を新たな創作作品によってさらに輝かせる〉というコンセプトのもと、2006年から毎年、日本文学科生が尾道を舞台にした物語を執筆し、美術学科生が装画や挿絵をつけて制作している作品集が『尾道草紙』です。準備にあたっては学生たちと一緒に実際に尾道の街を歩き、自分の感性で魅力的な場所を見つけて作品を作るよう促しています。今では尾道市立大学芸術文化学部の特色を表すものとしてすっかり定着し、2022年3月には第16号を発行しました。猫の細道、桜土手など、尾道の様々な名所を舞台とした物語5編を収録しています。

尾道草紙



尾道草紙16より 創作民話マップ
デザイン 美術学科3年 原田 青空

近代文学研究者であり、学習院女子大学教授であった高橋新太郎氏（昭和7～平成15）は、貴重な資料を含む膨大な蔵書を残されました。そこには、作家の自筆原稿や書簡、演劇関係のパンフレットなど芸術的にも興味深い資料が多数含まれています。現在、日本文学科では、これらの貴重な資料の整理、データベース化作業にも取り組んでいます。



2019年に開催された「おのみち文学三昧」の展示ポスター



2019年に開催された「おのみち文学三昧」での展示



書庫の様子

高橋新太郎文庫



尾道文学談話会会報 第12号表紙デザイン
美術学科4年 岡部 真衣

日本文学科を中心とする本学の教員が文学や言葉にかかるさまざまな話題を提供し、地域の方々と大学の外で語り合う形式の公開講座です。ここでの成果は毎年『尾道文学談話会会報』にまとめられており、会誌の内容はインターネットでもご覧いただけます。



会報第12号はこちら

尾道文学談話会

2022年度・尾道文学談話会(全6回)

- 第1回 昔話「猿の生き肝」を仏教典籍で読む
藤井 佐美(日本文学科教授)
- 第2回 『伊勢物語』の世界
宮谷 聰美(日本文学科教授)
- 第3回 小津安二郎『東京物語』を見る=読む
柴 市郎(日本文学科教授)
- 第4回 SFアニメとジャンダー
小畠 拓也(日本文学科准教授)
- 第5回 文体まぜこぜの効果を探る
塚本 真紀(日本文学科教授)
- 第6回 青木茂文庫と尾道文芸誌
林 良司(尾道市市史編さん委員会事務局)
肥田 伊織(尾道市市史編さん委員会事務局)

2021年度卒業論文・卒業制作

確かな造形力
表現を磨く。

表現する意欲
感覚を開放する。

メディアの有効利用
美しく伝達する。

芸術文化学部 美術学科



Art & Design





芸術文化学部長
中村 謙

本学が開学し美術学科ができて21年が経ちます。スタートから時代の流れと共にカリキュラムや授業も多少変化しその時に相応しい態勢を整えてきました。たくさんの卒業生がそれぞれの分野で活躍し、時には在学生のあこがれやお手本となっています。それは歴史ある大学になりつつあるということだと思います。

はたして美術の大学で学ぶこととは何か。基礎的な造形力をつけて絵画表現を突き詰めたい。自己の表現方法を探りたい。デザイナーとしてパソコンのスキルアップをして就職に備えたい。美術の教員や学芸員になりたい等々人によって具体的な内容は様々です。しかし大きく捉えれば、各々の制作や勉強を通して美術に関する考えを深めたり、学生同志が集い刺激し合いながら交流を持つ。そしていろいろな価値観や手法を知って理解する。本来その様な環境で過ごす経験そのものが重要ではないでしょうか。そしてその経験は後の活動や生活に大きな影響を与える様に感じます。

社会に出ると美術に関わることもなかなか困難になります。学生時代にはモノづくりの喜びと同時に苦しさもたくさん体験して、卒業後もなるべく継続して美術に携わっていける総合的な力を養って欲しいと考えます。そして未知の自分の可能性を信じて、たくましく社会に出て行ける人材になってもらえたと願っています。



学科紹介動画はこちら



選択コース(日本画コース・油画コース・デザインコース)

1年次

デッサン基礎実習・彫刻実習・構成実習（平面・立体）
総合基礎実習（日本画・油画・デザイン）

1年次後期にコース選択
2年次にコース確定

2年次

風景制作
人体デッサン
静物制作
人物制作
動物制作

風景ドローイング
オムニバス授業
各教員担当授業
自由制作
進級制作展

6つの研究室から選択
(各領域から課題を出題)

グラフィックデザイン	アドバタイジング	イラストレーション	映像デザイン	造形デザイン	クラフトデザイン
------------	----------	-----------	--------	--------	----------

3年次

風景制作
人体デッサン

オムニバス授業
各教員担当授業
自由制作

研究室課題

古美術研究演習

進級制作

地域プレゼンテーション
(展示発表会)

4年次

自由制作
人体デッサン
人物制作
卒業制作

自由制作

自由制作

大学院

専門領域の制作および研究

(より専門的な制作や研究を行う機関として大学院が設置されています)

アドミッション・ポリシー

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に造形活動に携わり地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

学生諸君の美に寄せる豊かな個性を尊重しつつ、専門的知識・技術・芸術文化の理解、幅広い視野を身に付けさせ、専門的な実技教育を行うとともに学生相互の切磋琢磨の機会を設けることで、本学科の教育目標である、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目標に基づき、高校までの学修を通して培った理解力、思考力と美術の基礎的な表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・美術への広い視野を常に持ち、自らの能力を高めていこうとする強い意欲のある人
- ・自らの信念を持ち、将来にわたってそれを持続していける人
- ・自己の可能性を信じ、その具現化に対しての努力を惜しまない人

専攻を選択できるコース制

1年次は、基礎実技を重視して基本的な造形能力を養います。全員が共通課題として、デッサン基礎実習、彫刻実習と3つのコース課題（構成実習／日本画・油画・デザイン）を体験します。その後、各自志望コースの課題（総合基礎実習／日本画・油画・デザイン）を選択し、自己の資質と方向性を吟味します。2年次からは3つのコース（日本画・油画・デザイン）に分かれ、1年次で学んだ基礎力を踏まえて、それぞれの分野の知識や技術の修得に力を注ぎます。

美術学科では、美術における専門家として持続的な造形活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材の輩出を目標としています。このことを踏まえ、所定卒業単位の取得と卒業制作に加え、以下の能力を身につけた学生に対し、学位を授与します。

- ・専門分野の基礎的な知識や技術を習得し、自己表現の可能性を積極的に探求できる力
- ・創作活動を継続的に行う能力や意欲
- ・美術を学んだことにより身につけた視点やコミュニケーション能力を、社会や自己における新たな問題発見や解決につなげていける展開力や応用力

尾道から外部へと発信

美術学科では、尾道という「場」で制作活動を行うことの可能性を最大限に活かすことを模索しています。

大学のある久山田水源地近くの静謐な環境は、個に集中し制作に打ち込むのに適しています。

また、大学近隣の豊かな自然や尾道の街並みは、多くのインスピレーションを与えてくれることでしょう。実際に、その豊かな自然環境や風景を活かした制作や、尾道の街中を実践の場とする展覧会、イベント参加等の活動、産学連携のプロジェクトや市民団体とのコラボレーション等も活発化してきています。

今後、これらの活動が一層充実し、ここでなければ創れない独自の価値を外部に発信していくことを目標としています。

充実した制作環境

美術学科には、日本画、油画、デザインそれぞれの領域の制作に適したアトリエがあります。学生たちは潤沢なスペースでじっくりと専門の制作に取り組むことができます。

それ以外に、大人数での実習に適した大空間を持つ石膏室や、各種工房施設があります(CG、写真、彫刻、金工、木工、塗装、陶芸、版画)。各工房ではそれぞれの素材についての専門的な技術を学ぶことができます。また、学生個々の自主制作でコースの垣根を越えて工房施設を活用することができます。



施設の様子を
Google ストリートビューでご覧になれます



CG実習室

iMac 40台を常設した実習室です。レーザープリンター、大判プリンター、3Dプリンター、製本機、レーザーカッターなどを設置。グラフィックデザインを制作したり、映像編集することに特化した充実した設備です。



写真スタジオ

4Kビデオカメラやデジタル一眼カメラ、照明設備などが揃った撮影スタジオ。デジタルに対応した機材を導入し、撮影技術を学びます。制作した作品を撮影することもできるなど、多様な利用が可能な工房です。



影刻実習室

2つの教室と屋根付きテラスに加え、広々とした屋外制作スペースがあります。屋内では彫塑や造形制作を、屋外では石彫などをしています。自由素材の研究の場としての利用も可能です。



金工実習室

金工技法の彫金、鍛金、鋳金それぞれの制作を行なう設備が整っています。西日本の美術系大学では珍しいブロンズ、およびアルミニウム鋳造のための溶鉱炉を備えています。金属素材をベースとした造形制作に適した環境を備えた工房環境です。



木工実習室

大型木材加工用の機材が揃っている機械室と、作業スペースで構成されています。器、家具、オブジェ、絵画のためのパネルや額作りなど、木質素材をベースとした多目的な利用が可能です。



塗装実習室

各種スプレー塗装に対応した大型水洗ブース、乾燥炉はもとより、漆塗りのための塗部屋、漆室を新たに備え、塗装環境をさらに充実させています。



陶芸実習室

陶芸用電気釜2基、電動ろくろ10台を備えており、器からオブジェまで、幅広い制作が可能になっています。



版画実習室

銅版画、木版画、リトグラフ、シルクスクリーンの4版種すべてに対応可能な充実した工房です。特に大型銅版画用プレス機は、西日本の美術系大学でも最大級の機材を設置しています。

日本画コースは、基本的な専門技術を習得させ、現代の表現として展開し、個性豊かに創造し得る力を育てることを目指しています。在学中は最も多感な時期であると考えます。これから長い作家活動をしていく上で大切な一助となるべき教育を行います。

日本画実習I（2年次）

植物、静物、動物、風景、人物等を対象として幅広く課題を設定し、日本画材料の特性を学び、個性を活かしながら表現力を育成します。自らの絵画観をもとに自由な発想で画面に向かう意識を育てます。また箔や裏打ち技法の特別講習を行い、表現の可能性を学びます。

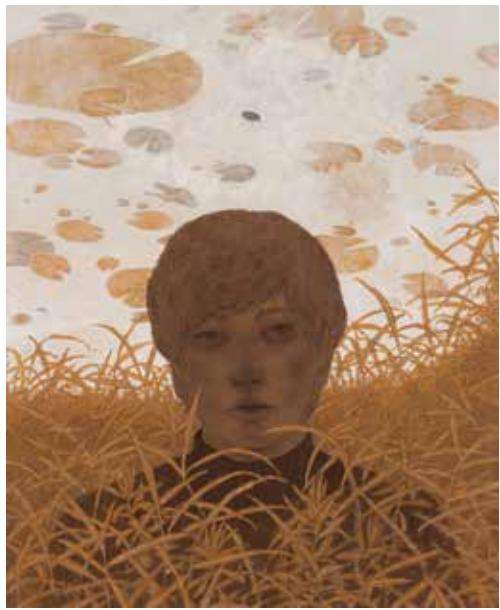
日本画実習II（3年次）

個々の自由なテーマでの制作に取り組み、個性的な表現世界の発展を目指します。古典作品の模写を課して、色彩や空間に対する認識を一層深めます。また古美術研究演習では、事前学習を踏まえ京都・奈良を訪れます。

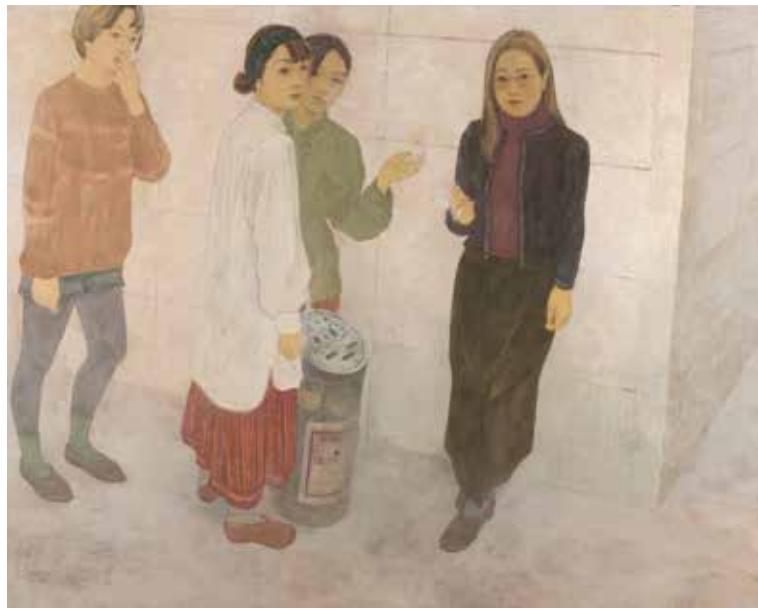
日本画実習III（4年次）

今まで培った表現を前提に自由なテーマをより主観的に咀嚼し、研究制作を続け、より高度な創造表現を目指します。また直接作品に触れることを目的として美術館などを訪れ、美の本質に根ざした表現を模索させ感性を育てます。4年間の研究成果として卒業制作展を地域社会に向けて発表します。





小方樹 4年次自画像制作 麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



遠井琴音 〈盗めなかったかたち〉 大学院2年次修了制作 麻紙、岩絵具、膠 181.8×227.3cm



朝平敬香
3年次テーマ制作(連作)
麻紙、岩絵具、膠
33.3×22.0cm, 33.3×24.2cm



翔平詩乃 2年次風景制作
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



福本このみ
3年次テーマ制作(連作)
麻紙、岩絵具、膠
各33.3×24.2cm



片井優美子 〈えとのわ〉 4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠 181.8×227.3cm



藤本瀧 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



武田乃梨子 2年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



平田桃子 2年次動物制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



朝平敬香 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



新居田友音 4年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 130.3×162cm



松下由佳 1年次剥製静物制作
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



楠玲奈 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



鬼山真菜 3年次古美術制作
麻紙、岩絵具、膠 53×45.5cm



加藤理香 2年次絹本制作
絵絹、岩絵具、膠 65.2×53cm



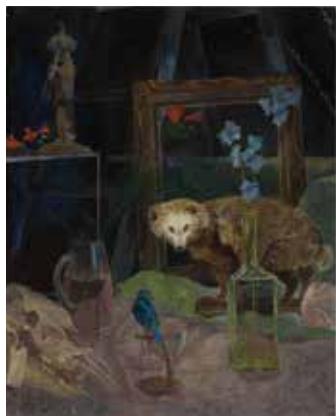
市川彩夏 2年次絹本制作
絵絹、岩絵具、膠 65.2×53cm



水浦彩月 3年次動物制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



西村美優 2年次風景制作
麻紙、岩絵具、膠 72.7×91cm



功刀天音 2年次静物制作
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



山口咲笑 2年次静物制作
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



黒川菜々子 3年次動物制作
麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



大学院美術研究科日本画専攻2年

近藤 拓海

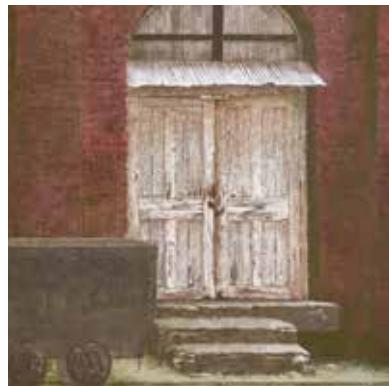
街のはずれや路地裏を歩いている際、ふと朽ちかけた古い建物を見かけて心を奪われた経験はあるでしょうか。私はそんな、人間のためにその使命を全うし、今ではその用を為さなくなってしまった建物をモチーフとして風景を描いています。

人間にとって今は不要となった建物でも、その場に残されている道具や表面の傷みの数々は、かつてその場に人間の営みがあった証であり、モノとして長い時間を耐え忍んできた証でもあります。そんな景色を見ていると、知らないはずのかつての営みが色づいて脳裏に思い起こされるようです。時には、痕跡で物語る建物を、まるで人間のように感じることもあります。

私は、故郷や尾道の歴史ある街並みに触れて生きていくうちに、そんな建物に惹かれ、描くようになりました。いずれは完全に朽ちて消えてしまうであろうこの景色を、私の想いも乗せて情景として絵の中に残すため、日々表現を追求しています。

〈暦〉
2022年制作
100×100cm
(第77回春の院展 初入選)

私の故郷にある炭鉱の遺産を描いたものです。木材やレンガの凹凸には、時の積み重ねが生きしく刻まれており、なにか強い力を放っているようでした。



〈集会所跡〉
2021年制作
112×145.5cm
前期自由制作

この玄関屋根が傾いている様子と、そこに寄り添う植物の様子はまるで人間のようでした。最高の時に寄り添う二人の暖かいひと時です。



〈白の扉〉 2021年制作
116.7×91cm 後期自由制作

長い間雨風を耐え、扉としての役割を果たし続けてきたであろう扉ですが、今では誰にも開かれることなく朽ちています。しかしこの扉は、モノとしての役割を果たしてきたその証拠を誇らしげに掲げていました。



油画コースでは、自分らしさを引き受け展開していく力、自分の可能性を信じる力を身に付けることを目標としています。そのため、絵画表現を通して、自身の興味・関心をより深く模索し、課題を立て、主体的に取り組む姿勢を培っていきます。

油画実習Ⅰ（2年次）

個々の学生が自身の資質を発掘し、表現の可能性を見出す機会として、各担当教員の視座を反映した多彩な実習を行なっていきます。また、同級生や他学年、教員、ゲストスピーカーとの意見交換を通じ、自身の考えを自覚的に発展させていく場も作り出します。

油画実習Ⅱ（3年次）

3年次では自身の表現内容を模索すると同時に、個々の表現にふさわしい形式、描画材料も実験しながら、制作を行なっていきます。後期最後の進級制作ではその試みを大学美術館で展示します。また、古美術研究は作品鑑賞体験を自身の制作の糧とする機会になります。

油画実習Ⅲ・卒業制作（4年次）

4年次は潤沢なアトリエ空間で継続的に行い、それぞれのリアリティを存分に追求していく時間となります。その成果は卒業制作として尾道市立美術館で開催される卒業制作展で展示されます。





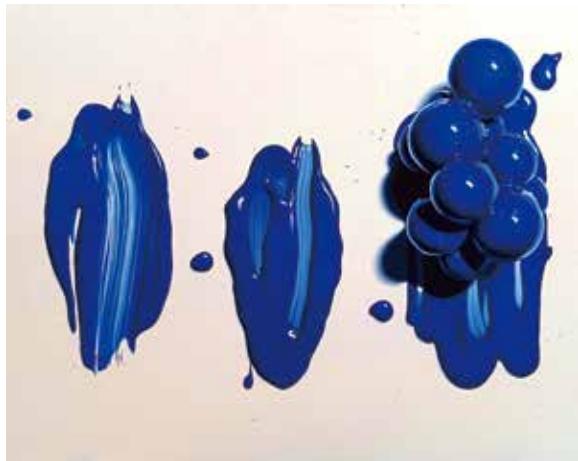
木原健志朗 〈 Ruins 〉
130.3×162cm キャンバス、油彩



木原健志朗 〈 Delusional Enemy 〉
53×45.5cm キャンバス、油彩



木原健志朗 〈 Portrait g 〉
91×72.7cm キャンバス、油彩



木原幸志朗 〈 Blue Body 〉
130.3×162cm キャンバス、油彩



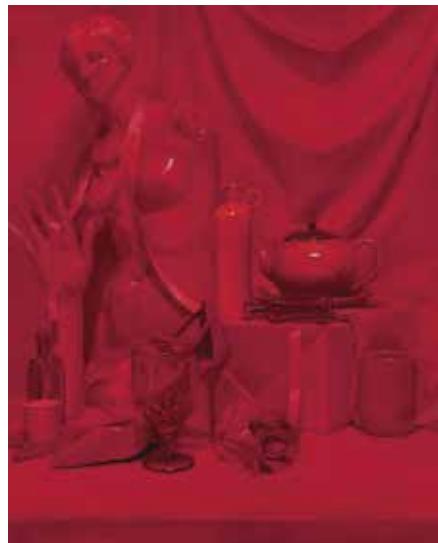
木原幸志朗 〈 Cloud 〉
91×72.7cm キャンバス、油彩



木原幸志朗 〈 Cell 〉
91×72.7cm キャンバス、油彩



伊吹由麻 〈壁IV〉
4年次卒業制作 不定形 パネル、壁紙 他



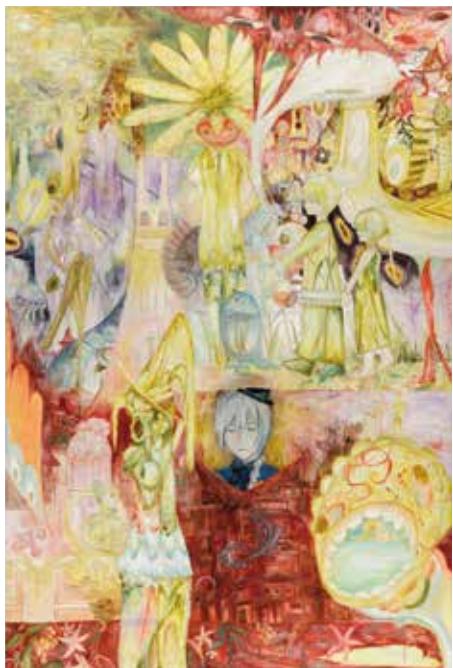
吉田彩夏 〈鎮〉
4年次卒業制作 91×72.7cm キャンバス、油彩



飯干太治 4年次卒業制作
〈心忘1(こころな いち)〉 53×53cm
〈渴望〉 91×72.7cm
〈キュクロオプス〉 194×130.3cm
キャンバス、油彩



谷山季代 〈落書き〉 4年次卒業制作 343×641cm ベニヤ板、スプレー、アクリル、iPad



笹田わかこ 〈無題〉 3年次進級制作 194cm×260.6cm キャンバス、油彩



中部安梨 2年次自画像制作
各65.2×53cm キャンバス、油彩



前田翼 〈your〉 4年次卒業制作
116.7×116.7cm キャンバス、油彩、アクリル



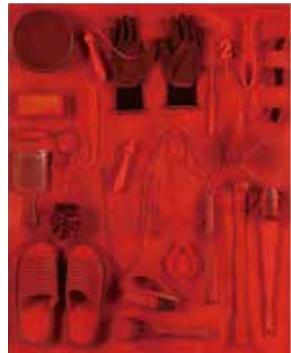
黒田貴子 〈カツ丼〉
3年次進級制作 映像2分51秒



村崎絢那 2年次自画像制作
65.2×53cm キャンバス、油彩



倉持綾子 〈夢遊〉 2年次観葉植物油彩
116.7×116.7cm キャンバス、油彩



山中ゆみ 1年次構成実習 各91×72.7cm コラージュ



遠山奈実子 1年次構成実習
91×72.7cm コラージュ



岩田千豊 1年次構成実習
91×72.7cm キャンバス、油彩



芳上舞 1年次構成実習
91×72.7cm キャンバス、油彩



田中悠翔 1年次構成実習
91×65.2cm キャンバス、油彩



北島瑞穂
1年次構成実習自画像
53×45.5cm キャンバス、油彩



谷萌乃香
1年次構成実習自画像
45.5×53cm キャンバス、油彩



上田俊
1年次デッサン(石膏像)
65×50cm キャンバス、油彩



岩田幸穂 1年次総合基礎実習
60.6×72.7cm キャンバス、油彩



美術学科4年
飯島 小雪

私は作品制作と同時に、制作の一環として作品発表の場となる展示を行っています。

大学1、2年生の時は何を描きたいのか、何を表現したいのか、様々な美術に触れる度に正解になる美術を模索してしまい、本当に何がやりたいのか見失っていました。

ですが、コロナ禍という閉鎖的な時期も転じて、真っすぐに自分と向き合う時間を取りることができました。その結果、自分の記憶と人の記憶との重なりを求めることが作品制作での実験テーマとなりました。

幼少期の楽しかった記憶、今でもコンプレックスとなる悲しい記憶などが今の私たちの見た目や内面すべてを作り上げています。といった記憶を私の作品を通じて、思い出すきっかけになればよいと考え、作品制作を行っています。そのため、他者に伝える場として展示を行うことまでが私の作品制作の一連の流れとなっています。

また、尾道は、自分のやりたいという気持ちを前面に出すことができる場です。一緒に悩んでくれる同級生も、学生の向上心をサポートする先生も、温かく受け入れてくれる地域の人もいます。といった整った環境のおかげで、私自身、興味の赴くまでのびのびとした活動が尾道を拠点として行うことができています。



〈陽炎〉
1940×1303mm
2021

この作品は、素材とメディアの相性の実験を行いました。

記憶を元にやっていき、モチーフとしても自分であること素材とのバランスを画面内で図ることの難しさを再認識させられました。



〈追想〉
910×727mm
2022



〈素朴実在論〉
910×727mm
2022

この作品は、私の記憶と家族の記憶のギャップを埋めるために制作しました。作品はどのくらい影響を与えるのか、より他者に向けた作品を制作するための足がかりとなる作品になりました。

デザインコースでは、各研究室の専門分野を明確に打ち出しており、その分野への興味を促し、それぞれの学生個人の興味やレベルにあった的確な指導を行います。また、研究室間の連携と領域を越えた指導を受けることが可能なカリキュラム編成となっています。これにより幅広い視野によるデザインの解決能力を培っていくことができます。

デザイン実習I（2年次）

2年次より6つの研究室に分かれてデザインを学びます。

- ・世永研究室：グラフィックデザイン、コミュニケーションデザイン全般の研究
- ・伊藤研究室：広告やパッケージデザインを軸としたグラフィック表現の実践的研究
- ・野崎研究室：イラストレーションのメディア展開を通してデザインと表現の関係を研究
- ・黒田研究室：モーショングラフィック、アニメーション、実写などの映像デザイン
- ・桜田研究室：各種素材を使った造形表現、空間造形表現などの研究
- ・林研究室：木工、漆芸（塗装）を主とした器、家具などクラフトデザインの研究

デザイン実習II（3年次）

地域とのコミュニケーションをとりながら制作し、地域に向けて学外展示と発表を行うプレゼンテーション課題や、各研究室から出題される課題に取り組みます。

デザイン実習III・卒業制作（4年次）

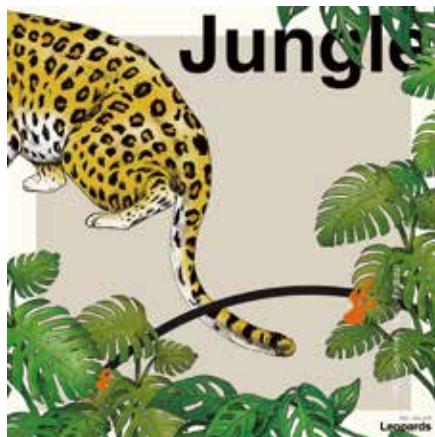
デザイン実習IIIではこれまでに培ったデザインの解決能力をもとにして、自身で自由なテーマを設定し制作を行います。卒業制作では4年間の集大成として、その成果を市立美術館にて発表します。



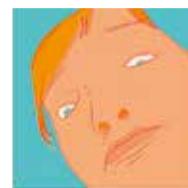
田中美帆 〈グリッドデザイン〉
2年次デザイン実習I



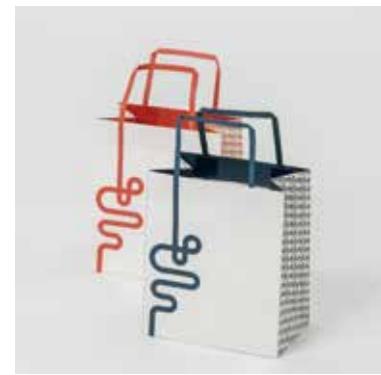
武井瑞希 〈 Jungle 〉
卒業制作 ポスター



樽本幸徳 〈 HOLIDAY「DOZE OFF」 〉
卒業制作 立体



横田結子 〈 脳内せかい旅行 〉
卒業制作 VR映像

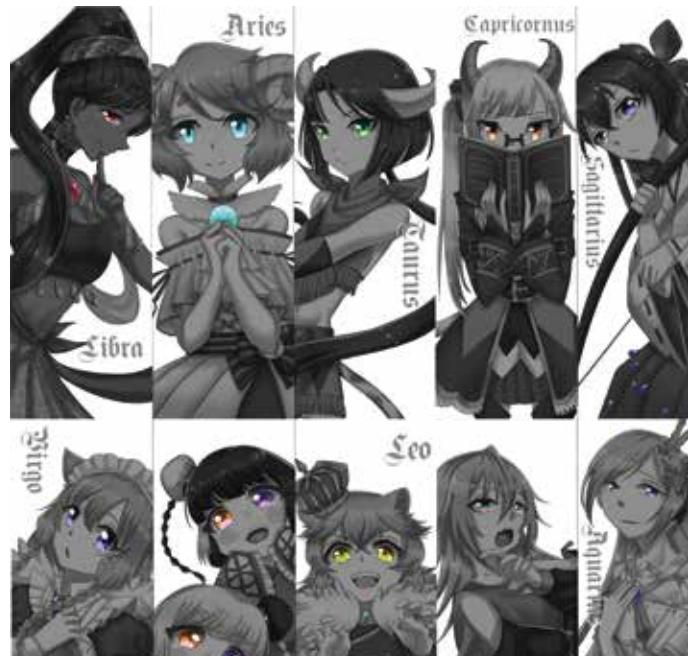


八木梨沙 〈 文字をテーマにした雑貨店「もん」 〉
卒業制作 ブランディングデザイン

寒川遙 〈 plain 〉
卒業制作 イラストレーション



大野晴 〈タルト専門店「空日和」〉 卒業制作 ブランディングデザイン



麻生桃香 〈星々の瞬き〉 卒業制作 キャラクターデザイン



大石朋代 〈虹のすべり台〉 卒業制作 絵本



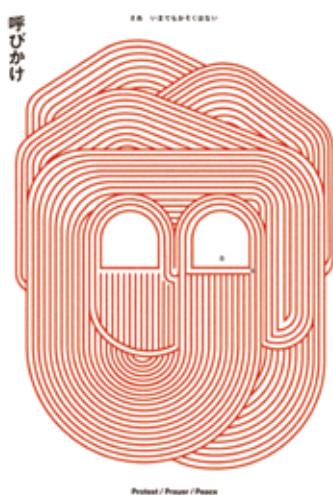
木下春菜、渡邊咲也香 〈つむぎの追憶〉 卒業制作 ゲーム制作



竹上千晶 〈COLLECT OITA〉
3年次地域プレゼンテーション課題



梅田和見 〈MICRO〉
3年次地域プレゼンテーション課題



宇原祐希 〈原爆詩集 graphics -呼びかけ-〉
3年次地域プレゼンテーション課題



高磯凜斗 〈ローカルヒーロー紹介パンフレット〉
3年次地域プレゼンテーション課題



川畠知音 〈その影に耳をすまして〉
3年次地域プレゼンテーション課題



今津七海 〈ロゴ立体化課題〉
3年次デザイン実習II



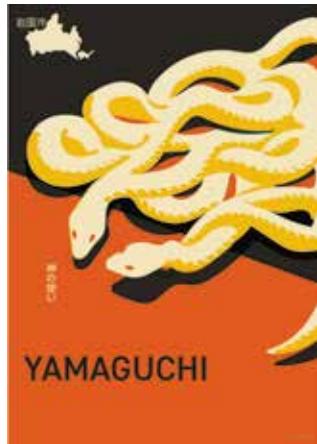
松尾綾美 〈鍛金・パッケージ課題〉
3年次デザイン実習II



宇原祐希、大崎日菜
〈ブックカバー課題〉 2年次デザイン実習I・II



小山里杏 〈パンとスプーン課題〉
2年次デザイン実習I



田中美帆 〈地域ポスター課題〉
2年次デザイン実習I



大崎日菜
〈キャラクターデザイン-立体-課題〉
2年次デザイン実習I



廣中怜 〈メニュー課題〉 2年次デザイン実習I



吉岡万由 〈パッケージ課題〉
2年次デザイン実習I



山際菜月 〈ロトスコープ課題〉
2年次デザイン実習I



佐野優菜 〈スツール課題〉
2年次デザイン実習I



美術学科 デザインコース4年

川村 郁乃

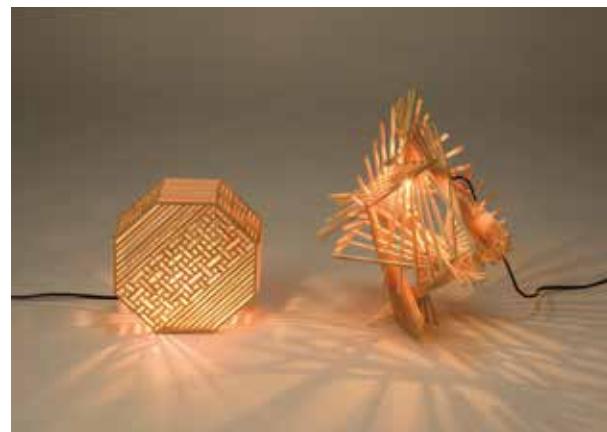
私は子供の頃からアニメーションに興味があり、ぜひ自分の手で映像作品を生み出してみたいという思いから、映像領域を選択しました。この領域では、写真やストップモーションアニメーション、実写映像の編集などの基礎的な撮影技術と編集技術について学びました。これらの学習を通して映像でどのような表現が可能なのか、考えを深めることができたと思います。

3年次には、地域プレゼンテーション課題に取り組みました。この課題は、尾道市または自分の出身地をテーマとした企画・制作を行うものです。私は尾道にある西郷寺というお寺にまつわる昔話をアレンジし、アニメーション化しました。制作前には、実際に現地に赴き、住職にお会いして、色々なお話を伺いました。現地に足を運ぶことで、お寺の雰囲気を肌で感じることができ、制作の意欲も高まりました。歴史ある尾道という街に愛着を感じ、今まで知らなかったこの土地や人の新たな一面を垣間見ることができたと思います。ただ、本格的にアニメ制作を始めてみると、思っていた以上に大変でした。1コマ1コマ、絵を描く作業をひたすら続けました。自分の思った動きにたどり着くまで、何度も失敗を繰り返し、ようやくある程度自分の描いたい映像ができたときの達成感は忘れられません。この課題では、指定された枠に捉われず、より自由な発想で制作の幅を広げることができました。

3年間の実習を通して、様々な手法を学びました。これまで関心を持たなかった手法でも、実際に制作する中で、楽しさを実感したり、新たに興味が湧いてきたりして、自分の視野や制作の可能性を広げることができたと思います。今年は4年間の集大成として卒業制作があります。満足のいく作品が作れるよう試行錯誤しながら全力で取り組んでいきたいと思います。



〈西郷寺の鳴龍天井〉3年次地域課題

山田夏海（左上）
〈シルエット課題〉 1年次構成実習松崎菜月（右上）
〈ロゴ課題〉 1年次構成実習楠朋果（左下）
〈ハンガー課題〉 1年次構成実習

藤田遥奈、松崎菜月 〈ランプシェード課題〉 1年次構成実習

美術学科教員はキャンパス内で創作・研究を行っています。

教員の研究室は美術学科棟の学生アトリエスペースの、廊下をはさんだ向かい側にあり、学生は多彩な専門領域で活動している教員の創作・研究現場を日常的に訪れるすることができます。

また、コース制をとっていることから、多くの創作・研究が共存していますが、各専門領域の垣根が低く、異なる領域の学生・教員間の対話が頻繁に行われているところも本学の美術学科の大きな特徴と言えるでしょう。



教授(日本画コース)

吉原 慎介

1955年 福岡県生まれ
 1980年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1982年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 [画歴]
 1981年 第36回「春の院展」初入選
 1983年 再興第68回「院展」初入選
 1985年 個展(小林画廊)
 1994年 第46回「春の院展」奨励賞
 　　東京セントラル美術館'97日本画賞佳作賞
 　　法務省更生保護誌表紙絵担当(～1995年)
 1999年 個展(西武アートフォーラム)
 2000年 個展(赤堀画廊)
 2007年 第62回「春の院展」奨励賞
 2010年 第65回「春の院展」外務大臣賞・奨励賞
 2011年 再興第96回「院展」奨励賞
 2018年 再興第103回「院展」奨励賞
 現在 日本美術院特待



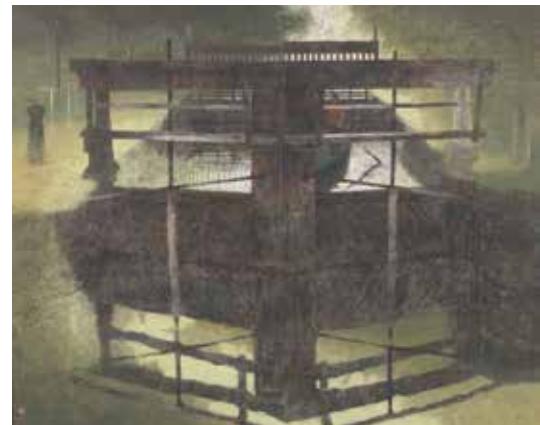
〈たそかれ〉 紙本彩色 170×215cm 2021



教授(日本画コース)

中村 譲

- 1964年 香川県高松市生まれ
 1989年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1991年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程
 絵画日本画専攻単位取得退学
 1994年 東京藝術大学日本画科非常勤講師(～2001年)
 [公募展]
 1994年 再興第79回「院展」初入選／東京都美術館
 1995年 第50回「春の院展」初入選／日本橋三越本店
 2001年 第56回「春の院展」奨励賞(以後2007.08受賞)
 2003年 再興第88回「院展」奨励賞(以後2004受賞)
 2006年 再興第91回「院展」日本美術院賞(大観賞)
 (以後2008年受賞、同足立美術館賞)
 2013年 第68回「春の院展」春の足立美術館賞
 [個展、グループ展]
 1994年 「有芽の会」展 法務大臣賞／有楽町西武
 2001年 「更生保護」(法務省保護局月刊誌)
 担当月表紙絵個展／ナカジマアート／銀座
 2010年 中村譲日本画展「風の記憶」吳そごう
 2011年 中村譲日本画展「内海譲」福山天満屋
 2017年 香川県文化芸術選奨表彰
 2019年 中村譲日本画展「瀬戸の光」福山天満屋
 現在 日本美術院同人、香川県文化芸術振興審議委員



〈パンペルクの朝〉 紙本彩色 170×215cm 2021



准教授(日本画コース)

鈴木 恵麻

- 1997年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1999年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 [画歴]
 1999年 第54回「春の院展」初入選
 2001年 「有芽の会」全国更生保護婦人連盟会長賞
 2002年 「有芽の会」法務大臣賞
 再興第87回「院展」初入選
 2004年 第59回「春の院展」奨励賞
 (以後2016、2018、2020、2021受賞)
 2007年 再興第92回「院展」奨励賞
 (以後2009、2019、2020、2021受賞)
 2009年 再興第94回「院展」 天心記念茨城賞
 2018年 第73回「春の院展」春季展賞
 日本美術院奨学金
 [個展、グループ展]
 2004年 個展「レスポワール展」/銀座スルガ台画廊
 2009年 個展 EMA作品展—鈴木恵麻作品展—/そごう横浜(2011年)
 2013年 個展「更生保護」(法務省保護局月刊誌)担当月表紙絵個展／
 ナカジマアート
 2014年 「華麗なる美の競演 現代女流画家展」/成川美術館
 2021年 個展「鈴木恵麻展」/尾道市立大学美術館
 2022年 箱根芦ノ湖成川美術館コレクション展
 現在 日本美術院 特待



〈光陰〉 紙本彩色 211.4×166.5cm 2021



教授(油画コース)

小野 環

- 1973年 北海道函館市生まれ
 1996年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
 1998年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻修了
 1999年 東京藝術大学油画科非常勤講師(～2001年)
 現在 AIR Onomichi 代表、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事
 [個展]
 2000年 「キツネ作戦」／フタバ画廊／東京
 2002年 「小野環展」／appel／東京
 2005年 「gardens」／ギャラリーそわか／京都
 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」／ふくやま美術館／福山
 2010年 「足下の辺境」／尾道市立大学美術館／尾道
 2013年 「ユートピアの迷子石」／Utopiana／ジュネーブ※
 2021年 「Re-edit 再編」／光明寺會館／尾道
 [グループ展]
 2003年 ヒロシマアートドキュメント 2003(2008年※)／旧日本銀行広島支店／広島
 2004年 VOCA 展／上野の森美術館／東京
 2007年 AIR Onomichi／尾道山手地区／尾道※(2011年※)
 2008年 tina.b ブラハ国際現代芸術祭 2008／ブラハ市※
 2012年 UTOPIA～何処にもない場所～／百島／尾道※(2013,14年)
 2018年 「複数形の世界のはじまりに」／東京都美術館／東京
 2019年 ONLY CONNECT OSAKA／クリエイティブセンター大阪／大阪
 2021年 第24回岡本太郎現代美術賞展 特別賞／川崎市岡本太郎美術館／川崎
 (※作家三上清仁とのユニット)



〈再編街〉百科事典、美術全集、構造用合板ほか 2021



准教授(油画コース)

稻川 豊

- 1974年 東京生まれ
 1997年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
 2004年 CHELSEA COLLEGE OF ART AND DESIGN,
 ロンドン, MA FINE ART 修了
 2007-09年 文化庁新進芸術家海外留学制度2年派遣／ロンドン／イギリス
 [個展]
 2005年 "HYBRID"／Gallery Zandari／ソウル・韓国
 "YUTAKA INAGAWA EXHIBITION"／Galerie Suty／フランス
 2007年 "Yutaka Inagawa Solo show"／New Art Center／ニューヨーク
 2008年 "Nonplace overlay"／Bodhi Gallery／ロンドン
 2009年 "Sensory Cocktails"／Gallery Zandari／ソウル・韓国
 "Crazytokyo"／Galerie Suty, Coye-la-Forêt／フランス
 2014～15年 "The invasion of Cyberspace"／Unit 24 Gallery／ロンドン
 2015年 OTAK JEPUN | Yutaka Inagawa | Lorong Kekabu／クアラルンプール
 [グループ展]
 2007年 "Trajectories"／The Agency／ロンドン
 2007年 "The 8th SHINSAIMDANG Art Festival"／Gangueng Museum／韓国
 2008年 "Cosmopolis"／Pipy Houldsworth Gallery／ロンドン
 2017年 Floating Urban Slime／Sublime／アートギャラリーミヤウチ／広島
 2018年 I Say Yesterday, You Hear Tomorrow. Visions from Japan／Gallerie delle Prigioni／トレヴィーゾ／イタリア
 2019年 ONLY CONNECT OSAKA／クリエイティブセンター大阪／大阪
 2019年 Another Pair of Eyes(企画・出品)／Duddell's／香港

オンライン・デジタル・コラボレーション〈 Say to Day 〉(2020)で
使用した断片的映像のスタイル



准教授(油画コース)

橋野 仁史

- 1982年 熊本県生まれ
 2005年 尾道市立大学大学芸術文化学部美術学科卒業
 2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了
 尾道市立大学芸術文化学部美術学科助手(～2017年)
 2017年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科助教(～2018年)
 [主な展覧会]
 2007年 第81回国展／以後毎年
 2008年 第82回国展 絵画部奨励賞
 尾道からの「3人展」／アートガーデン／岡山
 2009年 国展 受賞作家展／井上画廊／東京
 2013年 「Gg展」／ふくやま美術館／福山／以後毎年
 2014年 第88回国展 会友賞、準会員推挙
 国展 受賞作家展／銀座アートホール／東京
 KKT／ギャラリー向日葵／東京／以後毎年
 2017年 「橋野仁史絵画展-Fog-」福山天満屋／福山／19年、21年
 2018年 「Gg2展」福山天満屋／福山／以後毎年
 2019年 「再考 人間と自然」広島県立美術館／広島
 2021年 中曾智子・橋野仁史2人展－風薫る－／GALLERY森・hako／福山



〈 Schliere 〉 油彩、キャンバス 194×162cm 2021



講師(油画コース)

西村 有未

- 1989年東京都生まれ
 2014年 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻 卒業
 2016年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画) 修了
 2019年 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程美術専攻研究領域油画修了・博士(美術)学位取得
 [個展]
 2012年 「毛わらと油」美術出版社ビューディングスペース(東京)
 2013年 「TWS-Emerging2013: 例えば祖父まで、もしくは私まで。こんなり出現」TWS本郷(東京)
 2020年 「图形的登場人物(雪娘)と望春の花」FINCH ARTS(京都)
 2022年 「图形的登場人物と雪娘 シーズン2」FINCH ARTS(京都)
 [グループ展]
 2010年 「現役美大生の現代美術展-Produced by X氏」Kaikai Kiki gallery, Hidari Zingaro(東京)
 2012年 「トーキョーワンダーオール2012」東京都現代美術館(東京)
 2016年 「第3回 CAF賞入選作品展」3331 Arts Chiyoda(東京)
 2021年 「絵画の見かた reprise」JK Contemporary(東京)
 2021年 「Encounters in Parallel」ANB Tokyo(東京)
 2021年 「猫とマチエール」MtK Contemporary Art(京都)
 [コレクション]
 山梨学院大学、高橋龍太郎コレクション
 [ワークショップ]
 2019年 練馬区立美術館
 [賞ほか]
 三菱商事アートゲートプログラム2013 奨学生、第3回CAF賞保坂健二朗賞



〈 焚火の骨組み 〉 パネルに油絵具 100×100cm 2021



教授(デザインコース)

野崎 真澄

1958年 東京生まれ
 1979年 多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻入学
 1983年 Japan Graphic Center 勤務(デザイナー)
 1985年 B/Half Japan 勤務(アートディレクター)
 1989年 CHIPS CLUB設立
 [活動・受賞歴]
 1990年 J.A.I New York Exhibition at Art54 グループ展
 1991年 第5回 From A The Art展／奨励賞
 1991年～1998年 青山Pinpoint Gallery個展(4回)
 1992年 第1回 リビングアート・コンペティション／入選
 1997年 第48回全国カレンダー展／日本印刷産業連合会会長賞
 2004年 コースター絵画展／ホテル・キャメロット・ジャパン賞
 2009年 原宿HB Gallery「TOYS」個展
 2011年 第65回読書週間ポスターイラスト公募展／入選
 2011年 明治神宮前Gallery ni Modo「FISH & CHIPS」個展
 2012年／2013年 第1回、第2回 東京絵画賞展／入選
 2013年 尾道市立大学美術館 野崎真澄×石川康彦 二人展
 2014年 竹尾見本舗本店展示スペース「製本のチカラ」グループ展
 2016年 竹尾見本舗本店展示スペース「本迷宮」グループ展
 2019年 尾道市立大学美術館「感覚のかたち」デザイン教員展
 2022年 尾道市立大学美術館「はじまりのかたち-素描-」展



〈Magical Mushroom Band／Spring Drum〉
 H329 W130 D105mm／木材にアクリル絵の具、金属、他



教授(デザインコース)

世永 逸彦

1959年 東京都生まれ
 1984年 多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業
 1984年 高原宏デザイン事務所入社
 1991年 世永デザイン事務所主宰
 2014年 尾道市立大学 芸術文化学部美術学科教授就任
 [デザイン活動歴]
 1985～1988年 雑誌「流行通信」D. (高原宏デザイン事務所勤務)
 1991～1994年 〈新日本フィル交響楽団〉公演印刷物 A.D.&D.
 2001～2004年 〈Fountains〉JALホテルPR誌 日本航空 表紙&誌面 A.D.&D.
 2008～2010年 〈HIBIYA Style〉帝国ホテルプラザPR誌 帝国ホテル 表紙&誌面 A.D.&D.
 2008～2013年 〈てんとう虫〉UCカードPR誌 クレディセゾン 表紙&誌面 A.D.&D.
 2011～2014年 〈Mart〉女性誌 光文社 表紙&誌面 A.D.&D.
 1998～2016年 〈SAYA & Works〉婦人靴広告・販売促進ツール C.D.&D. 他多数
 2016～現在 ブックデザイン、ポスターを中心に、デザイン活動、企画展など。
 [展覧会歴]
 2014年 『製本ノチカラ』展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本舗2階、グループ展
 2014年 『ツナガルケシキ』グループ展 今治市大三島美術館
 2016年 『本迷宮』本を巡る不思議な物語展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本舗2階、グループ展
 2019年 『国立嘉義大学×尾道市立大学 交流展』グループ展 Chiayi Cultural Bureau / 台湾・嘉義
 2019年 『装丁万華鏡』展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本舗2階、グループ展
 2019年 『感覚のかたち』展 グループ展 会場：MOU尾道市立大学美術館



The image of countdown of watch

〈The image of countdown of watch〉
 局紙、インクジェット H103 × W72.8cm

2017



教授(デザインコース)

桜田 知文

1960年 広島県広島市生まれ
 1984年 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
 1986年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程鑄金専攻修了
 [制作歴、受賞歴]
 1987年 第3回現代九州彫刻展 入選(石橋美術館)
 1991年 広島パークビル前に野外彫刻設置
 1992年 第30回日本現代工芸美術中国会展 広島市長賞受賞
 1993年 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ 作品販売('97年も販売)
 1995年 第34回日本現代工芸美術展 現代工芸大賞受賞
 1997年 さかいでArtグランプリ'97 秀作賞受賞(坂出市民美術館)
 1998年 第1回佐野ルネサンス鑄金展 入選(第2回も入選)
 2000年 第40回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員40回記念賞受賞
 2004年 第43回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞受賞
 2005年 尾道市小中学校芸術祭 グランプリトロフィー制作
 2009年 八千代の丘美術館 第8期入館
 2010年 東尾道彫刻公園に野外彫刻設置
 2012年 第44回日展 特選受賞
 2015年 ひろしま3都、道めぐり「まちかどアートワークス」委嘱出品
 2016年 東広島市立美術館 作品収蔵
 2020年 桜田知文作品展 -こころのままに-(美術館あーとあい・きさ)
 現在 日展会友、現代工芸美術家協会評議員



くいのちのつながり アルミニウム、真鍮
 H39×W79×D14cm 2021



准教授(デザインコース)

林 宏

1967年 大阪生まれ
 1994年 東京藝術大学美術学部工芸科 卒業
 1996年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程漆芸専攻 修了
 2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 准教授
 [活動歴]
 2005年 日本文化財漆協会 常任理事
 2011年 ナチュラルマテリアルプロジェクト 循環型自然素材の開発及び研究
 2013年 漆芸を支える道具の調査研究
 作品収蔵 東京藝術大学 フィラデルフィア美術館
 [展覧会歴]
 2012年 東京藝術大学創立125周年記念事業「漆芸 軌跡と未来」
 招待出品(東京藝術大学)
 ナチュラルマテリアルプロジェクト(六本木ル・ペイン)
 器奏天回茶展(おおかし銘茶 築地新店)
 日本のいろ展2012(松岡山東慶寺 白蓮舎)
 個展 林宏 漆の器展(栃木 アルゴノート)
 japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ)
 2014年 壱木呂の会展(新宿 伊勢丹)
 漆芸二人展(瑞玉ギャラリー 東京)
 2015年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)
 日本のいろ展(松岡山東慶寺ギャラリー)
 2016年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)
 2017年 壱木呂の会展(松岡山東慶寺ギャラリー)
 2018年 陶と漆の器展(代官山 無垢里)
 2019年 感覚のかたち展(MOU尾道市立大学美術館)
 陶と漆の器展(日本橋三越)
 2022年 はじまりのかたち展(MOU尾道市立大学美術館)



錫彩飾棚 16.5×17.5×21.0cm 2019

Hayashi hiroshi urushi design
<https://hayashihiroshi.net>

尾道市立大学 デザインコース クラフトデザイン
<https://onomichi-craftdesign.myportfolio.com>



講師（デザインコース）

伊藤 麻子

- 2005年 愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン工芸科 卒業
 株式会社GK グラフィックス勤務（～2008）
- 2011年 東邦高等学校 美術科 非常勤講師（～2012）
- 2012年 大垣女子短期大学 デザイン美術学科 講師（～2017）
- 〔活動歴〕
- 2005年～2008年
 （デザイン制作会社勤務中の実務）
 果汁飲料 PETボトル パッケージデザイン
 缶コーヒー パッケージデザイン
 紅茶ギフト パッケージデザイン
 化粧品 パッケージデザイン
 文具パッケージデザイン 他
- 2009年～
 「skin sweets」パッケージデザイン
 展示会「二人ノ図鑑展」（2014, 表参道）
 展示会「感觉のかたち」（2019, デザイン教員展）
 緑茶商品パッケージデザイン他
 グラフィックデザイナーとしてデザイン業務に携わりつつ、
 真鍮による立体造形表現も思索している



〈kikku ton〉 グラフィックシリーズの展開 2019～



講師（デザインコース）

黒田 教裕

- 1987年 宮崎県生まれ
- 2011年 武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業
- 2014年 武蔵野美術大学大学院造形研究科
 デザイン専攻映像コース退学
- 2014～15年 武蔵野美術大学造形学部映像学科 非常勤講師
- 〔活動歴〕
- 2014年 「Media Ambition Tokyo 2014」
 六本木ヒルズ52F 東京シティービュー
- 2015年 「New Creators Competition 2015」
 静岡クリエイター支援センター CCC
- 2016年 「2016 CHANGWON ASIA ART FESTIVAL」 韓国・昌原市
- 2017年 UENO PLANET WEB MOVIE（映像編集）
- 2019年 「続々 三澤 邇」ギンザ・グラフィック・ギャラリー（映像編集）
 「松島オープンスタジオ」岡山県倉敷市 松島分校美術館
 （公開滞在制作）
 企画展「虫展－デザインのお手本－」：「視点の採集」
 21_21 DESIGN SIGHT（映像編集）
 「まにわ映像フェスティバル2019 勝山スクリーン・フィールド」
 岡山県真庭市
 「感觉のかたち」デザイン教員展 尾道市立大学美術館

〈Waves — Quartet〉
 中判白黒フィルム、デジタルスキャン 40×40cm
 2020



教授(日本美術史・博物館学)

市川 彰

1971年 愛知県生まれ

1995年 京都大学文学部美学美術史学専攻卒業

2001年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程(美学美術史学専攻)単位取得退学

2000～03年 萬野美術館学芸員

2004～07年 京都文化博物館総務課主事

2007～12年 京都文化博物館学芸課学芸員

[論文等]

1997年 絵描きの玉手箱 伊藤若冲の鶴

『茶道雑誌』第61巻第1号 河原書店

1999年 若冲画に示されたもの -「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって -

『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室

2007年 若冲画に示されたもの2 -《初期作品》「雪梅雄鷦鷯」をめぐって -

京都文化博物館紀要『朱雀』第19集

2014年 名所図会に記された京都の「名宝」(一)

尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第13号

[展覧会]

2008年 永樂即全『源氏物語五十四帖』と十七代永樂善五郎展

京都文化博物館企画展

2008年 『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界～浮世絵から源氏意匠まで～』展

京都文化博物館特別展



准教授(西洋美術史・美学)

西嶋 亜美

北海道旭川市出身

2006年 京都大学文学部人文学科卒業

2009年 京都大学大学院文学研究科修士課程修了・博士後期課程進学

2010～2012年 パリ・ソルボンヌ大学美術史考古学研究所招待研究員

2013年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学

京都大学博士(文学)

[研究歴]

専門はフランス近代美術史で、画家ドラクロワやオリエンタリズムについて研究しています。

・『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士學位論文、2016年

・“L’emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix”, Ecole de Printemps,

10e édition Art et Savoir, Paris, Centre Allemand de l’ Histoire de l’ Art, (2012/5/18)(第10回エコール・ド・プランタン「芸術と知」発表)

・「ドラクロワによる二点の『ジャウールとハッサンの闘い』—戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察—」

『日仏美術学会会報』(34)、2015年、3-23頁

・「ドラクロワの『日記』における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—』『藝術研究』(28) 2015年7月、31-45頁

・「ドラクロワの『モロッコ旅行記』試訳』『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-86頁

・「19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージ—クールベ作『田園の恋人』とワルツの図像」

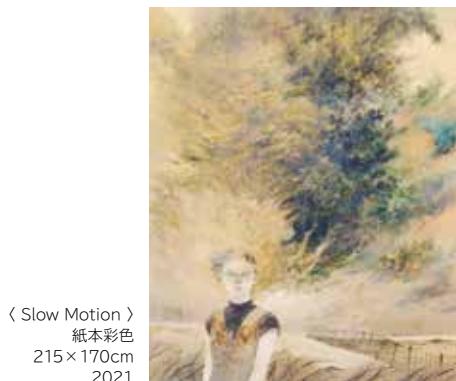
伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密図』京大出版会、刊行予定



助手(日本画コース)

池上 望月

- 1992年 三重県生まれ
 2016年 佐藤太清賞公募美術展 入選 [同'17入選]
 2017年 第72回春の院展 初入選 [同'18,'19,'20,'21入選]
 尾道市小林和作奨励賞 受賞
 第3回石本正日本画大賞展 奨励賞受賞
 2018年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(日本画コース)修了
 大学院修了制作 大学買い上げ
 再興第103回「院展」初入選 [同'20,'21入選]
 個展「新人選抜 レスピワール展 池上望月」(銀座スルガ台画廊/東京)
 「レスポワール ディケイド」(銀座スルガ台画廊/東京) ['20,'21'22]
 「山本冬彦選抜 全国若手作家交流展」(ちいさいおうち/京都、
 ギャラリー枝香庵/東京)
 「尾道市立大学日本画選抜展 一明日の会一」(福山天満屋) ['20,'21]
 「気更来会」(岡山天満屋) ['20,'21]
 再興第105回「院展」奨励賞
 2020年 現在 日本美術院 院友



助手(油画コース)

吉田 彩花

- 1993年 岡山県生まれ
 2014年 「シェル美術賞 2014」入選
 2017年 尾道市立大学大学院 美術研究科 油画コース 修了
 「平井林太郎・松岡奈緒美 吉田彩花 作品展」/勝央美術文学館/岡山
 国展絵画部企画展示「-若手作家の挑戦状-新しい眼」/国立新美術館
 「第91回 国展」入選 [同'18入選]
 2018年 「ゴールデンユートピア芸術祭」/「ゴールデンユートピアおおち」/島根
 個展「こくこく、」/画廊るたん/東京
 2019年 「OKUTSU芸術祭」/岡山
 2020年 「From Soup to Nuts」/尾道市立大学美術館/広島
 2021年 「SPONGE HOUSE」/おのみち歴史博物館/広島
 「たましいがくさいわけ」/安芸高田市立八千代の丘美術館/広島



助手(デザインコース)

小西 美幸

- 1997年 香川県生まれ
 2019年 大学卒業制作 作品買い上げ
 「アートフェスティバルヒロシマ 2019」ライブペイント
 2020年 令和元年度 小林和作奨励賞 受賞
 2020・ZERO展 0号展 入選
 「CROSS OVER Vol.25」(Yao Alternative Space/台湾・台中)
 広島銀行尾道支店にて作品展示/尾道市
 「Vigor 2021-GALLERY ART POINT 推薦作家美大選抜展」
 (GALLERY ART POINT/東京)
 2021年 奥野ビルギャラリーズアート展 入選
 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了
 尾道市役所にて作品展示/尾道市
 「しまなみ海道・秋の音楽休暇村2021」にて舞台背景の絵画制作/尾道市
 2021年~ 本の挿画制作
 楽器の絵付け



〈 Chaotic world 〉 イラストレーションボード、水性ペン
 29.7x42.0cm 2020

赤木 範陸	テンペラ画技法演習 横浜国立大学 教授	菅原 瑞子	図法及び製図(助手) 美術家	福井 一尊	金工演習 島根県立大学人間文化学部 准教授
秋山 隆	彫刻 木彫家	杉井 隼人	彫刻(助手) 美術家	福田 栄一	日本画実習I(裏打ち)、日本画研究BII 福田装錦堂代表取締役
石多未知行	デザイン総合演習(大学院) 一般財団法人 プロジェクション マッピング協会理事	坂梨 好香	版画制作演習(助手) 美術家	藤田 重信	編集とデザイン フォントワークス株式会社 フォントデザイナー
今井 良枝	美術解剖学 周南市美術博物館 学芸員	大悟法淳一	編集とデザイン 株式会社ごぼうデザイン事務所 代表	藤田 幸史	情報処理演習 尾道市立大学名誉教授
今氏 亮二	情報機能論 有限会社ホットタイプ工房 代表取締役	高垣 秀光	版画制作演習 版画家	筆塙 淳尚	版画制作演習 版画家
内田 涼	絵画総合演習 美術家	高橋早紀子	東洋美術史I、II 愛知大学 講師	松井 輝昭	古文書学 県立広島大学名誉教授
宇高健太郎	日本画材料技法演習(大学院) 文化財保存修復学会 会員 膠文化研究会 運営委員	滝沢 具幸	日本画研究A I、II、B I、II(大学院) 創画会会員、武蔵野美術大学名誉教授	松岡 剛	空間造形論 広島市現代美術館 学芸員
太田 啓介	デザイン学特講(大学院) (株)オリエンタルコンサルタント 技師	田代 昭夫	塗装法演習、実習技術指導員(塗装) 漆芸家	松本 寛治	木工演習、塗装法演習 家具作家、工房KANJI
加藤 芳夫	情報機能論 元サンクトー食品インターナショナル(株) シニアクリエイティブディレクター	田部 健次	金工演習、デザイン実習I(鍛金) 金工作家	松本 祐助	木工演習(助手)、実習技術指導員(木工) 家具作家
亀岡 知子	デザイン学特講(大学院) アルヒ株式会社 弁護士	玉木 明	情報機能論 日本郵便株式会社 切手デザイナー	真野 洋介	デザイン学特講(大学院) 東京工業大学大学院社会理工学研究科 准教授
神邊 篤史	人間工学概論 香川大学 博士研究員	月岡 裕二	日本画実習I(箔押し、砂子、切金技法) 東京藝術大学非常勤講師、作家	村上 由記	金工演習(助手) 造形作家
倉持 充希	芸術論特講II(大学院) 神戸学院大学人文学部 講師	手嶋 勇気	絵画総合演習 画家、広島市立大学非常勤講師	弥中 敏和	情報機能論 株式会社GKデザイン総研広島 代表取締役
小瀬村真美	絵画総合演習 美術家、東京藝術大学准教授	苦名 悠	芸術論特講I(大学院)、古美術研究演習 大阪大谷大学文学部 講師	矢原 徳子	書道
齋藤 拓海	日本文化史	中曾 智子	デザイン実習I(陶芸技法) 陶芸家	山崎 曜	デザイン実習I、 デザイン総合演習(大学院) 製本家
佐古 百美	情報機能論 絵本作家 イラストレーター	西川真理子	写真(映像)演習(助手) デザイナー	山田 祐子	文化財保存学概論
白木 彰	デザイン論 グラフィックデザイナー 愛知県立芸術大学名誉教授	野田 尚之	写真(映像)演習、情報機能論、 デザイン実習I シネマトグラファー	山本 基	空間造形論 美術家
菅原 智子	壁画技法演習 美術家	深谷 訓子	芸術文化論 京都市立芸術大学 准教授	渡邊 義孝	建築環境論、空間造形論、図法及び製図 一級建築士、風組・渡邊設計室主宰

美術学科では、卒業制作展を開催しています。

学部4年間、大学院2年間の集大成となる展覧会です。

学生時代の集大成としての卒業制作はとても重要なものです、卒業制作はアトリエで制作して終わりではありません。

美術学科では、毎年、学部4年間、大学院2年間の制作・研究の成果を発表する機会として尾道市立美術館を中心に、サテライトスタジオなど尾道市市街地で卒業制作展を開催しています。学生たちは展覧会の計画から広報活動、図録制作、展覧会運営、終了後の次世代への引き継ぎという一連の活動をカリキュラムの一環として経験することになります。例えば、毎年自分たちでカタログを制作し、関係方面に配布すると同時に、展覧会を訪れる方々に販売しています。このような展覧会の成り立ちを実際に経験することが、卒業後の活動の糧となることに期待しています。



日本画コース卒業・修了作品優秀作品
小方 樹 〈真昼の無名〉 4年次卒業制作
麻紙、岩絵具、膠、箔 181.8 × 227.3cm



油画コース卒業・修了作品優秀作品
住井 里帆 〈溢れる〉 修了制作
45×400cm、ロール紙、シャーブペンシル



デザインコース卒業・修了作品優秀作品 岸川 詩歩 〈sippori〉 卒業制作 ソファベンチ



美術学科は今年度で20年目を迎え、多くの卒業生たちが専門業界で活躍しています。

そんな卒業生3名から近況をレポートしてもらいました。

卒業生はどのような活動をしているのでしょうか。学部卒業後大学院に進学し、さらに専門分野での制作を重ね、作家を志向する人がコンスタントにいます。

絵画系(日本画、油画)の卒業生の中には創作活動を継続するためにアルバイトをしながら生活している卒業生も毎年一定数いますが、近年増加しているのが、中学、高等学校の美術の非常勤講師です。中には複数の学校を掛け持ちで勤務している卒業生もあります。

デザイン系では、専門のスキルを活かして、広告代理店やメーカー、デザイン制作会社、映像制作会社、放送局、ゲーム制作会社などへの就職の他、イラストレーター、アニメーターとして制作を続けている卒業生もいます。



2017年
日本画コース修了
大久保 明莉

2017年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科(日本画コース)修了
2017~2020年 広島県内の高等学校に非常勤講師として勤務
2020年~現在 百貨店美術SCに勤務
【展覧会・受賞歴】
2022年 第77回春の院展 初入選

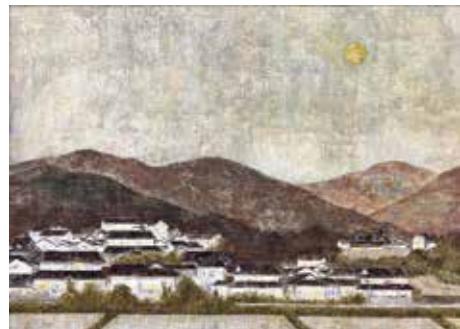
大学卒業後、広島県内の高等学校で講師として勤務した後、現在は百貨店の美術SCで販売員として働いています。

始めは働くことと制作の両立が難しく、描くことを諦めようとしていた時期もありましたが、それでもやはり何かを作り出したいという思いから、時間の使い方や自分のペースを模索しながら制作を続けています。

思い返すと大学生という期間には、自己の内面に考えを巡らせ表現することや、やってみたい表現技法を学び、挑戦することにも全力で費やせる時間や環境があったように思います。大学で出会った友人や先生方、学んだ知識は現在でも私を支えてくれる大きな存在です。

大学生から社会人となり感じたことは、何事も真摯に取り組めば、それに共鳴するように、支えてくれる人や環境ができるということです。

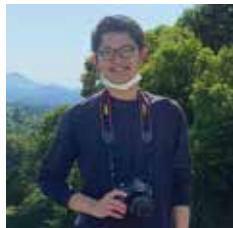
みなさんもこの先そのような人や環境に出会い、いつまでも表現活動を続けていってほしいと思います。



〈星降る〉 72.7×53cm 2018



〈緑樹〉 100×100cm 2021



2021年
油画修了
竹平 洋基

2021年 尾道市立大学美術研究科美術専攻 修了
2021年 NPO法人 BEPPU PROJECT 入社

グループ展
2019年～2020年 7人のキュレートリアルチーム「ONLY CONNECT spinoff」による3回の展示・パフォーマンス（光明寺会館・尾道）

私は2021年3月に尾道市立大学を卒業後、大分県別府市を拠点に活動するNPO法人 BEPPU PROJECTに入社しました。「アーティストの活躍機会を拡大し、アートが日常的に必要とされる環境づくりを行います。」「地域とアートが融合することによって、新たな可能性や価値を創出します。」「一人ひとりの個性を大切にし、誰もが自由に創造力を発揮できる社会を築きます。」こうしたビジョンを掲げ、BEPPU PROJECTはこれまで1000を超える事業をおこない、近年では大分県内だけでなく山口県で開催された博覧会の運営など、その活動の裾野を広げてきました。数ある事業を円滑に運営するため、20名前後のスタッフで担当を振り分け業務にあたっています。私が今年担当した事業のひとつ、「国東半島カルチャーツーリズム推進事業」では、恒久作品の設置やツアーアートの企画、アーティストによるライブイベントやトークイベントを企画・運営しました。

事業に携わってよく気づかされることは、お客様を呼び込むために何か新しいことを始める 것을念頭に入れるのではなく、地域で既におこなっている活動や、ここでしか体験できない幾つもの魅力的な物事を注意深く見なければいけないということです。あくまでもそれら体験のイントロダクションとして、アートによる誘致ができないかがこの事業の大切な部分です。



撮影：久保貴史



川俣正 〈説教壇〉
撮影：久保貴史 (C)国東半島芸術祭実行委員会



2020年
デザインコース卒業
田村 育歩

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 デザインコース卒業
2020年 尾道市立大学卒業制作展 2020 優秀賞
2020年 IAG Award 2020 入選
2020年 第11回 バンフ一年賀状コンテスト 優秀賞
2020年 JAGDA 国際学生ボスター・アワード 2020 入選
2021年 日本タイポグラフィ年鑑 2021
ロゴタイプ & シンボルマーク部門 入選
2021年 AI OTSUKA REMIX PROJECT
『さくらんぼ (Kan Sano Remix)』MV アートワーク提供
2021年 第13回 世界ボスター・リエンナーレトヤマ 2021
U30部門 入選
2021年 Ikuko Tamura Solo Exhibition 「CONTOUR」開催
2021年 WARPs UP acoustic cover trilogy
ジャケットデザイン

私は大学を卒業後、東京の制作会社に勤務したのち、個人でグラフィックデザインやエディタリアルデザイン等のクライアントワーク、グラフィックワークの制作を中心に活動しています。

「作ること」に伴う悩みは、同じく「作ること」でしか解消できないものです。そうだとするならば、自分自身が真剣に楽しく、リラックスして学ぶことができる環境に身を置くことが大切だと思います。尾道の穏やかな時間や街並みは、4年間の私の制作活動をより豊かなものへと昇華してくれました。

そうして同志や教授の方々から学んだデザインに対する視座や姿勢は、今現在の活動にはっきりと活きており、引き続き自身の制作活動を後押ししてくれるものだと感じています。



〈 INVISIBLE CONTOUR ／
見えない輪郭 〉



〈 風神雷神図 〉

Various Facilities **各種施設**

尾道市立大学美術館
地域総合センター
尾道市立大学附属図書館
情報処理研究センター
教職支援センター
国際交流センター
医務室・学生相談室
キャリアサポートセンター





2022-2023

Museum of Onomichi City University

MOU

2008年、尾道市立大学美術学科教育・研究プロジェクトとして、MOU尾道市立大学美術館における展示企画をスタートしました。以来、当館では本学美術学科学生・卒業生・教員を中心に大学における教育・研究成果を様々な角度から発表してきました。



「はじまりのかたち－素描－」



ギャラリートーク「In Focus〈インフォーカス〉」



「カリキュラム展」



尾道市立大学美術館
浦崎 葉子



「はじまりのかたち－素描－」座談会



教員展「新しい日常－New Normal－」



「鈴木恵麻展」

2022年度のスケジュール

7月開催の「Curriculum - 授業作品展 -」では、現在の大学のカリキュラムを網羅的に紹介します。年度末には本学教員が現在の研究成果の発表を行う「教員展」を開催。また、11月には、油絵コース准教授、稻川豊が個展を開催します。国内外で幅広く活動を行う作家としての一面をご覧いただけます。卒業生の活動に焦点を当てる企画「In Focus (インフォーカス)」では、それぞれの領域で活発に創作活動を展開している時任美佳 (日本画)、奥野恵理 (油絵)、佐藤勇 (デザイン) の作品を紹介。他にも、今年は進級制作展が2企画あり、例年通り大学院2年生の制作成果を発表する「進級制作展」のほか、学内発表のみだった油絵学部3年次「進級制作展」を実験的な試みとして美術館で開催します。

Schedule

3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

2022

はじめのかたち - 素描 -
3月12日 (土) - 5月8日 (日) 休館日 水・木曜日 (祝日開館)
表現の第一歩とも言える素描。教員と学生、卒業生による多彩な素描を展示予定です。

尾道市立大学大学院美術研究科 進級制作展
5月21日 (土) - 6月19日 (日) 休館日 水・木曜日
大学院で専門的に制作活動を行っている、日本画・油絵・デザインの3領域の大学院2年生が、既1年次の制作を発表します。

Curriculum - 授業作品展 -
7月18日 (月・祝) - 8月21日 (日) 休館日 水・木曜日 (祝日開館)
1年次から大学院までの、日本画・油絵・デザインからなる3コースのカリキュラムで制作された作品を展示。美術学科の教育の全体像をご覧いただけます。

In Focus 13 - 卒業生の現在 -
9月10日 (土) - 10月23日 (日) 休館日 水・木曜日
本学卒業生、修了生、各分野で活躍している新進作家、時任美佳 (日本画)・奥野恵理 (油絵)、佐藤勇 (デザイン) の3名を紹介します。

稻川豊個展 (仮称)
11月12日 (土) - 12月25日 (日) 休館日 水・木曜日 (祝日開館)
本学油絵学科油画コース教員、稻川豊による個展です。

美術学科油絵コース 3年次 進級制作展
1月14日 (土) - 1月29日 (日) 休館日 水・木曜日
本学油絵コース学年3年生による進級制作展です。これまで学内発表のみでしたが、今回実験的な試みとして美術館で制作発表します。

尾道市立大学美術学科 第19回卒業制作展・第17回修了制作展
2月3日 (金) - 2月12日 (日) 会場中止
大学での研究成果を発表。卒業・修了生 60 余名の作品を展示します。
※尾道市立美術館では卒業制作作品、当館では修了制作作品をご覧いただけます。

尾道市立大学美術学科 教員展
3月11日 (土) - 4月23日 (日) 休館日 水・木曜日
本学美術学科教員の制作・研究を紹介する展覧会です。

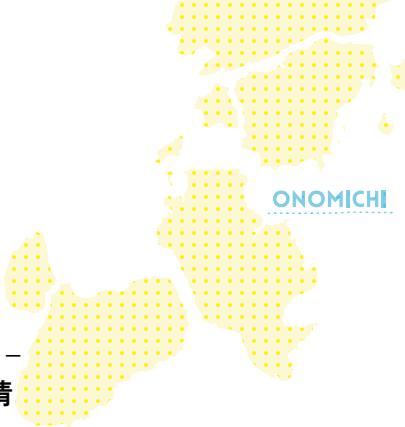
地域総合センター

尾道市は商都として約850年もの長い歴史を有し、古代から現在に至るまで様々な文化を育んできたまちです。旧市街地を歩くと、あらゆる時代が混ざり合った不思議な魅力のあるまちであると感じることが出来ます。この地を何度も訪れる観光客が多い理由は、「まだすべてを見ていないのではないか」とか「何度も来ているはずなのに、ここは来たことがない」など、市街地や斜面地の路地が複雑に絡まったラビリンスに魅せられているからなのかもしれません。新たな店が不思議な場所に突然登場するのも、また、時を経るとその店が次第に尾道の風景として馴染んでくるのも、このまちの持っている歴史の融合感覚といえます。

そんなまちにある尾道市立大学の理念の一つに地域貢献があります。地域社会との連携は開学以来取り組んできた本学の大きな特徴と言えるでしょう。そのなかで、学生と教員の長期間の取り組みで花開いたプロジェクトも少しずつ増えてまいりました。地域貢献活動の成果は、参加した学生達の糧となっていることは言うまでもなく、社会に出てからも、それらの経験がそれぞれの活躍の場で役立っています。学生たちが地域貢献を行うなかで得た知識や経験は、様々なコミュニティとの関わり、つまり基礎的・社会力養成にもつながっていると確信しております。



地域総合センター
金子 美晴



教養講座



尾道学入門



2021年度受託事業「尾道市シビックプライドデザイン制作」より
モニュメントデザイン 美術学科4年 小保佑月



尾道文学談話会広報物



コンピュータ公開講座広報物



尾道市立大学地域総合センター叢書



情報科学研究会広報物

2021年度 開催講座(主催)

尾道文学談話会(全6回)

2021年4月～9月 第1月曜日(5月のみ第2月曜日)開催
講師：芸術文化学部日本文学科を中心とした本学教員、
外部招聘講師

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から5月以降中止

教養講座(全3回)ケーブルテレビにて放映

- 第1回 光原百合(日本文学科教授)
小泉八雲「飴を貰う女」と、尾道の「丹花の飴貰い幽霊」
 - 第2回 堀江進也(経済情報学科准教授)
災害リスク管理と居住地の再編
 - 第3回 灰谷謙二(日本文学科教授)
方言のもつ現代的な意味と機能
-「おのみちしぐさ」で考えたこと-
- 第1回を本学ホームページにて期間限定公開

2021年度 開催講座(協力)

地域プレゼンテーション課題2022-発表展

2022年2月19日～2月21日開催
芸術文化学部美術学科デザインコース3年生

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から来年度4月に延期

2021年度尾道市立大学コンピュータ公開講座

2022年2月5日開催 「EXCELを用いたデータ分析実践」
講師：金田陸幸(経済情報学科准教授)

尾道市立大学情報科学研究会

2022年3月24日開催

「学習管理システム Moodle の超入門」

講師：松本慎平(外部招聘講師)
モレーラ：有吉勇介(経済情報学科教授)

2021年度 受託研究、受託事業

尾道市シビックプライドデザイン制作

2021年4月～8月

相手先：尾道市総務課

担当教員：野崎真澄(美術学科教授)
伊藤麻子(美術学科講師)

担当学生：4名

「2022年版どんぐり工房カレンダー」等のデザイン案の製作等

2021年4月～2021年3月

相手先：社会福祉法人尾道さつき会

担当教員：世永逸彦(美術学科教授)

担当学生：2名

ほか6件

受託研究4件 受託事業4件 計8件

本学附属図書館は、久山田水源地のほとりにあって眺望にすぐれ、また山を背にして読書や学習に好ましい静謐な雰囲気を得ています。

附属図書館では、本学の各学部学科の学生や教員の学習や研究に対応できるよう、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料・古文書・電子ジャーナル・データベースなどの資料があり、各種メディアの利用により、学習・研究・就職活動等に活用されています。学術分野だけでなく、小説や趣味に関する本などもあり、多く利用されています。

また、希望図書リクエストサービスや、文献複写・借用図書申請など、Webを使って手軽に申し込みできるシステムを備えています。調べもの相談などのレファレンスサービスも随時受け付けており、これらは多くの学生に活用されています。他の図書館等が所蔵する雑誌論文が必要になった場合など、遠慮なく受付で尋ねて下さい。

その他、設置している情報端末PCや、無線LANでのインターネットの利用も盛んに行われています。

思索のための理想的な空間を大いに利用して本を読み、情報を収集し、学習や研究を進めて行ってもらいたいと願っています。また、研究・自主学習に限らず、「憩いの場」としても附属図書館を役立てていただきたいと思います。



尾道市立大学附属図書館
岡田 匠亮

高橋玄洋記念室

本学の前身、尾道短期大学一期生で、NHK連続テレビ小説「蘭子ひとり」(視聴率55.2%を記録)など多数の人気番組を手がけた脚本家・高橋玄洋氏の著作、脚本、映像、絵画、書、焼き物、書簡、写真など約870点余りの貴重な資料を展示しています。



下垣内文庫

近世地方俳諧の研究者である下垣内和人氏から寄贈を受けた計3093点の近世俳諧資料です。これらの資料は、下垣内氏が長い年月をかけてこつこつと集められた、江戸時代から明治時代にかけての俳諧資料であり、地方俳諧の資料としてこれだけ大部に揃えることは難しく、たいへん貴重なものです。



一枚摺・可庵夏興『夕蟬や』



一枚摺・梅室秋興『夕かぜは』



一枚摺・三石七回忌追善『梅にわれ』



松本幸四郎・市川高麗藏口上



一枚摺・羅風夏興『螢火の』



外観



書庫内



閲覧室



美術閲覧室
(マンガコーナーが設置されています)



尾道関連資料コーナー

尾道関連資料コーナー

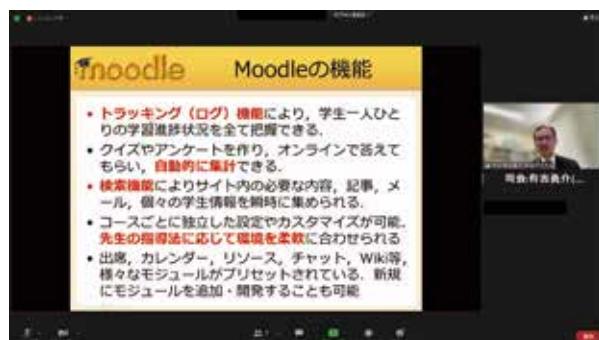
尾道ゆかりの資料や、本学教員の著作、本学卒業生・在学生の著作などを収集し、自由に閲覧できるコーナーを設置しています。

また、その他に英語多読コーナー、仕事関連コーナー、展示スペースなどもあり、活用されています。

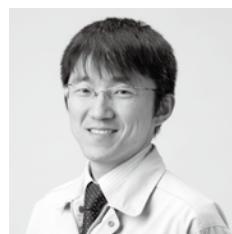
情報処理研究センターは、コンピュータや通信ネットワークなどから構成される尾道市立大学の情報システムを効率的に管理・運営し、教育・研究・教務の情報技術による高度化を推進するための機関です。

2017年10月の情報システム更改では、ノートパソコンやスマートフォンを携行する学生のため、キャンパス全域へのWi-Fi整備やメールシステムのクラウド化を行い、利便性向上を図りました。

また、高度情報化社会に対応したセンターを目指しており、地域貢献と研究活動の推進などを目的として、コンピュータ公開講座や情報科学研究会なども開催しています。



第33回 情報科学研究会（2021年度）



情報処理研究センター
田上 憲二

設備・サービス一覧

●情報設備

サーバ: 4台 (仮想サーバ: 47台) Windows PC: 88台 iMac: 40台
貸出用ノートPC: Windows PC, MacBook
パソコン室 (翠明館自習室): 平日22時、休日20時30分まで利用可
パソコン対応教室: 中講義室 (225座席) 1、小講義室 (120座席) 2

●提供サービス

SINETへの接続による高速インターネット通信の提供
ポータルサイト (授業情報等の連絡、履修登録など)
学生証 (ICカード)による、図書、出席管理、印刷システムの利用
Wi-Fi (学内113箇所にアクセスポイントを設置)
オンデマンド印刷 (4箇所、12台設置) クラウドメールサービス
学外からのVPN接続 Microsoft Office、ウィルス対策ソフトの配布
当センターホームページによる情報システム利用マニュアルの公開

●人的サービス

専門性に優れた上級生・大学院生をシステム運用補助員に採用し、学生の質問等にすぐ答えられる体制をとっています。時間外でも、平日は翠明館のパソコン教室及び自習室を午後10時まで開放し、予習・復習の便宜を図っています (休日 (土日祝) は午後8時30分まで利用できます)。

2021年度 情報処理研究センター主催行事

●年度初めの新入生情報セキュリティ講習会 (ビデオ オンデマンド方式)

2021年4月7日 (水) ~ 2021年4月16日 (金)
「情報モラル編」
南郷 賢 (経済情報学部 准教授)

●情報セキュリティ講習会 (ビデオ オンデマンド方式)

2021年12月21日 (火) ~ 2022年1月14日 (金)
「学生向け: 情報モラル編」
「日常のセキュリティ編」
南郷 賢 (経済情報学部 准教授)

●コンピュータ公開講座 (オンライン (Zoom))

2022年2月5日 (土) 13:00 ~ 15:00
「EXCELを用いたデータ分析実践」
金田 陸幸 (経済情報学部 准教授)

●第33回 情報科学研究会 (オンライン (Zoom))

2022年3月24日 (木) 13:00 ~ 15:00
「学習管理システム Moodle の超入門」
松本 健平先生 (広島工業大学 情報学部 教授)
モデレータ: 有吉 勇介 (経済情報学部 教授)



教職支援センターは、教員を目指す学生を支援する機関です。運営委員を担当する各学科教員が教職課程全般的ガイダンス、授業の履修方法や計画の指導、介護等体験や教育実習等の指導を行っています。また、例えば「自分は教員に向いているのだろうか」というような相談にも応じています。キャリアサポートセンターとの連携も行っており、公立学校の教員採用試験、私立学校教員公募、臨時の任用教員や非常勤講師の募集情報等の発信も行っています。

C棟1階にある教職支援センターのブースでは、教科書、教育新聞、教員採用試験情報誌、参考書、問題集等を整えています。教員採用試験対策に各自が取り組めるようにオンライン学修教材も導入しています。模擬授業や教育実習授業で教材作成が必要、となったときに活用できる用具も取り揃えています。



本学で取得することのできる教員免許状は以下の通りです。

[経済情報学部 経済情報学科]

高等学校教諭一種免許状（情報）

高等学校教諭一種免許状（商業）

[芸術文化学部 日本文学科]

中学校教諭一種免許状（国語）

高等学校教諭一種免許状（国語）

[芸術文化学部 美術学科]

中学校教諭一種免許状（美術）

高等学校教諭一種免許状（美術）

*なお、商業、国語、美術については、上記の一種免許状を取得した上で、本学大学院各研究科を修了し、所定の単位を修得した場合はそれぞれに応じた専修免許状を取得することができます。

国際交流センターは尾道市立大学における国際化を推進するため2011年に創設され、教職員12名で運営されています。主な業務は、学生の海外語学研修参加に対するサポート、外国人留学生の迎え入れや海外協定校との共同研究体制の構築などです。

また、海外の大学との学術交流も意欲的に行ってています。これまでに、中国、アメリカ、台湾、ベトナムの大学計12校と交流協定を締結しました。

さらに、日本人学生と外国人留学生が相互に友情を育むための様々な異文化交流イベントの企画・運営や、外国人留学生が日本の生活習慣や環境に順応し、充実した留学生活を営めるよう、授業や日常生活に対する支援を行っています。

このように様々な活動を通して、尾道市立大学をグローバル志向の学生が在籍する国際的教育機関に発展させたいと思っています。



国際交流センター
KOBAYASHI Dawn

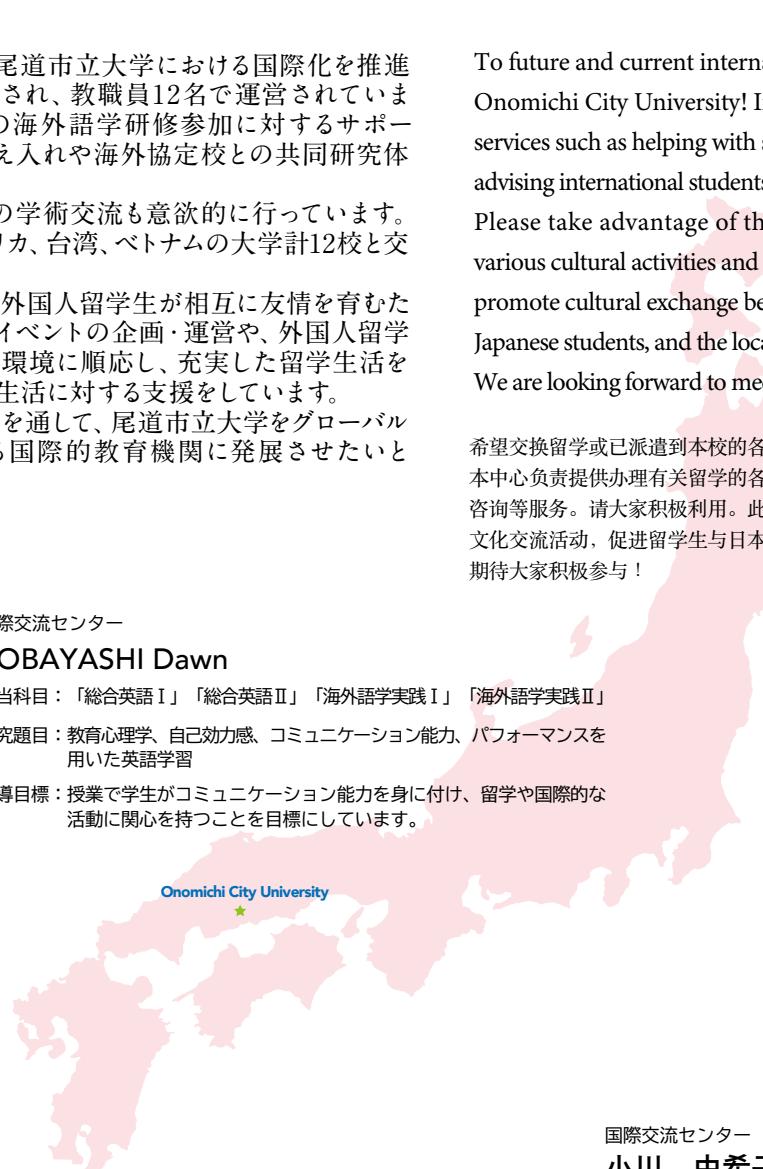
担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：教育心理学、自己効力感、コミュニケーション能力、パフォーマンスを用いた英語学習

指導目標：授業で学生がコミュニケーション能力を身に付け、留学や国際的な活動に関心を持つことを目標にしています。

To future and current international students, welcome to Onomichi City University! International Office provides services such as helping with study abroad procedures and advising international students about study and life in Japan. Please take advantage of these services. Also, we hold various cultural activities and events throughout the year to promote cultural exchange between international students, Japanese students, and the local community. We are looking forward to meeting you!

希望交换留学或已派遣到本校的各位留学生，尾道市立大学欢迎你！本中心负责提供办理有关留学的各种手续，及在日学习生活的指导和咨询等服务。请大家积极利用。此外，每年在校内外举办各种各样的文化交流活动，促进留学生与日本学生，本地区居民的文化交流。期待大家积极参与！



国際交流センター
小川 由希子



国際交流トピックス



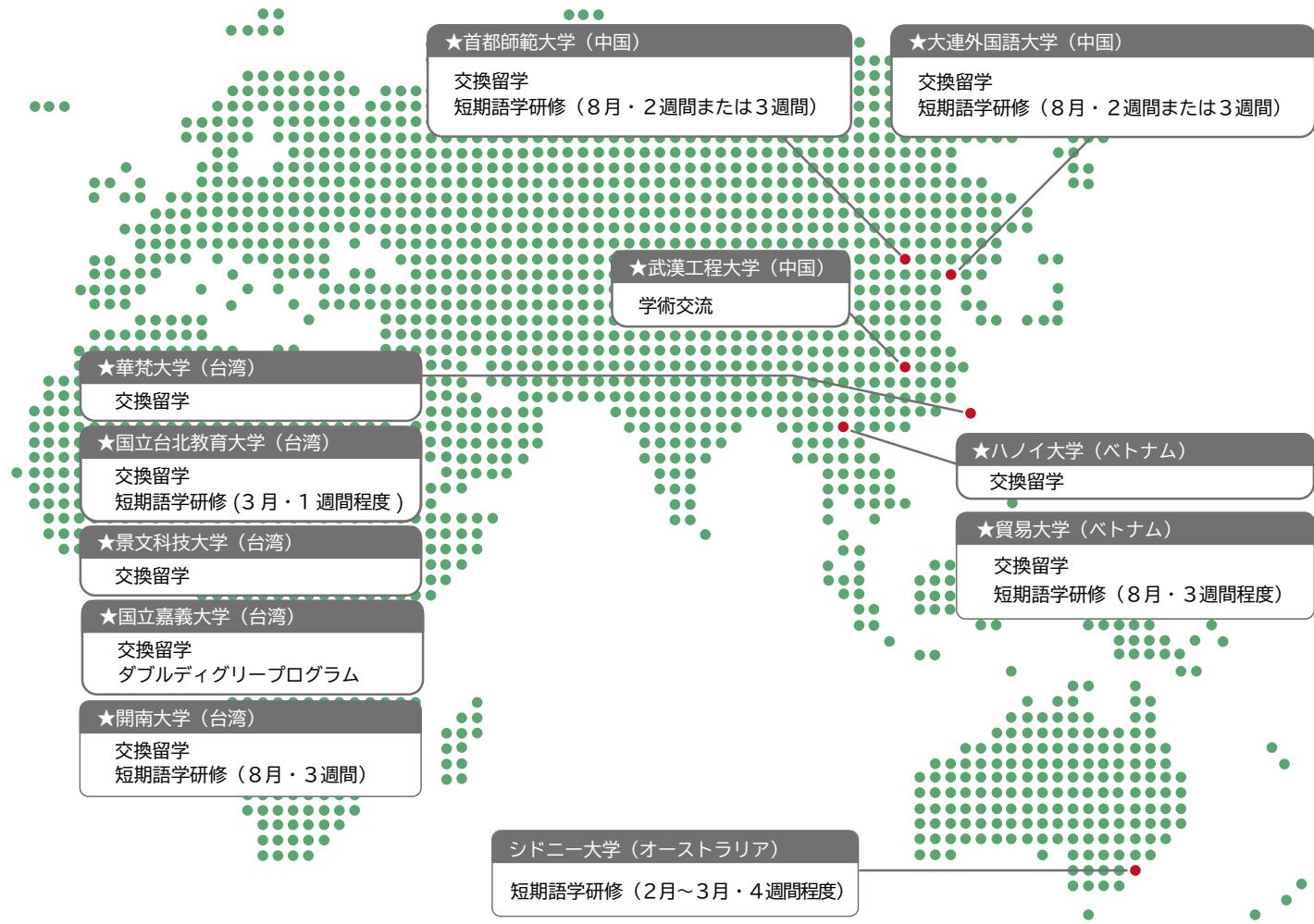
大学借り上げ寮「フェルマータ 宮の前」(2020年8月完成)



留学生オンライン歓迎会の様子



卒業予定留学生によるオンライン報告会の様子



★・・・海外協定校

★ハワイ大学マウイカレッジ

交換留学

短期語学研修（2月～3月・3週間程度）

協定校等における海外短期語学研修

本学では、協定を結んでいる海外の大学をはじめとして、短期の語学研修に参加できる制度を用意しています。渡航に必要な知識や理解を深めるため引率教員と事前学習を実施し、帰国後には事後学習や報告会を開催するなど、安全で実りのある研修になるようサポート体制を充実させています。また、本学後援会が研修費用の助成を行う制度も用意しています。

訪問先での研修プログラムは大学ごとに異なりますが、文化体験や地元企業への訪問、自己啓発の時間、さらには休日に景勝地を訪れるツアーが用意されている等、どのプログラムも工夫が凝らされています。外国語の習得のみを目的としたものではなく、ホストファミリーや現地の学生、市民などの様々な人々との交流を通じ、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指した内容となっているのが特徴です。

なお、新型コロナウイルス感染予防の影響により海外への渡航が難しい場合には、協定校とのオンライン語学研修に参加できる体制を整えています。

ポートランド州立大学

短期語学研修（8月中旬～9月上旬・4週間程度）



医務室(健康相談と修学サポート)・学生相談室

尾道市立大学では教職員が連携して学生のみなさんのサポートにあたります。連携の拠点となるのが、医務室と学生相談室です。医務室では心身の健康をサポートする健康相談と障がいがある学生や困りごとがある学生の修学サポートの活動を行っています。充実した学生生活が送れるよう、学生のみなさんを応援しています。

医務室 専門スタッフ(看護師・養護教諭)が在室しています。

●健康相談

病気やケガ、様々な不安やストレスについてお話を伺います。



●修学サポート

障がいがある学生、困りごとがある学生の大学生活をサポートします。



学生相談室

心理カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)によるカウンセリングを行います。
学生本人やご家族からの相談に応じます。



関係学生団体「おのだいピアサポ」が
学生の視点でピア・サポート活動を展開しています。



新入生対象履修相談会



5つの柱による進路支援

●キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、求人情報、企業情報、企業説明会の情報など「就職活動に関する情報」や、進学や資格取得など「進路全般に関する情報」を提供しています。学生の進路相談に応じるスタッフが常駐し、進路相談のほかに履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など進路に関することなら何でも相談に応じています。パソコンの設置や、専門のキャリアカウンセラーを配置し、いつでも学生が利用できる体制を整えています。

●キャリア開発委員会

キャリア開発委員会では、定期的に就職ガイダンス、セミナーを開催することにより、学生の就職意識の高揚と、スムーズな就職活動を支援しています。地元企業との懇談会や学内個別企業説明会、業界研究会を開催し、学生の就職活動がより具体的になるよう支援をしています。

●課外講座による実践的指導

全学年を対象に課外講座を開講することにより、学生の進路選択、就職活動に向けた実力を養成しています。

・公務員受験対策講座

公務員希望者を対象に「教養分野コース」、「専門分野コース」にて実力の向上に努めています。

・簿記資格対策講座

日本商工会議所簿記資格取得の支援をしています。

・情報技術資格対策講座

MOS・Word、MOS・Excel、の講座を開設しています。

●教職員による積極支援

全教職員が、チューター制をはじめとする少人数教育によりきめ細やかな指導を行うとともに、求人開拓や関係強化のための企業訪問を実施して、積極的に支援しています。

●キャリア教育

授業科目として、1年生向け「キャリア形成入門」と、2・3年生向け「キャリア形成演習」「インターンシップ」を開講しています。「キャリア形成入門」では、卒業後の社会的自立に向けて、自分らしい生き方や働き方を考え、主体的に取り組む姿勢を身につけます。「キャリア形成演習」では、実際の企業・団体での経営課題にチームで取り組み、プレゼンテーション資料を作成し発表することで、就業力や社会人基礎力を身につけます。「インターンシップ」では、実社会での就業体験が実りあるものとなるよう、事前学習・事後学習を通じて、職業観・就業意識を養い、適切な職業選択に役立てるとともに、専門教育との接続を意識したプログラムの開発をめざします。



キャリアサポートセンター 特任講師

八木 力俊

担当科目：「キャリア形成入門」「キャリア形成演習」「インターンシップ」

研究テーマ：「セルフ・キャリアドックの有用性」と「インターナル・マーケティング」

進路支援の取り組み

進路選択は学生の人生に大きな影響を与える重要なことです。

キャリアサポートセンターでは、学生がやりたい仕事に就き、いかに自己実現できるかを基本とし、一人一人に合わせた適切な進路指導をします。

近年、就労意識が低いままで入社したり、入社後にミスマッチが発覚したり、若者の早期離職が社会問題となっています。本学では社会人基礎力を育成するカリキュラムを取り込んだガイダンスやセミナーを開催し、就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力の育成をしています。教職員が一体となり、就職相談、求人開拓、情報提供を通して学生の進路選択を万全のサポート体制で支援していきます。

①インターンシップ

2021年度は参加者が16名でした。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からインターンシップが中止になった企業があり、例年より少ない参加者となりました。しかし、今年度からは企業との共同によるデザイン思考をベースにした課題解決型のインターンシップを取り入れることにより、プログラム内容の充実を図りました。本学では単に企業等での就業体験・課題解決型プログラムだけでなく、事前学習・事後学習・報告会を組み合わせた1年間のプログラムで実施しています。インターンシップを通じて、学生の専門研究分野に関する認識を高めるだけでなく、職業観・職業意識を育成し、適切な職業選択を促進します。

②就職実践講座

3年生を対象に「就職実践講座」を開講しています。就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、社会人基礎力を育成できるカリキュラムとなっており、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力を育成する内容となっています。

③学内企業説明会

2月に業界研究会をオンラインで開催しました。オンラインならではの特性を生かすことができ、対面の説明会では参加が難しかった遠方の企業の参加や地元へ帰省している学生の参加が可能となりました。本学学生にとって企業の採用担当者との貴重な面談の機会となっており、就職活動への意欲醸成に繋がっています。その他、学内の教室を使った個別企業説明会も実施しており、幅広く情報収集できる機会を学生に提供しています。

④就職ガイダンス・業界セミナー

2年生、3年生を対象に企業の担当者を招いて、学内業界セミナーを開催しています。学生の職業観や勤労観の育成を図り、学生が産業や職業に関する知識や理解を深めるよい機会となっています。公務員や教員志望者へは「公務員試験対策講座」や「教員採用試験説明会」を実施しています。また、業務内容や試験制度の説明のほか、現役合格者より採用試験への取り組み方など聞く体験報告会を開催しています。

⑤就職・進路相談

キャリアサポートセンター職員や専門のキャリアカウンセラーによる進路相談を始め、エントリーシートや履歴書添削、面接練習を含む個別相談・指導を行っています。

⑥企業との意見交換会

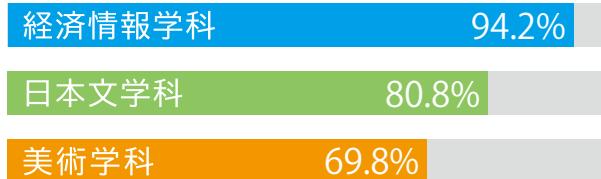
2021年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となりました。例年、企業の採用担当者を招待して意見交換会を開催しています。学生と教職員が一体となって本学の概要、各学部の特色、産学連携活動について紹介をしています。懇親会では名刺・意見交換の他、学生によるポスターセッションで、研究活動・課外活動、インターンシップ体験などを発表し、企業に本学学生についてより深く知りたい大変良い機会になっています。今年度は、代わりにオンラインによる地元企業ガイダンスを開催しました。3年生のみならず2年生も対象にして、単なる学生に企業を紹介するだけの場ではなく、業種・職種などを深く学習していく業界・企業研究という側面も持たせました。



1. 就職状況

令和3年度卒業生の就職率(就職希望者のうち、就職し得えたもの)は 88.1% (昨年度同期91.9%)、内定者数は251名 (昨年同時期261名) となっています。学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業者	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	207	190	179	94.2% (昨年同時期 97.0%)
日本文学科	58	52	42	80.8% (昨年同時期 85.4%)
美術学科	54	43	30	69.8% (昨年同時期 72.5%)
合計	319	285	251	88.1% (昨年同時期 91.9%)

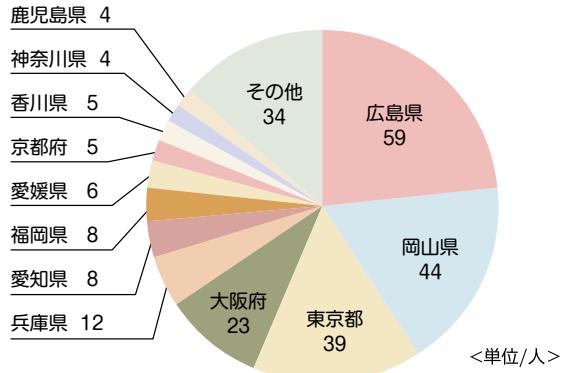


(1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、就職者251名中123名(49.0%)が広島県、岡山県等の中国四国地域へ就職をしています。また東京都と大阪府の合計が約24.7%、出身者が多い兵庫県・愛知県・福岡県・京都府などへの就職者もいます。

これは、地元(中国・四国地域)の発展に貢献できる人材を輩出する、大都市圏でも活躍できる人材を育成する、これらを就職支援の方針として重点的に取り組んできた結果です。

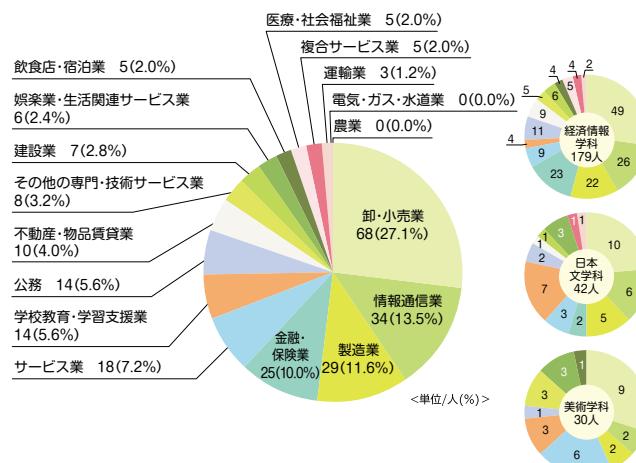
また、今年度は昨年度と比較をすると大都市圏よりも地元への就職が増加した年となりました。



(2) 業種別動向

就職先を業種別にみると、卸・小売業、情報通信業、製造業、金融・保険業で62.1%を占めています。これらの業種は本学学生が志望する人気業種です。

卸・小売業種、製造業以外を学科別にみると、各学科の特色が現れた結果となっています。経済情報学科は、情報通信業、金融業、公務が上位を占めています。日本文学科は、学校教育・学習支援業、情報通信業が上位を占めています。美術学科は、専門・技術サービス業、サービス業でのウェブデザイナー、グラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。



主な就職先 (過去3年間)

「株式会社」等省略、順不同

経済情報学部 経済情報学科

●建設業	九電工 タマホーム 大和ハウス工業 三菱電機ビルテクノサービス 富士建設 東洋プラント 中電工業 積水ハウス 一条工務店 島根電工
●製造業	古川製作所 昭和電工 三浦工業 三相電機 福留ハム ホーコス テンパール工業 宮木電機製作所 千石 御池鐵工所 ジェイ・イー・ティ 九州ハイテック トーステ 桂精機製作所 ヒロタニ 三木特種機器 リブドゥコボレーション ビージョイ サンワサプライ ミドリ安全 アサヒビル フジパングループ本社 プレス工業 明石スクールユニフォームカンパニー 大塚製業 太田胃散 出雲村田製作所 ワッドワン エフピコ 池田糖化工業 宮崎キャノン 四変テック
●電気・ガス・熱供給・水道業	広島ガステクノ・サービス 岡山ガス
●情報通信業	トスコ サーネックス シー・イー・シー 東京コンピューターサービス 日立ソリューションズ西日本 ドコモCS中国 日本ビジネスデーターブロセシングセンター ARアドバンストテクノロジ 中国新聞システム開発 ピーネックスリューションズ Zynas アジアクエスト バルテス ソフトウェア・サービス トヨタ情報システム愛知 アクトシステムズ ギグワクスプロアイティ セトウチシステム エースシステムズ ケイ・シー・シー マクロエンジニアリング アルテクス ピコシステム オークラ情報システム アクシス NTTデータ中国 日立インフォメーションエンジニアリング 両備システムズ 情報処理推進機構 NTTシステム開発 ミロク情報サービス
●運輸業	備後通運 清和海運 福山通運 日通 NPロジスティックス 福山スチールセンター 両備ホールディングス ナカタ・マックコーポレーション ヤマト運輸 四国旅客鉄道
●卸・小売業	大黒天物産 西原商会 ホシザキ中国 リコージャパン マックスバリュ西日本 ツルハホールディングス アプライド ビッグモーター ハローズ コスモス薬品 ザグザグ 赤ちゃん本舗 ネクステージ キャンシステムアンドサポート アイ・ティー・エックス キヤノン 山川 クラブン カワニシ マルアイ 外林 日工 栄工業 NST日本鉄板 ネットコトヤ広島 ホンダ四輪販売四国 ホンダ四輪販売岡山 ホンダカーズ兵庫 ヨタカラーラ名古屋 ソルトホールディングス 大創産業 エイティン プレひまわり イズミ 青山商事 フジ 広島トータ自動車 広島マツダ フアーマイ 白比谷花壇 ローナ コーセー
●金融・保険業	中国銀行 トマ銀行 広島市信用組合 播州信用金庫 山梨中央銀行 但馬信用金庫 島根銀行 山陰合同銀行 ダイレクトマーケティングミックス 今村証券 熊本ファミリー銀行 みなど銀行 明治安生生命保険 備前日生信用金庫 岐阜信用金庫 飛騨信用組合 両備信用組合 住友生命保険相互会社 香川銀行 静岡銀行 第一生命保険 名古屋銀行 山口フィナンシャルグループ 八十八親和銀行 高知銀行 広島銀行 伊予銀行 福井銀行 富山第一銀行 宮崎銀行 ゆうちょ銀行 広島信用金庫 愛媛信用金庫 笠岡信用組合 西中国信用金庫 しまなみ信用金庫 東洋証券
●不動産・物品販賣業	西尾レンオール カチタス 大英産業 関西ホームサービス 積水ハウス不動産中国四国 枚方パートナーシップ レント エネルギーA&Bパートナーズ 大東建託 メグハウスファミリアグループ 静岡鉄道 三井不動産リアルティ中国 アイティ
●専門・技術サービス業	ビー・エム・エル TSKエンジニアリング クリープ 税理士法人シナジー DFE 坂本電子計算センター water ing
●生活関連サービス業・娯楽	王将カードサービス 終家 味龍 フジオードシステム ホテルニューアワジ ゼンショーホールディングス 吾番屋 阪急トラベルサポート トヨタレンタリース長崎
●教育・学習支援業	広島県内公立高等学校 福山商業高等学校 進学ゼミナール チモモ オイオ K-standard 岡工業高等専門学校
●医療・福祉	誠和 社会福祉法人尾道さつき会 創心會 放課後ディサービスみなびのひらば さよう整形外科 広島県教育職員互助組合労働者健康安全機構 国立病院機構近畿グループ
●複合サービス業	おかやま酪農業協同組合 JA岡山 石川県漁業協同組合 生活協同組合ユコープ 福山市農業協同組合 生活協同組合おかやまコープ 金沢市農業協同組合 三原農業協同組合
●その他のサービス業	日本自動車連盟 龍野商会議所 UTグループ MESファシリティーズ ライクスタッフイング アウトソーシングテクノロジー 昭四セキュリティーサービス オガワエコノス エイジェック ジエイアール西日本ウェルネット マーキュリー
●公務	財務専門官 広島県 広島市 香川県 愛媛県 松山市 福山市 三原市 美祢市 広島県警察長野原警察 府中市 国税専門官(高松国税局) 三重県 大阪市 長崎市 高浜市 出雲市 善通寺市 兵庫県警察 備前市 浅口市 南九州市 広島県地方検察庁 岛根県警察 和歌山県警察 姫路市消防局

芸術文化学部 日本文科学

●建設業	大和ハウス工業
●製造業	首元学生服 岡山木村屋 福山熱練工業 ジーベック キャシステム 近江印刷 フジダン 自重堂 日亜化学工業 岡本工機 セキ 星光社印刷 明石スクールユニフォームカンパニー ジャパン・マリンユナイテッド
●情報通信業	メンバーズ システム BFT ぎょうせい CO-NECT リンケージ ジィ・シィ企画 京都新聞COM
●運輸業	三八五流通
●卸・小売業	ザグザグ オーケフ 大黒天物産 俄 トライアルカンパニー ベトロスター関西 近藤鋼材 藤徳物産 松川商事 ウエルシア薬局 九州ワーク マツモト 日工 メガネット
●金融・保険業	笠岡信用組合 両備信用組合 山陰合同銀行
●不動産・物品販賣業	後楽不動産 積水ハウス不動産中国四国 ブラウダステレジデンス
●専門・技術サービス業	明電エンジニアリング 第一技研
●生活関連サービス業・娯楽	ベルモニー アミアバ ステージワークURAK
●教育・学習支援業	神戸市内公立中学校 広島市教育委員会 ロイヤルコーポレーション ブレーンバンクITTO個別指導学院 ヒューマレッジ 愛媛県内公立中学校 広島県内公立中学校 福武財団 山梨県内公立中学校 芸城学院予備校
●医療・福祉	信々会 ももぞの学園
●複合サービス業	晴れの国岡山農業協同組合 生活協同組合おかやまコープ 尾道市農業協同組合 そお鹿児島農業協同組合
●その他のサービス業	共同エンジニアリング テクノジャパン 三洋ビル管理 ジェイアール西日本総合ビルサービス
●公務	浅口市 垂水市 堺市 井原市 広島県警察

芸術文化学部 美術学科

●製造業	サンエス シバセ工業 白ハート食品工業 オガワ 橋本エンジニアリング 金井大道具 シャンソン化粧品
●情報通信業	ディービーエヌ TSP ジャム・デザイン ウインキューブホールディングス 1-UP STUDIO A-1pictures ブラチナゲームズ 厨子王 動画工房
●運輸業	バンダイロジカル 商都交通
●卸・小売業	ヤマダホールディングス ピーシーデボコーポレーション イオン九州 エヌエス・インターナショナル サニーマート ケイ・ウノ 栄光真珠 テレトビア ファルバ 俄 ハローズ ブンゼンジャパン カルフайн 理研産業 宮地電機 メガネの田中チエーン
●専門・技術サービス業	モノクラム スタジオ・エーワン EOTA RCCフロンティア TROYCA 興南設計 アイディーエ GK Graphics カイカイキキ タミアート
●生活関連サービス業・娯楽	九州ジー・アイ・シー シーエスシーサービス メモワージュ イズミ・ード・サービス
●教育・学習支援業	大阪府豊能地区中学校 尾道市立美術館 兵庫県内公立中学校 佐賀県内公立中学校 香川県内公立中学校
●医療・福祉	高齢・障害・求職者雇用支援機構
●その他のサービス業	益田商工会議所 大山神社 ダイキンエンジニアリング トラスティ PEO
●公務	尾道市 廿日市市 高梁市 宇和島市



昭和电工株式会社

経済情報学科

岳下 大河出身校：
東福岡高等学校

就職活動中に「計画的偶発性理論」というキャリア理論に出会いました。この理論は個人のキャリアの約8割は予期せぬ偶然により決定されるという前提のもと構成されています。その予期せぬ偶然をモノにするためには意図的な積極的な行動が必要とされており、その積み重ねでより良いキャリアが構成されるとされています。気になる方は「計画的偶発性理論」で調べてみてください。

私自身文系だから営業職などと安易な気持ちで就職活動に臨んでいました。しかし、偶然受けた企業の面接で自分のやりたいことを面接官の方に話すと、自分の想定しなかったキャリアを提案され営業職ではなく経理職でのスタートとなりました。このわずか1時間の面接がきっかけとなりキャリアプランが変わることとなったのです。

就職活動は日頃お会いすることのない経験豊富な社会人の方々と自分の過去と将来について数多く話す貴重な機会です。仮にその企業の面接に落ちたとしても、百戦錬磨の社会人の方々と話し合ったという経験は決して無駄では無いです。その貴重な機会を自ら逃すことのないように、自己分析やエントリーシートの書き方、適性検査の勉強等の基本的な準備を怠らず、視野を広げて社会を見てみてください。

昨今ではオンライン面接等も進み地理的な格差も少なくなっています。私自身面接はほとんどオンラインでした。就職活動という言葉に恐れることなく、肩肘張らずに頑張ってください。応援しています。



財務専門官

経済情報学科

舛谷 悠幾出身校：
山口県立山口中央高校

公務員試験を振り返り、最も大切だと感じたことは「計画性」と「継続力」です。公務員試験は、数的処理・文章理解などの教養科目や経済学・民法などの専門科目があり、多くの科目の学習する必要があります。私は、2年生が終わった春休みから公務員予備校に通い始め、4年生の5~7月に行われる筆記試験の対策を始めました。試験日から逆算して、1ヶ月単位、1週間単位でやるべきスケジュールを決めて学習することが大切です。また公務員を目指す道のりは、周りの就活生よりも早く始まり遅く終わることが多く、私自身途中で心が折れそうになることもありました。しかし、同じ目標の友人と励まし合うことで最後までやり遂げる事が出来ました。自分の目標を見失わずに粘り強く継続して頑張ってください。

筆記試験を突破すると最後の山場となる面接試験や官庁訪問があります。私は、所属していたサッカー部の活動や、アルバイトボランティア活動などを中心に話しました。学生のうちに様々な事に積極的に挑戦することで、自身の成長や自信に繋がり、面接の話のネタにもなると思います。面接は緊張しますが、着飾らずに自分を信じて気持ちを伝えてください。

公務員試験も民間の就活も、合格者数が決まっていて全員が合格するわけではありません。努力をすれば絶対合格するわけではないですが、私は努力をしなければ合格を勝ち取れないと思っています。諦めそうな時、投げ出したくなる時が勝負所です。周りの人と助け合い、息抜きも大切にして後悔の無いように頑張ってください。

最後になりますが、就活が終われば、不安や緊張でいっぱいの就活中に支えてくれた友人、家族、関係者の方々に感謝の気持ちを伝えることも忘れないでください。みなさんの挑戦を応援しています。頑張ってください！



菅公学生服株式会社

日本文学科

原 悠馬出身校：
愛媛県立西条高等学校

思い返すと私の就職活動は、自分を周囲と比べ劣等感に苛まれた体験ばかりでした。面接時は自身のPRよりも他の志望生の方が濃いエピソードを話しているように感じ、もっと他に話せることはなかったのかと日々反省を繰り返していました。この体験は私だけに限らずきっと他の学生全員に共通することだと思います。

しかしそれでも内定獲得に至ったのには企業の徹底的な情報収集に加え、日々の学校生活をより濃いものにしようと努力した背景があったからだと考えています。私は入学時から尾道の居酒屋でアルバイトを続けていました。その中で接客を通してお客様にいかに楽しんでいただけるかを常に考えて業務に励んでいました。お店には常連の方だけではなく観光客の方もたくさんいらっしゃるため、自分の足で実際に観光地を訪れ、雑誌には載っていないような情報を提供できるよう取り組んだこともあります。そのような体験を日常の中で積むことで、面接時にはエピソード面で周囲との差異を図ることができました。

尾道は様々な人の出会いがあり面白い町です。先程挙がった居酒屋でのアルバイトで出会ったお客様だけでなく、学校で出会う同級生や先輩後輩など日本各地から訪れた様々な人の出会いが、私の学生生活をより濃いものに彩ってくれました。就職活動は話すエピソードも含め、たった一人で勝ち取れる内定はありません。今の学生はコロナ禍の影響もあり、従来とは異なる学校生活を余儀なくされていると思います。それでもめげずに日々の出会いを大切にしながら、一日一日をより濃いものにできるよう頑張ってください。



尾道市役所

美術学科

寺本 星璃出身校：
愛媛県立今治北高等学校

就活では心に余裕を持つことが大切だと思います。

私は教育実習を控えていたので、スケジュール管理はとにかく入念に行いました。教育実習の前後2週間は、コロナの関係で実習先に滞在するため、就活ができない代わりに試験勉強をしました。そういった空き時間を活用するために、無理のない予定を上手に立てるコツが必要です。そこで私は、予定が目視で分かるようなカレンダー型手帳アプリを愛用していました。予定が被るのを予防でき、気になった時にすぐ確認できるため、円滑な就活の手助けになります。自治体にもよりますが、公務員試験は募集から採用までかなりの期間を要します。自治体のホームページなどから昨年度の日程を調べ、大まかな予定を立てる際に参考にしてみてください。

公務員試験に関わらず、企業の特色、企業の自分との関わりをよく熟考しておくと、面接の際やモチベーションの維持に役立ちます。私は企業ごとにそれらをノートに書き込むようにしていました。就活では様々な企業を受ける人がほとんどだと思います。企業ごとに頭が混乱しないように、説明会での気付きや、疑問など、気になったことは全て記入しておくといいと思います。このノートはみなさんのお守りになってくれるはずです。

就活の際は大きな目標を立てると、そればかりになって自分を追い詰めてしまいます。小さくて明確な目標を持つことが結果への近道だと思います。

心の余裕は体調にも直結します。睡眠時間と体調管理は、明日の自分の土台です。適度に『まあいかか』の気持ちを持ちながら、無理なく頑張ってください。みなさんが納得のいく答えに辿り着き、無事に就職活動を終えられますよう、応援しています。

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、物事により創造的に立ち向かえる優れた創造性や判断力、それに裏付けられた専門的知識・能力や高い見識などの育成に特化した、実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しました。学部教育で培われた事門的素養のある人材を、よりレベルを高めた学修と研究への取組により、高度の能力を有する専門的職業人や研究者等へ鍛え上げると同時に、広く時代と地域の要請に応えられる人材を育成する研究拠点を目指します。

経済情報研究科 経済情報専攻 (修士課程)

入学定員 8名
修業年限 2年
学 位 修士(経済情報)

経済と企業活動のグローバル化と少子高齢化、さらに情報化社会の到来等により、学修しなければならない事柄の高度化、専門化や多岐化が進んでいます。一方では学際的な研究が必要であり、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。まず、大学院経済情報研究科(修士課程)は、経済・経営・情報科学という本来は異なった3分野の連携による高度な専門教育を提供し、学際的研究を可能にしています。しかも、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者、および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成や税理士志望者の受け入れ等の要請にも応えることを目指しています。すなわち、学問的裏づけがあり、かつ実践的問題解決能力をも備えた人材の育成が、本研究科の教育の狙いとなっています。なお、資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状(商業)と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。商業に関する教科の修得等、一定の基準を満たせば、資格取得が可能となっています。

Production Onomichi City University Committee of public relations
Chief Editor ONO Tamaki (Professor: Art & Design course)
Art Direction ITO Asako (Lecturer: Art & Design course)
Editorial Design ONO Tamaki (Professor: Art & Design course)
Editor OKAMOTO Syunsuke (Associate professor: Economics, Management & Information Science course)
FUJIKAWA Yoshihiko (Professor: Japanese Literature course)
MURAKAMI Norihiko (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)

日本文学研究科 日本文学専攻 (修士課程)

入学定員 6名
修業年限 2年
学 位 修士(日本文学)

大学院日本文学研究科には、日本文化の成り立ちと現在のあり方を考える、日本文学・日本語学・漢文学の三つの研究分野があります。大学院に進学すると、そのうちの一つを自分の専門分野として研究を進めていくことになります。特定の領域、テーマを深く追求しようとするほど、いつのまにか視野が狭くなり、せっかく身につけた知識がどのように社会とつながっているのか、つながっていくのかを見失ってしまいがちです。日本文学研究科では、どの領域を専攻する人であっても、三つの専門分野に関わる高度な知識を身につけられるようにカリキュラムが編成されています。また、日本文化のあり方を様々な角度から捉え直すための国際感覚、異文化理解の視点を重視し、外国語、外国文学、比較文学、哲学、心理学など幅広い分野の科目が設けられています。さらに、論文・報告なども含め、言葉をあつかう訓練として、芸術創作の実践を行う機会も用意されています。大学院の修了者には、修士課程の二年間で身につけた広い視野、論理的思考力、専門的知識と言葉をあつかう技能を活かして、教育・文化活動などで主導的な役割を担うことが期待されています。

美術研究科 美術専攻 (修士課程)

絵画研究分野(日本画・油画)、デザイン研究分野
入学定員 12名
修業年限 2年
学 位 修士(美術)

美術研究科では持続する創作活動を行うことができるよう、学部と大学院修士課程とを合わせた6年間のカリキュラムを一貫化し、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行っています。

授業科目は、芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を教授し、実技と演習によって構成される研究分野開設科目と合わせて美術の理論と実践の有機的な連携を図っています。

絵画研究分野

日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・日本画では古典作品の表現、技術および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。
- ・油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自な絵画表現を追及し、また必要となる技法や素材の研究を促します。

デザイン研究分野

デザインの表出のあり方には、現代の社会構造の把握が必要です。好むと好まざるとに問わらず、広い視野と柔軟、且つ冷静な洞察力を養う能力と訴求性のある表現力の育成を目的とします。

指導教員の研究分野を軸に幅広く対応します。

Campusmap Design HATA Yuina (Student, Art & Design course)
Accessmap Design HIRABAYASHI Misaki & HASEGAWA Saya
(Alumna, Onomichi City University Graduate Program: Art & Design course)
Print ART PRINTING co, ltd

©Onomichi City University 2022

尾道市立大学周辺マップ

尾道市立大学正門



尾道市立大学

Abb

尾道市立大学 〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600-2
TEL : 0848-22-8311
FAX : 0848-22-5460
E-mail : jimukyok@onomichi-u.ac.jp

交通アクセス	JR山陽本線「尾道駅」 バスター・ミナル3番のりばより 「尾道市立大学」または「陽光台」行き バスで約20~40分 「尾道市立大学」下車
JR山陽新幹線「新尾道駅」 バスター・ミナル3番のりばより 「尾道市立大学」または「陽光台」行き バスで約15分 「尾道市立大学」下車	

尾道市立大学美術館 〒722-0045 広島県尾道市久保3-4-11
TEL/FAX : 0848-20-7831
MOU Blog : <https://moushirakaba.blogspot.com>

O
びんご運動公園

ONOMICHI CITY UNIVERSITY MAP

尾道市

ONOMICHI CITY

向島

MUKAISHIMA

至広島

